

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A100101	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)	1	～天正13	～1585	寛政9	1797	和紙袋綴本 37丁 25. 3×16. 8	秋月家の始祖から種実の代までの藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100102	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)		天正13～ 慶長19	1585～ 1614	寛政9	1797	和紙袋綴本 38丁 25. 3×16. 8	初代種長の代の藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100103	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)		慶長19～ 万治2	1614～ 1659	寛政9	1797	和紙袋綴本 12丁 25. 3×16. 8	二代種春の代の藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100104	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)		万治3～元禄2	1660～ 1689	寛政9	1797	和紙袋綴本 24丁 25.3×16.8	三代種信の代の藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100105	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)		元禄3～宝永7	1690～ 1710	寛政9	1797	和紙袋綴本 55丁 25.3×16.8	四代種政の代の藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100106	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)		正徳1～享保19	1711～ 1734	寛政9	1797	和紙袋綴本 36丁 25.3×16.8	五代種弘の代の藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100107	本落実録（鈴木房蔵書写本）	大塚静氏編纂 鈴木房蔵(写)		享保20～宝暦10	1735～ 1760	寛政9	1797	和紙袋綴本 48丁 25.3×16.8	六代種美の代の藩政事項	高月鈴木文庫印 朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100201	本落実録 巻之五(橋河辺本)	大塚静氏編纂		元禄3～宝永7	1690～ 1710	寛政9	1797	和紙袋綴本 74丁 24.0×15.8	四代種政の代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」	R3-03
A100202	本落実録 巻之六(橋河辺本)	大塚静氏編纂		正徳1～享保19	1711～ 1734	寛政9	1797	和紙袋綴本 46丁 24.0×15.8	五代種弘の代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」	R3-03
A100301	本落実録 一(武藤本)	大塚静氏編纂	1	～天正13	～1585	寛政9	1797	和紙袋綴本 62丁 24.0×15.8	諸記録に見る秋月家の記事	武藤家文書 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」	R3-03
A100401	本落実録 二(武藤本)	大塚静氏編纂		天正13～ 慶長	1585～	寛政9	1797	和紙袋綴本 51丁 24.0×15.8	秀吉との合戦以後	武藤家文書 刊本「宮崎県史料第一巻高鍋藩本落実録」	R3-03
A100501	拾遺本落実録 巻之一(小寺本)	横尾敬 小寺 信		貞享1～元禄3	1684～ 1690	慶応3	1867	和紙袋綴本 82丁 24.0×16.4	本落実録の遺漏を補う目的で藩命により横尾敬が編纂。全11巻。 巻之一 種信・種政時代の藩政事項 序文総奉行城重測	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100502	拾遺本落実録 巻之二(小寺本)	横尾敬 小寺 信		元禄4～元禄7	1691～ 1694	慶応3	1867	和紙袋綴本 87丁 24.0×16.4	種政時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100503	拾遺本落実録 巻之三(小寺本)	横尾敬 小寺 信		元禄8～元禄13	1695～ 1700	慶応3	1867	和紙袋綴本 79丁 24.0×16.4	種政時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100504	拾遺本落実録 巻之四(小寺本)	横尾敬 小寺 信		元禄14～宝永2	1701～ 1705	慶応3	1867	和紙袋綴本 79丁 24.0×16.4	種政時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100505	拾遺本落実録 巻之五(小寺本)	横尾敬 小寺 信		宝永3～正徳2	1706～ 1712	慶応3	1867	和紙袋綴本 76丁 24.0×16.4	種政・種弘時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100506	拾遺本落実録 巻之六(小寺本)	横尾敬 小寺 信		正徳3～享保4	1713～ 1719	慶応3	1867	和紙袋綴本 72丁 24.0×16.4	種弘時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100507	拾遺本落実録 巻之七(小寺本)	横尾敬 小寺 信		享保5～享保13	1720～ 1728	慶応3	1867	和紙袋綴本 76丁 24.0×16.4	種弘時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100508	拾遺本落実録 巻之八(小寺本)	横尾敬 小寺 信		享保14～享保20	1729～ 1735	慶応3	1867	和紙袋綴本 54丁 24.0×16.4	種弘・種美時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100509	拾遺本落実録 巻之九(小寺本)	横尾敬 小寺 信		元文1～寛保3	1736～ 1743	慶応3	1867	和紙袋綴本 49丁 24.0×16.4	種美時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100510	拾遺本落実録 巻之十(小寺本)	横尾敬 小寺 信		延享1～宝暦2	1744～ 1752	慶応3	1867	和紙袋綴本 55丁 24.0×16.4	種美時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100511	拾遺本落実録 巻之十一(小寺本)	横尾敬 小寺 信		宝暦3～宝暦10	1753～ 1760	慶応3	1867	和紙袋綴本 55丁 24.0×16.4	種美時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100601	拾遺本落実録 巻之一二(橋河辺本)	横尾敬		貞享1～元禄7	1684～ 1694			和紙袋綴本 103丁 24.0×16.0	自 種信公 至 種政公	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」	R3-03
A100602	拾遺本落実録 巻之三(四(橋河辺本)	横尾敬		元禄8～宝永2	1695～ 1705			和紙袋綴本 99丁 24.0×16.0	自 種政公 元禄8 至 同公 宝永2	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」	R3-03
A100603	拾遺本落実録 巻五之六(橋河辺本)	横尾敬		宝永3～享保4	1706～ 1719			和紙袋綴本 92丁 24.0×16.0	自 種政公 宝永7 至 種弘公 享保4	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」	R3-03
A100604	拾遺本落実録 巻七之八(橋河辺本)	横尾敬		享保5～享保20	1720～ 1735			和紙袋綴本 83丁 24.0×16.0	自 種弘公 享保5 至 種美公 享保20	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」	R3-03
A100605	拾遺本落実録 巻九之十一(橋河辺本)	横尾敬		元文1～宝暦10	1736～ 1760			和紙袋綴本 102丁 24.0×16.0	自 種美公 元文1 至 同公 宝暦10	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第二巻高鍋藩拾遺本落実録」	R3-03
A100701	続本落実録 巻之一(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		宝暦11～明和2	1761～ 1765	慶応1	1865	和紙袋綴本 75丁 24.0×16.2	『本落実録』『拾遺本落実録』の後を受けた宝暦11年から安政元年までの藩政の主要事項を収めた記録。横尾敬ら明倫堂関係者を中心に藩命で編纂がなされた。 巻之一 種茂時代の藩政事項 序文 横尾敬	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100702	続本落実録 巻之二(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		明和3～明和7	1766～ 1770	慶応1	1865	和紙袋綴本 64丁 24.0×16.2	種茂時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100703	続本落実録 巻之三(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		明和8～安永4	1771～ 1775	慶応1	1865	和紙袋綴本 71丁 24.0×16.2	種茂時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100704	続本落実録 巻之四(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		安永5～安永9	1776～ 1780	慶応1	1865	和紙袋綴本 70丁 24.0×16.2	種茂時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100705	続本落実録 巻之五(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		天明1～天明5	1781～ 1785	慶応1	1865	和紙袋綴本 80丁 24.0×16.2	種茂時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100706	続本落実録 巻之六(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		天明6～天明8	1786～ 1788	慶応1	1865	和紙袋綴本 61丁 24.0×16.2	種茂・種徳時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100707	続本落実録 巻之七(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		寛政1～寛政4	1789～ 1792	慶応1	1865	和紙袋綴本 80丁 24.0×16.2	種徳時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100708	続本落実録 巻之八(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		寛政5～寛政9	1793～ 1797	慶応1	1865	和紙袋綴本 36丁 24.0×16.2	種徳時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100709	続本落実録 巻之九(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		寛政10～享和2	1798～ 1802	慶応1	1865	和紙袋綴本 69丁 24.0×16.2	種徳時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100710	続本落実録 巻之十(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		享和3～文化4	1803～ 1807	慶応1	1865	和紙袋綴本 62丁 24.6×16.4	種徳時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本落実録(上)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100711	続本落実録 巻之十一(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		文化5～文化8	1808～ 1811	慶応1	1865	和紙袋綴本 65丁 24.6×16.4	種任時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本落実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100712	続本落実録 巻之十二(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		文化9～文化12	1812～ 1815	慶応1	1865	和紙袋綴本 62丁 24.6×16.4	種任時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本落実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100713	続本落実録 巻之十三(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		文化13～文政2	1816～ 1819	慶応1	1865	和紙袋綴本 65丁 24.6×16.4	種任時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本落実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100714	続本落実録 巻之十四(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		文政3～文政6	1820～ 1823	慶応1	1865	和紙袋綴本 69丁 24.6×16.4	種任時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本落実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100715	続本落実録 巻之十五(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		文政7～文政10	1824～ 1827	慶応1	1865	和紙袋綴本 66丁 24.6×16.4	種任時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本落実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A100716	続本藩実録 巻之十六(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		文政11～ 天保2	1828～ 1831	慶応1	1865	和紙袋綴本 66丁 24.6×16.4	種任時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100717	続本藩実録 巻之十七(小寺本)	横尾敬 小寺秀信		天保3～天 保6	1832～ 1835	慶応1	1865	和紙袋綴本 78丁 24.6×16.4	種任・種殷時代の藩政事項	刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100801	続本藩実録 巻之一(橋河辺本)	横尾敬		宝暦11～ 明和2	1761～ 1765			和紙袋綴本 40丁 25.3×16.6	種茂時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本藩実録(上)」	R3-03
A100802	続本藩実録 巻之七(橋河辺本)	横尾敬		寛政1～寛 政4	1789～ 1792			和紙袋綴本 46丁 25.3×16.6	種徳時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第三巻高鍋藩続本藩実録(上)」	R3-03
A100803	続本藩実録 巻之十二(橋河辺本)	横尾敬		文化9～文 化12	1812～ 1815			和紙袋綴本 33丁 25.3×16.6	種任時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」	R3-03
A100804	続本藩実録 巻之十五(橋河辺本)	横尾敬		文政7～文 政10	1824～ 1827			和紙袋綴本 38丁 25.3×16.6	種任時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」	R3-03
A100805	続本藩実録 巻之二十(橋河辺本)	横尾敬		弘化1～弘 化4	1844～ 1847			和紙袋綴本 49丁 25.3×16.6	種殷時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」	R3-03
A100806	続本藩実録 巻之二十一(橋河辺本)	横尾敬		嘉永1～嘉 永4	1848～ 1851			和紙袋綴本 46丁 25.3×16.6	種殷時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」	R3-03
A100807	続本藩実録 巻之二十二(橋河辺本)	横尾敬		嘉永5～安 政2	1852～ 1855			和紙袋綴本 58丁 25.3×16.6	種殷時代の藩政事項	橋 河辺文庫朱印 刊本「宮崎県史料第四巻高鍋藩続本藩実録(下)」	R3-03
A100901	続々本藩実録 巻之一	総部長述 小寺秀信	1	安政2	1855	明治5	1872	和紙袋綴本 73丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	高鍋藩郡紙使用 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100902	続々本藩実録 巻之二	総部長述 小寺秀信	1	安政4	1857	明治5	1872	和紙袋綴本 58丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	高鍋藩郡紙使用 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100903	続々本藩実録 巻之三	総部長述 小寺秀信	1	安政5	1858	明治5	1872	和紙袋綴本 82丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	高鍋藩郡紙使用 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100904	続々本藩実録 巻之四	総部長述 小寺秀信	1	安政6	1859	明治5	1872	和紙袋綴本 96丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100905	続々本藩実録 巻之五	総部長述 小寺秀信	1	万延1	1860	明治5	1872	和紙袋綴本 36丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100906	続々本藩実録 巻之六	総部長述 小寺秀信	1	万延2	1861	明治5	1872	和紙袋綴本 51丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100907	続々本藩実録 巻之七	総部長述 小寺秀信	1	文久2	1862	明治5	1872	和紙袋綴本 81丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100908	続々本藩実録 巻之八	総部長述 小寺秀信	1	文久3	1863	明治5	1872	和紙袋綴本 53丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100909	続々本藩実録 巻之九	総部長述 小寺秀信	1	元治1	1864	明治5	1872	和紙袋綴本 51丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100910	続々本藩実録 巻之十	総部長述 小寺秀信	1	元治2	1865	明治5	1872	和紙袋綴本 40丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100911	続々本藩実録 巻之十一	総部長述 小寺秀信	1	慶応2	1866	明治5	1872	和紙袋綴本 43丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100912	続々本藩実録 巻之十二	総部長述 小寺秀信	1	慶応3	1867	明治5	1872	和紙袋綴本 62丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100913	続々本藩実録 巻之十三	総部長述 小寺秀信	1	明治1	1868	明治5	1872	和紙袋綴本 81丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100914	続々本藩実録 巻之十四	総部長述 小寺秀信	1	明治1	1868	明治5	1872	和紙袋綴本 73丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A100915	続々本藩実録 巻之十五	総部長述 小寺秀信	1	明治2	1869	明治5	1872	和紙袋綴本 61丁 23.9×16.5	種殷時代の藩政事項	郡紙 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101001	藩尾録 巻之一			明治2 8月～12月	1869			和紙袋綴本 111丁 24.8×16.5	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	一般書架にコピーあり 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101002	藩尾録 巻之二			明治3 1月～6月	1870			和紙袋綴本 104丁 24.8×16.5	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	手塚朱印 一般書架にコピーあり 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101003	藩尾録 巻之三			明治3 7月～9月	1870			和紙袋綴本 88丁 24.8×16.5	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	一般書架にコピーあり 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101004	藩尾録 巻之四			明治3 10月～12月	1870			和紙袋綴本 76丁 24.8×16.5	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	一般書架にコピーあり 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101101	元真手鏡 乾 写	泥谷直利(元真) 城敷(写)		承平6～慶 長19	936～1614	宝永5 嘉永7(写) 大正1(写)	1708 1854 (写) 1912 (写)	和紙袋綴本 89丁 24.9×16.8	秋月家旧記抜書 泥谷元真が、宝永5年71才のとき、子孫に残すため代々旧記を抜書きしたもの。乾は慶長期まで(始祖から種春公まで)坤はそれ以降。 「原本は萩原氏出火の節焼失 故竹窓先生藩史稿によると」と坤の巻には追記がある	泥谷真蘭蔵書□ 朱印 原本 泥谷良次郎所蔵 藩史備考巻之五 参照 藩史稿 巻之三 参照	R3-03
A101102	元真手鏡 坤 写	泥谷直利(元真) 城敷(写)		慶長19～万 治2	1614～ 1659	宝永5 嘉永7(写) 大正5(写)	1708 1854 (写) 1916 (写)	和紙袋綴本 34丁 24.9×16.8	秋月家旧記抜書 泥谷元真が、宝永5年71才のとき、子孫に残すため代々旧記を抜書きしたもの。坤の巻は、種春公から種信公まで。 「原本は萩原氏出火の節焼失 故竹窓先生藩史稿によると」と坤の巻には追記がある。	泥谷真蘭蔵書□ 朱印 藩史備考巻之六 藩史稿 巻之三 参照	R3-03
A101202	日記写 天	山村加賀右衛 門尉父子		弘治3～元 禄4	1557～ 1691			和紙袋綴本 67丁 24.3×16.0	見聞年代記。天・地2冊からなる。弘治3年から明暦3年12月までを山村加賀右衛門尉長敬が、そのあと元禄4年11月24日までを、その子山村兵右衛門が書き継いだとされる	朱印あり 藩史備考巻之三 参照(石川先生解説済)	R3-03
A101202	日記写 地	小田藤兵衛 山田重規		元禄5～享 保13	1692～ 1728	嘉永4～嘉 永5(写)	1851 ～ 1852	和紙袋綴本 81丁 25.5×16.2	見聞年代記。 天・地2冊からなる。 元禄5年正月16日から宝永6年12月までを小田藤兵衛知義が書きつづ、以後、享保13年2月までを山田重規が山村伊右衛門から借り出して(享保12年4月)、写し取り書き継いだものという。	□□□□□□朱印 藩史備考巻之三 参照(石川先生解説済)	R3-03
A101301	東劉紀年 巻之一		1					和紙袋綴本 27丁 24.7×16.6	本藩私人 秋月家の始祖から西林公(種実)まで	漢文体	R3-03
A101302	東劉紀年 巻之二		1	～天正12	～1584			和紙袋綴本 36丁 24.7×16.6	西林公(種実)の天正12年まで	高鍋城氏 朱印	R3-03
A101303	東劉紀年 巻之三		1	天正13～ 慶長19	1585～ 1614			和紙袋綴本 65丁 24.7×16.6	龍雲公(種長)の天正13年から慶長19年まで		R3-03
A101304	東劉紀年 巻之四		1	慶長19～ 万治2	1614～ 1659			和紙袋綴本 37丁 24.7×16.6	大洋公(種春)の慶長19年から万治2年まで	高鍋城氏 朱印	R3-03
A101401	藩史稿 巻之一		1			安政4	1857	和紙袋綴本 153丁 25.2×16.0	藩内諸家の記録 隈江 菅嶋 中村 鈴木 泥谷 水坑 堤 大田 河辺 石井 田村 団井 ほか	赤い和紙	R3-03
A101402	藩史稿 巻之二	城勇雄	1			嘉永7	1854	和紙袋綴本 109丁 25.2×16.0	本藩史氏備考 ・中興系図巻之上・中・下目録 ・中興系図巻之上		R3-03
A101403	藩史稿 巻之三	城勇雄	1	承平6～万 治2	936～1659	嘉永7	1854	和紙袋綴本 146丁 25.2×16.0	本藩史氏備考 巻之 旧記抜書 元真手鏡をもとにしたもの 藩史備考巻之五、巻之六は同内容	高鍋城氏 朱印	R3-03
A101404	藩史稿 巻之四		1					和紙袋綴本 55丁 25.2×16.0	藩内諸家の系図 ・石井系図 今石井正太夫家 ・石井家系図 石井周育家 ・石井氏系図 ・田村氏家譜 ・清和源氏山名系図 ・藤原氏内田系図(初代:九郎兵衛)	赤い和紙	R3-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A101405	藩史稿 卷之五	城勇雄	1	応永17～ 慶長6	1410～ 1601	明治9	1876	和紙袋綴本 64丁 25.2×16.0	・西藩野史抄 島津氏の祖から24代重年(宝暦5)までの鹿児島藩の歴史。筑前秋月氏に關係ある部分のみ抄録 ・秋月家大概 ※藩史備考巻之十にあり	高鍋城氏 朱印 西藩野史抄 参考資料「日向郷土史料集」	R3-03
A101406	藩史稿 卷之六	城勇雄	1	天正3～	1575～	慶応2	1866	和紙袋綴本 49丁 25.2×16.0	藩史備考 巻之 目録 ・橋山遺事鈔 ・和蘭堂岩時詩序 ・坂田權太夫上書写 ・河野新五兵衛殉死書置 ※上記四件藩史備考巻之八にあり ・筑前永泉寺蔵御判書写 ・種時公御石碑図并記	高鍋城氏 朱印 「坂田權太夫上書写」清水判読	R3-03
A101407	藩史稿 卷之七	城勇雄	1			嘉永7	1854	和紙袋綴本 78丁 25.2×16.0	中興系図巻之下		R3-03
A101408	藩史稿 卷之八	城勇雄	1					和紙袋綴本 66丁 25.2×16.0	藩史備考 巻之 目録 ・種實公御快復頭取侍帳 ・月見打首帳 ・天正七年持城竝地頭覚 ・撫切首帳 ・把木郷取合首帳 ・岩屋落城首帳 ・天正十五年生駒雅楽頭殿引渡城惣覚 ・高麗入着到竝首帳 ※いづれも藩史備考巻之一にあり	高鍋城氏 朱印	R3-03
A101409	藩史稿 卷之九	城勇雄	1			文久2	1862	和紙袋綴本 58丁 25.2×16.0	藩史備考 巻之 目録 原田家過去簿外13篇 ※藩史備考巻之十二にあり	高鍋城氏 朱印	R3-03
A101410	藩史稿 卷之十	城勇雄	1			嘉永7	1854	和紙袋綴本 93丁 25.2×16.0	中興系図巻之中		R3-03
A101411	藩史稿 卷之十一	城勇雄	1			嘉永6 安政3	1853 1856	和紙袋綴本 46丁 25.2×16.0	藩史備考 巻之 目録 ・寛永公家系図 ・秋月歴代記 ※藩史備考巻之七にあり ・大蔵姓税田氏系図	高鍋城氏 朱印	R3-03
A101412	藩史稿 卷之十二	城勇雄	1			安政6	1859	和紙袋綴本 43丁 25.2×16.0	藩史備考 巻之 目録 ・寛永二十年人給帳 ※藩史備考巻之二に分限帳としてあり ・正保四年人給帳 ・万治元年人給帳 ※上記2件藩史備考巻之九にあり		R3-03
A101413	藩史稿 卷之十三	城勇雄	1					和紙袋綴本 59丁 25.2×16.0	藩史備考 巻之 目録 ・秋月家百人宿老千人近習帳 ・元和七年侍分限帳 ※上記2件藩史備考巻之二にあり ・肥後立看到(寛永9年) ※藩史備考巻之一にあり		R3-03
A101501	藩史備考 巻之一	城勇雄	1	永禄2～寛 永9	1559～ 1632			和紙袋綴本 85丁 24.5×17.0	・種實公御快復侍帳 ・月見打首帳 ・天正七年持城竝地頭覚 ・撫切首帳 ・把木郷取合首帳 ・岩屋落城首帳 ・天正十五年生駒雅楽頭殿引渡城惣覚 種実が天正15年、秀吉の軍門に降り高鍋に移封されるにあたって筑前秋月の地を引き渡した記録 ・高麗入首到竝首帳 朝鮮出兵の出陣巻名と軍功 ・寛永九年肥後立看到 熊本城主加藤忠広の改易の折、幕府から命ぜられて出向いたものの名前	県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101502	藩史備考 巻之二	城勇雄	1					和紙袋綴本 81丁 24.5×17.0	・秋月家百人宿老千人近習帳 高鍋入封以前の秋月家家臣団 ・元和七年侍分限帳 241人の禄高と人名 ・寛永二十年徒歩以上分限帳 ・秋月家一枚系図 秋月家の始祖から江戸初期の藩祖事蹟を述べたもの ・秋月軍功日記 種実以降天正15年高鍋入封までの軍記	県立図書館にコピー本あり *石川正雄判読「秋月家軍功日記・秋月家一枚系図」高鍋図書館刊に所収 ただし、軍功日記については別資料(A101601・かな交じり文)である	R3-03
A101503	藩史備考 巻之三	城勇雄	1	弘治3～元 禄17	1557～ 1704	嘉永2	1849	和紙袋綴本 107丁 24.5×17.0	見聞年代記 弘治3年から元禄17年までの秋月家の政治にかかわる重要事項を収める。もとになった弘治3年から慶長4年までの事項は、明暦3年12月山村加賀右衛門尉長教がそれまでに父や養父からきた物語のほか、自分が直接見聞したものを記録したもの。慶長4年以降はその子兵右衛門、小田藤兵衛知義、山田助之進重規がこれを書きつぎ、享保13年まで173年間の事項を編年でまとめたもの。	日向高鍋城氏圖籍 朱印 日記 天・地と同内容 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101504	藩史備考 巻之四	城勇雄	1					和紙袋綴本 54丁 24.5×17.0	・摂農由緒書 ・参議経房卿遺書 ・原田三代記残缺 ・高麗人物語 文禄、慶長の役の出陣記 ・岩屋攻城物語 ・恵利内蔵助暢亮傳 ・鳴渡山管聲寺縁起 恵利暢亮の菩提寺音聲寺の縁起	日向高鍋城氏圖籍 朱印 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101505	藩史備考 巻之五	城勇雄	1	承平6～慶 長19	936～1614			和紙袋綴本 92丁 24.5×17.0	秋月家旧記抜書写手鏡 「泥谷元真手鏡」とも異称されているもの。巻六と継続しており、泥谷元真が宝永5年2月に嫡男及び次男に与えたものを嘉永7年3月に写したものの。 その内容は、承平6年から慶長19年までの出来事を取っていて編年記述ではあるが必ずしも年代順でない部分もあり、折にふれて補足したものである。巻六とともに「本藩実録」「拾遺本藩実録」の編纂においては、その格子となる史料となったものである。	日向高鍋城氏圖籍 朱印 元真手鏡 乾 写 参照 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101506	藩史備考 巻之六	城勇雄	1	慶長19～ 万治2	1614～ 1659			和紙袋綴本 42丁 24.5×17.0	秋月家旧記抜書覚 巻之五の続編 「泥谷元真手鏡」がもとになっている	日向高鍋城氏圖籍 朱印 元真手鏡 坤 写 参照 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101507	藩史備考 巻之七	城勇雄	1					和紙袋綴本 51丁 24.5×17.0	・秋月家寛永系図 宝永5年大坪基右衛門景重 ・秋月歴代記 ・秋月家御一門記 種実から種弘にいたる系図で、種実公御室の田原親庵、種長公兄弟の高橋元種などの一族の系図も含む 安政3年城重測	日向高鍋城氏圖籍 朱印 県立図書館にコピー本あり	R3-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A101508	藩史備考 巻之八	城勇雄	1					和紙袋綴本 51丁 24.5×17.0	・緒山道事鈔 安政5年城重測抄録 ・秋月種朝公題雲岩時詩序 ・坂田権太夫上書写 安政3年写し ・河野新五兵衛殉死意趣 種春公死去に際し追腹の意趣 ・藩祖判書類写 宝暦4年田村儀右衛門による秋月先祖の記録の写し 種朝、種時、種方の花押や古文書 ・筑前秋月鳴渡山龍允公墓碑図並由緒書 龍允公＝種時	県立図書館にコピー本あり 「坂田権太夫上書写」清水判読	R3-03
A101509	藩史備考 巻之九	城勇雄	1					和紙袋綴本 58丁 24.5×17.0	・正保四年秋月家士人給帳 ・寛治元年秋月家徒歩以上人給帳 ・寛文十三年秋月家徒歩以上人給帳	県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101510	藩史備考 巻之十	城勇雄	1					和紙袋綴本 66丁 24.5×17.0	・西藩野史抄 島津氏の祖から24代重年(宝暦5)までの鹿児島藩の歴史。筑前秋月氏に関係ある部分のみ抄録 ・秋月家大概	日向高鍋城氏圖籍 朱印 西藩野史抄は「日向郷土史料集」所収 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101511	藩史備考 巻之十一	城勇雄	1					和紙袋綴本 53丁 24.5×17.0	延陵世鑑 秋月種実の弟、高橋元種が封ぜられた日向国臼杵郡県(あがた)。「延陵」は県＝延岡のことの戦国時代から高橋・有馬・三浦・秋月・内藤氏歴代の編年の史書である。 原著者は白瀬永年(延岡内藤藩士)	城氏蔵版事紙 延陵世鑑は「日向郷土史料集第二巻」所収 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101512	藩史備考 巻之十二	城勇雄	1					和紙袋綴本 60丁 24.5×17.0	・筑前原田家過去簿 ・筑前金龍寺所蔵原田家過去簿 ・朱雀天皇御繪旨 ・安徳天皇御繪旨 ・後柏原天皇御繪旨 ・筑前坂田氏覚書 ・原田系図数種 ・税田士行節録筑前古文書数種	日向高鍋城氏圖籍 朱印 県立図書館にコピー本あり	R3-03
A101601	岩村真鉄備録 一	岩村真鉄	1			大正13	1924	和紙・洋紙混合 24.2×16.8	・中興系図 江戸前期の高鍋藩士141家の中興系図 ・秋月家軍功日記	中興系図はB200801の写し(判読済) * 秋月家軍功日記は石川正雄判読「秋月家軍功日記・秋月家一統系図」高鍋図書館刊に所収	R3-03
A101602	岩村真鉄備録 二	岩村真鉄	1					和紙・洋紙混合 24.2×16.8	・英庭鹿児島包撃跡見聞記事(文久3年) 大正14年 内田又次郎より原書を借りて写したもの ・崇厳寺殿御履歴 昭和3年城勇雄の筆跡の写し ・秋月種節布陶翁事蹟一斑 ・高城城口之碑文 城敷先生撰 大正元年 ・県立高鍋農学校移転問題に付具申 昭和8年 他多数		R3-03
A101603	岩村真鉄備録 三	岩村真鉄	1					和紙・洋紙混合 24.2×16.8	・高橋氏系図 大正15年写し ・比木大明神本縁起 ・敬民編 秋月種樹編 洋紙7ページ ・秋月家譜 洋紙36ページ B200701と同じ		R3-03
A200101	秋月種長家譜	城勇雄補正	1	～天正13	～1585			和紙袋綴本 53丁 24.9×17.4		最後のページは途中で途切れている	R3-03
A200201	諸家記録		1					和紙袋綴本 36丁 24.8×17.0	人物伝 ・藤田哲蔵 ・佐竹昌保 ・池田正輝 ・渋谷元武 ・鈴木得一 ・菊澤鹿吉		R3-03
A200301	高鍋藩徴士履歴書 上 (扣)		1					和紙袋綴本 80丁 24.0×16.4	・上三条右大臣公書 坂田秀他 種政、三好退蔵	高鍋藩郷紙 B901701上三条右大臣公書参照	R3-03
A300101	高鍋藩 人給帳		1	寛永15	1638			和紙袋綴本 97丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	郷紙(解読済) 宮崎県史料編近世4 所収	R3-03
A300102	高鍋藩 人給帳		1	万治1	1658			和紙袋綴本 52丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩郷紙 解読済	R3-03
A300103	高鍋藩 人給帳		1	万治末～寛文初	1661			和紙袋綴本 49丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩郷紙 解読済	R3-03
A300104	高鍋藩 人給帳		1	寛文7	1667			和紙袋綴本 81丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	郷紙 解読済	R3-03
A300105	高鍋藩 人給帳		1	寛文13	1673			和紙袋綴本 67丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩郷紙 解読済	R3-03
A300106	高鍋藩 人給帳		1	貞享2	1685			和紙袋綴本 71丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	郷紙 解読済	R3-03
A300107	高鍋藩 人給帳		1	元禄3	1690			和紙袋綴本 183丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩郷紙 解読済	R3-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A300108	高鍋藩 人給帳		1	元禄7	1694			和紙袋綴本 138丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-03
A300109	高鍋藩 人給帳		1	元禄10	1697			和紙袋綴本 143丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-03
A300110	高鍋藩 人給帳 元禄十三年之一		1	元禄13	1700			和紙袋綴本 103丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済?	R3-03
A300111	高鍋藩 人給帳 元禄十三年之二		1	元禄13	1700			和紙袋綴本 139丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-04
A300112	高鍋藩 人給帳		1	元禄15	1702			和紙袋綴本 130丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300113	高鍋藩 人給帳		1	元禄16	1703			和紙袋綴本 149丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-04
A300114	高鍋藩 人給帳		1	宝永1	1704			和紙袋綴本 162丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-04
A300115	高鍋藩 人給帳		1	宝永2	1705			和紙袋綴本 164丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-04
A300116	高鍋藩 人給帳		1	宝永3	1706			和紙袋綴本 80丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙 解読済	R3-04
A300117	高鍋藩 人給帳		1	宝永6	1709			和紙袋綴本 147丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300118	高鍋藩 人給帳		1	宝永7	1710			和紙袋綴本 180丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300119	高鍋藩 人給帳 正徳二年之一		1	正徳2	1712			和紙袋綴本 124丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300120	高鍋藩 人給帳 正徳二年之二		1	正徳2	1712			和紙袋綴本 115丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300121	高鍋藩 人給帳		1	正徳4	1714			和紙袋綴本 163丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300122	高鍋藩 人給帳		1	正徳6	1716			和紙袋綴本 163丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04
A300123	高鍋藩 人給帳		1	享保3	1718			和紙袋綴本 112丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	高鍋藩野紙	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A300124	高鍋藩 人給帳		1	享保5	1720			和紙袋綴本 160丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300125	高鍋藩 人給帳		1	享保7	1722			和紙袋綴本 78丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300126	高鍋藩 人給帳		1	享保9	1724			和紙袋綴本 169丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300127	高鍋藩 人給帳		1	享保15	1730			和紙袋綴本 192丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300128	高鍋藩 人給帳		1	享保17	1732			和紙袋綴本 175丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300129	高鍋藩 人給帳		1	元文2	1737			和紙袋綴本 147丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300130	高鍋藩 人給帳 寛保元年之一		1	寛保1	1741			和紙袋綴本 101丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300131	高鍋藩 人給帳 寛保元年之二		1	寛保1	1741			和紙袋綴本 111丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300132	高鍋藩 人給帳 延享元年之一 乾		1	延享1	1744			和紙袋綴本 127丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300133	高鍋藩 人給帳 延享元年之二 坤		1	延享1	1744			和紙袋綴本 76丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300134	高鍋藩 人給帳		1	延享4	1747			和紙袋綴本 151丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300135	高鍋藩 人給帳		1	寛延3	1750			和紙袋綴本 85丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300136	高鍋藩 人給帳 宝暦三年之一		1	宝暦3	1753			和紙袋綴本 127丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300137	高鍋藩 人給帳 宝暦三年之二		1	宝暦3	1753			和紙袋綴本 105丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300138	高鍋藩 人給帳		1	宝暦6	1756			和紙袋綴本 164丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300139	高鍋藩 人給帳		1	宝暦10	1760			和紙袋綴本 185丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300140	高鍋藩 人給帳		1	明和3	1766			和紙袋綴本 175丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300141	高鍋藩 人給帳		1	安永2	1773			和紙袋綴本 180丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A300142	高鍋藩 人給帳		1	安永7	1778			和紙袋綴本 207丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300143	高鍋藩 人給帳		1	天明2	1782			和紙袋綴本 192丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300144	高鍋藩 人給帳		1	寛政6	1794			和紙袋綴本 216丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300145	高鍋藩 人給帳 寛政九年巻之上		1	寛政9	1797			和紙袋綴本 148丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300146	高鍋藩 人給帳 寛政九年巻之中		1	寛政9	1797			和紙袋綴本 152丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙まざり	R3-04
A300147	高鍋藩 人給帳 寛政九年巻之下		1	寛政9	1797			和紙袋綴本 152丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙まざり	R3-04
A300148	高鍋藩 人給帳 享和二年乾		1	享和2	1802			和紙袋綴本 137丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300149	高鍋藩 人給帳 享和二年坤		1	享和2	1802			和紙袋綴本 171丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	野紙	R3-04
A300150	高鍋藩 人給帳 文化元年巻之中		1	文化1	1804			和紙袋綴本 92丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300151	高鍋藩 人給帳 文化十二年巻之上		1	文化12	1815			和紙袋綴本 133丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙	R3-04
A300152	高鍋藩 人給帳 文化十二年巻之下		1	文化12	1815			和紙袋綴本 114丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙まざり	R3-04
A300153	高鍋藩 人給帳 文政元年坤		1	文政1	1818			和紙袋綴本 195丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙まざり	R3-04
A300154	高鍋藩 人給帳		1	文政5	1822			和紙袋綴本 101丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙まざり	R3-04
A300155	高鍋藩 人給帳		1	文政10	1827			和紙袋綴本 108丁 24.0×16.5	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	高鍋藩野紙まざり	R3-04
A300156	高鍋藩 人給帳		1	慶応1	1865			和紙折紙 82丁 14.2×39.5(横帳)	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。	宮崎県史史料編近世4 所収(P332)	R3-04
A300201	高鍋藩法令		1	寛政2	1790			和紙袋綴本 30丁 24.7×17.2	寛政元年から3年にかけて藩の法令・制度・条目等の見直し(更張)が行われた。この法令は、寛政2年2月に4人の家老の連署で出された高鍋藩の基本法令であり、全55条からなる。毎年8月1日に家臣一統を集め読み聞かせた。	藩紙(赤いスジ入り和紙) 宮崎県史史料編近世4に「寛政三年更張高鍋藩法令」として所収(巻末2丁分は未記載)	R3-04
A300301	種任公 福岡御巡見日記	鈴木与兵衛	1	文化14	1817			和紙袋綴本 74丁 24.5×16.0	種任公福岡島巡見についての、御用人鈴木与兵衛の日記。 急いでも片道1泊2日を要する福岡は、城付地新納院を上回る表高をもち藩にとってもこの地の支配は重要であった。また、巡見経路は他領をいくつも通過するもので、応接は参勤交代の折に他領主が高鍋藩領を通過するのと同様に重要なものであった。 高鍋―新田―佐土原―蓮ヶ池―(内藤氏領)中村町―清武―九平―山飯屋(泊)立花峠―駄肥城下―福島境―福島南方庄屋―郡本御飯屋で、領内各村を巡見の後、同様の経路で帰城した。	藩紙(赤いスジ入り和紙) 参考資料 高鍋史友会報13号 判読書:ペン書きノート製本	R3-04
A300401	江戸表勤方手扣 (完)	水筑長周	1			文政5	1822	和紙袋綴本 120丁 19.5×12.6	中座之心得以下28項目	筏水筑文庫印 朱印 参考資料 高鍋史友会報14号(一部記載) 試読原稿(ノート)有	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A300501	諸心得録	水筑長周	1			文政5	1822	和紙袋綴本 168丁 13.6×20.8		武蔵家文書 修復済だが虫食い多し	R3-04
A300601	小姓勤方手扣		1					和紙袋綴本 57丁 17.5×11.0	年間諸行事の対応等 ・高鍋勤方覚目録 ・御旅中勤方覚目録 ・御在府勤方覚目録 ・附録	筏水筑文庫印 朱印 修復済みなれど虫食い多し 参考資料 高鍋史友会報14号(一部記載) 永井哲雄氏判読(R1-2年度)	R3-04
A300701	唐船滞泊中日記 全	奉行所在	1	安政2	1855			和紙袋綴本 147丁 24.5×16.0	正月10日から2月20日までの奉行所の記録	藩紙(赤いスジ入り和紙)	R3-04
A300801	漂流船護送日記	川崎乾太郎 財津十太郎か	1	安政2	1855			和紙袋綴本 97丁 24.7×16.2	正月10日から主として4月19日、長崎向け美々津出航後の記録 中国の商船が台風のため高鍋領野別府村を見返沖に漂着長崎奉行の指示を仰ぎ唐舟の補修のため美々津に曳航の後長崎に廻送14隻の船団で送る。 引渡しを終え日向国にたどり着くまで3ヶ月を要した。	一部藩紙(赤いスジ入り和紙) 一般書架にコピーあり 永井哲雄氏解説	R3-04
A300901	出張場より高鍋美々津江之状 扣	鈴木百助	1	安政2	1855			和紙袋綴本 116丁 25.0×15.8	正月10日から2月14日までの奉行鈴木百助の高鍋藩行及び美々津飯屋への連絡書状	一部藩紙(赤いスジ入り和紙)途中で文が切れている 一般書架にコピーあり 永井哲雄氏解説 B304401藩日誌 参照	R3-04
A301001	夷匪犯境録 巻之一		1					和紙袋綴本 49丁 27.2×19.2	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。 「夷匪犯境見聞録」の原稿(本)とみられる。	右肩に学問所改の押印 漢文体	R3-04
A301002	夷匪犯境録 巻之二		1					和紙袋綴本 61丁 27.2×19.2	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。 「夷匪犯境見聞録」の原稿(本)とみられる。	右肩に学問所改の押印 漢文体	R3-04
A301003	夷匪犯境録 巻之三		1					和紙袋綴本 44丁 27.2×19.2	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。 「夷匪犯境見聞録」の原稿(本)とみられる。	右肩に学問所改の押印 漢文体	R3-04
A301101	夷匪犯境聞見録 巻之一		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 40丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。	漢文体木活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-04
A301102	夷匪犯境聞見録 巻之二		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 36丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。	漢文体木活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-04
A301103	夷匪犯境聞見録 巻之三		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 34丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。	漢文体木活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-04
A301104	夷匪犯境聞見録 巻之四		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 57丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。	漢文体木活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-04
A301105	夷匪犯境聞見録 巻之五		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 46丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。	漢文体木活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-04
A301106	夷匪犯境聞見録 巻之六		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 51丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顛末に着いての記録。	漢文体木活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-04
A301201	旅中諸心得	龍漢(写)	1			安政5	1858	和紙袋綴本 113丁 13.5×16.8	内題 旅中手控 幕末における参勤交代、江戸、上方への道中の心得。 第1項は、幕府の法令と高鍋藩に関する条項、第2項以下は高鍋藩の役方心得。	黒水口口 朱印 黒水崙郎所蔵 永井哲雄氏解説 R1-2	R3-04
A301301	藩官擬典	城勇雄	1			文久3	1863	和紙袋綴本 28丁 20.6×13.8	文久三年十二月、城勇雄が藩政改革につき命ぜられて作った。藩官を周礼六典に則り六部に分属してその役割を定めた。 慶応元年七月七日より施試。役人の心得のため、慶応二年十二月より期日を定めて周礼講義も行なわれた。	清水判読	R3-04
A301401	国儲定策志	城重洌	1	文久3	1863			和紙袋綴本 113丁 20.0×13.0	十代藩主種殷の継嗣問題についての藩内外の動向を記したもの。 藩主の弟政太郎が養子になり跡を継ぐことは既定の事実と扱われていたが公的な手続きは済まされていなかった。継嗣願を遅らせていた家老の不手際、慎重な態度に、事を早く進めようとする城勇雄等組頭以下の藩士たちの行動の記録。	永井哲雄氏解説	R3-04
A301501	旧高鍋藩事蹟記録抄		1	嘉永6～慶応3	1853～1867			和紙袋綴本 122丁 24.8×17.0	嘉永6年以降の事変目録	城氏蔵版野紙 B307001(慶応3～明治2) B307101(明治2～明治3) B302801(明治3)は一連史料 清水判読	R3-04
A301601	明治戊辰日記摘要草稿(第4号)		1	明治1	1868			和紙袋綴本 66丁 24.8×17.0		高鍋藩野紙 県立図書館にコピー本あり	R3-04
A301701	高鍋藩職制給禄家令以下人員伺書		1			明治2	1869	和紙袋綴本 10丁 27.7×20.5	高鍋藩知事秋月従五位(種股)が辨官に出したもの	泥谷氏印 朱印	R3-04
A301801	高鍋藩文武職制戸口租税等調	岩村真鉄(写)	1	明治2	1869			和紙袋綴本 44丁 27.0×21.0	・高鍋藩職制 明治2年秋月従五位 ・高鍋藩高井戸等取調書 明治2年秋月従五位 ・学生概略 ・兵制概略 他	日向郷土史料集第一巻 所収 県立図書館にコピー本あり	R3-04
A301901	高鍋県判任履歴(全)		1	明治2～明治4	1869～1871			和紙袋綴本 36丁 24.2×17.2	権大参事坂田…から始まる。88名ほどの履歴が列記されている。	野紙	R3-04
A302001	太令籍 一		1	明治2 10月～12月	1869			和紙袋綴本 34丁 24.0×16.5	「大令」とは大法令の意であり、「大令籍」とは政府の令の簿冊の謂であらう。政府から藩に出した文書の写して、公用方の留である。	高鍋藩野紙	R3-04
A302002	太令籍 二		1	明治3 1月～5月	1870			和紙袋綴本 113丁 24.0×16.5	「大令」とは大法令の意であり、「大令籍」とは政府の令の簿冊の謂であらう。政府から藩に出した文書の写して、公用方の留である。	高鍋藩野紙	R3-04
A302003	太令籍 三		1	明治3 6月～10月	1870			和紙袋綴本 96丁 24.0×16.5	「大令」とは大法令の意であり、「大令籍」とは政府の令の簿冊の謂であらう。政府から藩に出した文書の写して、公用方の留である。		R3-04
A302004	太令籍 四		1	明治3 10月	1870			和紙袋綴本 137丁 24.0×16.5	「大令」とは大法令の意であり、「大令籍」とは政府の令の簿冊の謂であらう。政府から藩に出した文書の写して、公用方の留である。		R3-04
A302101	摩壁籍(乾)		1	明治3 1/14～6/28	1870			和紙袋綴本 61丁 23.5×15.5	「摩壁」とは「王事摩壁」で王事に努めて力を尽くすの意であり「摩壁籍」とは王事に尽くした記録の簿冊の意であらう。公用人が政府機関に提出した公用方留の原本と考えられる。	高鍋藩野紙 「宮崎県史 別編 維新期の日向諸藩」所収、ただし内容的には重なるが本史料とは別本	R3-04
A302102	摩壁籍(坤)		1	明治3 7/5～12/	1870			和紙袋綴本 85丁 23.5×15.5	「摩壁」とは「王事摩壁」で王事に努めて力を尽くすの意であり「摩壁籍」とは王事に尽くした記録の簿冊の意であらう。公用人が政府機関に提出した公用方留の原本と考えられる。	高鍋藩野紙 「宮崎県史 別編 維新期の日向諸藩」所収	R3-04
A400101	八幡縁起	龍雲住職桂堂	1			貞享4	1687	和紙袋綴本 21丁 28.3×21.2		明倫堂 朱印 漢文体	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
A500101	営葬講記録	秋月 撰	1	天保6～明治26	1835～1893	大正9	1920	和紙袋綴本 27丁 26.0×17.5	天保6年税田好察(牧之丞)が営葬講をはじめた。営葬講とは、葬儀や先祖のまつりのための費用を補うことを目的とした共済制度のようなもの。 その記録を忘備録として曾孫がまとめたもの	昭和48年 内田チク女子寄贈 参考資料 高鍋史友会報第6号 参考資料 宮崎縣嘉穂誌(みやざき21世紀文庫25)	R3-04
A600101	諸藩学規 全		1					和紙袋綴本 96丁 23.5×15.9	各藩校の概説 ・時習館 肥後 ・甘棠館 筑前 ・成章館 細川能登守東都邸学 ・教授局 安芸廣嶋学 ・若松 会津 ・維新館 平戸松浦候 他		R3-04
A600201	明倫堂記録 第七ノ一		1	文政12	1829			和紙袋綴本 38丁 27.1×17.0	文政12年1月8日～12月24日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600202	明倫堂記録 第七ノ二		1	文政13	1830			和紙袋綴本 29丁 27.1×17.0	文政13年1月7日～12月18日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600203	明倫堂記録 第七ノ三		1	天保2	1831			和紙袋綴本 39丁 27.1×17.0	天保2年1月5日～12月31日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600204	明倫堂記録 第七ノ四		1	天保3	1832			和紙袋綴本 48丁 27.1×17.0	天保3年1月5日～12月17日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600205	明倫堂記録 第七ノ五		1	天保4	1833			和紙袋綴本 49丁 27.1×17.0	天保4年1月8日～12月12日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600206	明倫堂記録		1	天保11	1840			和紙袋綴本 83丁 27.1×17.0	天保11年1月7日～12月22日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600207	明倫堂記録		1	天保12	1841			和紙袋綴本 51丁 27.1×17.0	天保12年1月7日～12月25日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600208	明倫堂記録		1	天保13～天保15	1842～1844			和紙袋綴本 57丁 27.1×17.0	天保13年2月19日～12月2日 天保14年1月24日～12月24日 天保15年1月7日～12月2日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600209	明倫堂記録 第十ノ一		1	弘化2	1845			和紙袋綴本 47丁 27.1×17.0	弘化2年1月4日～12月11日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600210	明倫堂記録 第十ノ二		1	弘化3	1846			和紙袋綴本 24丁 27.1×17.0	弘化3年1月7日～12月24日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600211	明倫堂記録 第十ノ三		1	弘化4	1847			和紙袋綴本 29丁 27.1×17.0	弘化4年1月7日～12月28日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600212	明倫堂記録 第十ノ四		1	弘化5(2月嘉永に) 1848				和紙袋綴本 18丁 27.1×17.0	弘化5年(2月嘉永に)1月8日～11月26日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600213	明倫堂記録 第十ノ五		1	嘉永2	1849			和紙袋綴本 46丁 27.1×17.0	嘉永2年1月7日～12月23日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600214	明倫堂記録 第十ノ六		1	嘉永3	1850			和紙袋綴本 17丁 27.1×17.0	嘉永3年1月8日～12月18日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600215	明倫堂記録 第十ノ七		1	嘉永4	1851			和紙袋綴本 32丁 27.1×17.0	嘉永4年2月～12月21日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600216	明倫堂記録 学制部		1	明治2～明治5	1869～1872			和紙袋綴本 58丁 27.1×17.0	明治2年7月20日～明治5年11月10日	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600217	明倫堂記録 郷学部		1	明治3	1870			和紙袋綴本 48丁 27.1×17.0	各郷への書籍等の配分	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600218	明倫堂記録 太令部		1	明治3～明治5	1870～1872			和紙袋綴本 9丁 24.4×16.7	太政官令等 高鍋県庁等の記録あり	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600219	明倫堂記録 規式部		1	明治2～5	1869～1930			和紙袋綴本 62丁 24.4×16.7	試験内容等の記録あり	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600220	明倫堂記録 喪祭部		1	明治2～明治5	1869～1872			和紙袋綴本 28丁 24.4×16.7	神事等・名波犬年の文等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600221	明倫堂記録 賞罰部		1	明治2～明治5	1869～1872			和紙袋綴本 37丁 24.4×16.7	個人の記録等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600222	明倫堂記録 教職部		1	明治2～明治5	1869～1872			和紙袋綴本 71丁 24.4×16.7	学校の人事等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600223	明倫堂記録 錢穀部		1	明治2～明治4	1869～1871			和紙袋綴本 33丁 24.4×16.7	個人への米穀授与等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600224	明倫堂記録 造営部		1	明治2～明治3	1869～1870			和紙袋綴本 3丁 24.4×16.7	学校造営関係等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600225	明倫堂記録 試験部		1	明治3～明治4	1870～1871			和紙袋綴本 14丁 24.4×16.7	試験内容等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600226	明倫堂記録 官遊部		1	明治2～明治6	1869～1873			和紙袋綴本 57丁 24.4×16.7	郷外遊学者への手当等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600227	明倫堂記録 寄宿部		1	明治2～明治5	1869～1872			和紙袋綴本 66丁 24.4×16.7	個人の入寮願等	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600228	明倫堂記録 雑事部		1	明治2～明治5	1869～1872			和紙袋綴本 54丁 24.4×16.7	教師招待・個人の動静	「明倫堂記録」(高鍋町発行) 所収	R3-04
A600301	晩翠学舎日誌 (付)旧晩翠学舎同窓会名簿		1	明治11～明治13	1878～1880			和紙袋綴本 67丁 25.2×16.3 名簿は洋紙18.5×13.1 14ページ		晩翠学舎日誌に同窓会名簿がはせてある	R3-04
B100101	本藩私史 巻之一		1					和紙袋綴本 38丁 24.6×16.4	藩祖の淵源 他		R3-04
B100102	本藩私史 巻之二		1					和紙袋綴本 40丁 24.6×16.4	秀吉との合戦 他		R3-04
B100103	本藩私史 巻之三		1	天正14～慶長1	1586～1596			和紙袋綴本 23丁 24.6×16.4	龍雲寺公(種長)		R3-04
B100201	秋月家軍功日記	尾上半兵衛(黒田)	1					和紙袋綴本 55丁 23.6×16.2	秋月家累代の功績 ・秋月家一牧系図 ・秋月家軍功日記	修復表紙に「吉岡家保管」とあり ・石川正雄判読「秋月家軍功日記・秋月家一牧系図」高鍋図書館刊に所収 ただし、軍功日記についてはA101601・かな交じり文である	R3-04
B100301	秋月軍記		1	天正間以後				和紙袋綴本 44丁 24.7×17.2	筑前秋月と戦乱	史料名は特に記載なし 最後、尻切れトンボ	R3-04
B100401	藩祖事略 写	大塚静氏	1	天慶3～文禄5	～1562	文化3	1806	和紙袋綴本 14丁 24.0×16.7	内題に「藩祖事略 上」とあり 藩祖の大路を抄録 筑前時代の大蔵姓秋月氏 春美公～種美公	参考資料 高鍋史友会報2号	R3-04
B100502	家記 隈江五郎左衛門所持		1	元禄2～宝永7	1689～1710			和紙袋綴 171丁 25.9×17.6		宮崎県立図書館(昭和37年1月12日)の史料袋④にあり 分冊 判読済 コピー本:石川文庫021「隈江家記 四」 永井哲雄氏解説 *(26年6月データ修正 B309001→B100502へ スリップの整理番号にあわせる)	R3-04
B100601	秋月侯実録 巻之一	大塚静	1			寛政9	1797	和紙袋綴本 37丁 25.3×17.0	全7巻。 秋月氏の始祖から明和期までの歴代領主の記録。 本藩実録のうち、藩主の事績中心に編集しようとしたものか。	武藤家文書	R3-04
B100602	秋月侯実録 巻之二・三	大塚静	1	天正13～万治2	1585～1659	寛政9	1797	和紙袋綴本 58丁 25.3×17.0	・巻之二 種長公 ・巻之三 種春公	武藤家文書	R3-04
B100603	秋月侯実録 巻之四	大塚静	1	万治3～元禄2	1660～1689	寛政9	1797	和紙袋綴本 28丁 25.3×17.0	種信公	武藤家文書	R3-04
B100604	秋月侯実録 巻之五	大塚静	1	元禄3～宝永7	1690～1710	寛政9	1797	和紙袋綴本 74丁 25.3×17.0	種政公	武藤家文書	R3-04
B100605	秋月侯実録 巻之六	大塚静	1	正徳1～享保19	1711～1734	寛政9	1797	和紙袋綴本 45丁 25.3×17.0	種弘公	武藤家文書	R3-04
B100606	秋月侯実録 巻之七	大塚静	1	享保20～明和1	1735～1764	寛政9	1797	和紙袋綴本 54丁 25.3×17.0	種美公	武藤家文書	R3-04
B100701	高鍋藩史一斑 引用書	城勇雄 編	1					和紙袋綴本 13丁 24.4×16.9	諸記録編纂者	罫紙	R3-04
B100702	高鍋藩史一斑 摘要	城勇雄 編	1			明治42贈写	1909	和紙袋綴本 38丁 24.4×16.9	始祖から大洋公(種春)	宮崎縣紙 途中より非時舎罫紙	R3-04
B100703	高鍋藩史一斑 巻之一 写	城勇雄 編 写は不明	1			明治29	1896	和紙袋綴本 12丁 24.4×16.9	秋月家祖 丁丑駕未遺事		R3-04
B101001	高鍋藩史一斑 巻之一・二・三試読	城勇雄 編 武藤麒一試読本	1					和紙袋綴本 76丁 24.4×16.9			R3-04
B101002	高鍋藩史一斑 巻之四・五試読	城勇雄 編 武藤麒一試読本	1	慶長19～元禄2	1614～1689			和紙袋綴本 100丁 24.4×16.9	巻之四 種春の代 巻之五 種信の代	試読は途中までで終わっている	R3-04
B101101	藩史稿抜粋	泥谷	1					和紙袋綴本 17丁 24.7×17.1	・藩史稿巻之一 藩内諸家記録のうち泥谷氏の部分 ・藩史稿巻之八 高麗入着到並首帳のうち泥谷氏関係部分 ・鳴渡山音聲寺縁起 藩史備考巻之四にあり	泥谷朱印	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B101201	続々本藩実録		1	安政2～明治1	1855～1868			和紙袋綴本 38丁 24.2×17.0	種股公～ぬきがき？	城氏蔵版 罫紙	R3-04
B101301	続々本藩実録 卷之十二		1	慶応3	1867			和紙袋綴本 55丁 26.0×18.0		鹿児島県下児湯郡 罫紙 表紙替	R3-04
B101302	続々本藩実録 卷之十三		1	明治1. 2月	1868			和紙袋綴本 60丁 26.0×18.0		鹿児島県下児湯郡 罫紙 表紙替	R3-04
B101303	続々本藩実録 卷之十四		1	明治1. 4月	1868			和紙袋綴本 54丁 26.0×18.0		鹿児島県下児湯郡 罫紙 表紙替	R3-04
B101304	続々本藩実録 卷之十五		1	明治2	1869			和紙袋綴本 47丁 26.0×18.0		鹿児島県下児湯郡 罫紙 表紙替	R3-04
B101401	藩尾録 卷之一			明治2 8月～12月	1869			和紙袋綴本 85丁 25.2×17.9	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	鹿児島県下児湯郡罫紙使用	R3-04
B101402	藩尾録 卷之二		1	明治3 1月～6月	1870			和紙袋綴本 85丁 25.2×17.9	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	鹿児島県下児湯郡罫紙使用	R3-04
B101403	藩尾録 卷之三			明治3 7月～9月	1870			和紙袋綴本 69丁 25.2×17.9	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	鹿児島県下児湯郡罫紙使用	R3-04
B101404	藩尾録 卷之四		1	明治3 10月～12月	1870			和紙袋綴本 62丁 25.2×17.9	藩史の続史料の意図でまとめられたものか。政治経済文化各般に渡る明治維新による廃藩に向けた高鍋藩の一日一日の激しい変動の記録。	鹿児島県下児湯郡罫紙使用	R3-04
B200101	財部大明神縁起（土持系図）	武藤麒一	1					和紙袋綴本 5丁 23.5×17.0		武藤家蔵 宮崎県史料編中世1 所収	R3-04
B200201	秋月家一枚系図・秋月家軍功日記 写	勝信(写)	1			文化7(写)	1810	和紙袋綴本 47丁 25.2×16.2		武藤家文書	R3-04
B200301	原田秋月系図 写	重賢(写)	1			文政3(写)	1820	和紙袋綴本 63丁 26.4×17.0			R3-04
B200401	秋月氏家譜（自種信公至種股公）		1	正保3～慶応3	1646～1867			和紙袋綴本 66丁 24.8×17.8			R3-04
B200501	高鍋藩主秋月系図		1					和紙袋綴本 61丁 24.0×16.5	・原田秋月系図 ・大蔵姓秋月系図 ・種樹公、種茂公、上杉鷹山年令早見表 添付	山名勝重所蔵	R3-04
B200502	高鍋藩主秋月系図	山名勝重	1			昭和6	1931	和紙袋綴本 61丁 25.0×16.5	原田秋月系図 ・後漢宣帝～12代種英 ・分地種封～種博 高鍋御城内本丸ノ内御建屋見取図		R3-04
B200601	公室世系（秋月家系図）全		1					和紙袋綴本 81丁 27.0×19.5	原田秋月系図 後漢宣帝～種股 安政3年種股家督以下大泉氏書入れ	大泉篤範蔵 種任公まではB200301と同じ	R3-04
B200801	中興系図（高鍋藩武士以上苗字類聚）	森	1			明治42	1909	和紙袋綴本 94丁 23.6×16.0	江戸前期の高鍋藩士141家の中興系図	則松氏蔵書 A101901岩村真鉄備録一は本書の写し 大泉222に苗字別に記載	R3-04
B200901	諸家記録	元禄・享保・文化	1					和紙袋綴本 159丁 24.8×16.0	石井・田村・団井・大坪・大塚・国田・山田・山名・黒水・内田・三好		R3-04
B201101	壹嶋家系図		1			寛政8	1796	和紙継紙	都農町秋野村壹嶋善兵衛系図1枚	武藤家文書 袋入り 永井哲雄氏判読	R3-04
B201201	武藤家系図 五部一号		1					和紙 折本 16.0×8.5	武末惣左衛門～武藤能隣までの系図	武藤家文書 折紙の表裏両面記載	R3-04
B201301	橘姓城氏系譜稿		1	～明治3	～1870			和紙袋綴本 19丁 24.6×16.0	橘重～重雄まで		R3-04
B201401	城氏家譜稿 全	城勲	1			明治13	1880	和紙袋綴本 26丁 23.6×17.2	城平内橘朝臣～重雄	日向高鍋城氏圖籍 朱印	R3-04
B201501	城家親姻譜稿 乾	城勲	1			明治5	1872	和紙袋綴本 80丁 24.0×17.0	系図		R3-04
B201502	城家親姻譜稿 坤	城勲	1			明治5	1872	和紙袋綴本 66丁 24.0×17.0	系図		R3-04
B201601	城家歴世実録稿 全		1					和紙袋綴本 49丁 24.0×16.0			R3-04
B201701	竹窓年譜（城勇雄）		1					和紙袋綴本 116丁 25.0×17.3		一般書架にコピーあり 県立図書館に同名の文書あり	R3-04
B201801	城勇雄	堤長発	1			明治34	1901	和紙袋綴本 28丁 24.2×16.2	・城勇雄先生の履歴 ・城勇雄先生の葬儀 ・詩二編 ・城勇雄先生を祭る	罫紙 「略歴」は『高鍋郷友会報告 第19号』(M28)掲載 文の写し、「城勇雄葬儀」「詩2編」は『高鍋郷友会報告 第11号』(M33)の写し 城勇雄先生を祭るは永井哲雄氏解説「竹窓城先生之葬ヲ送ル文」と同内容	R3-04
B201901	城勇雄履歴 略	城勇雄	1	明治				和紙袋綴本 18丁 24.5×16.3		城氏蔵版罫紙 高鍋郷友会報告第19号（明治28年9月）掲載のものと同じ	R3-04
B202001	坂田秀素行記并吉田西州履歴	坂田秀	1	明治10	1877			洋紙原稿用紙ペン書 85ページ 74.4×17.0		武藤家文書	R3-04
B202101	武藤東四郎 履歴書・経歴	武藤東四郎	1	～明治22	～1889			和紙袋綴本 16丁	明治22年までの履歴書	高鍋藩郡紙	R3-04
B202201	旧高鍋藩先達小傳	城勲 泥谷直養	1					和紙袋綴本 69丁 24.0×17.0	・旧高鍋先達小伝 山内仙介 内藤元吉 田村克明 財津吉忠 千手八太郎 大塚氏慎 坂田諸安 大塚静氏 田村正明 綾部融 田村克成 横尾敬 日高明実 綾部豹蔵（明治32年城勇雄） ・御翠財津先生小伝（明治35年城勇雄） 漢文体 非時舎罫紙 ・城勇雄に関して（明治34年泥谷直養） ・坂田秀に関して（明治29年） ・古雷公小伝（大正2年泥谷直養） ・梅沢先生小伝 ・黒水氏徳 ・泥谷直養 ・静観公（日高誠実）「静観公頌徳碑」（静観公碑の内容の漢文）	古香堂印 朱印 明治から大正に書かれたもの数編を集めたもの	R3-04
B202301	古雷公小伝	泥谷直養	1			大正2	1913	和紙袋綴本 5丁 24.2×16.8		武藤家文書 漢文体 B202201旧高鍋藩先達小傳 参照	R3-04
B202501	藩翰譜 序	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 27丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをしるす ・序 英賀室直清（享保元年1716） ・凡例 ・目次	全13巻 正編10巻、付録2巻、凡例目録ともに1巻 筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202502	藩翰譜 卷第一	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 33丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをしるす ・越前・尾張・紀伊・水戸・保科 ・甲府・館林	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202503	藩翰譜 卷第二	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 26丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをしるす ・松平杉原・深溝・能見・萩尾 ・桜井・藤井・長沢	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202504	藩翰譜 卷第三	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 24丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをしるす ・水野・松平久松・増山	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202505	藩翰譜 卷第四之上	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 105丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをしるす ・酒井・本田・井伊・榊原	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202506	藩翰譜 卷第四之中	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 97丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをしるす ・大久保・石川・鳥居・内藤 ・植村・阿部・渡邊	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B202507	藩翰譜 巻第四之下	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 50丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・戸田松平 ・戸田 ・牧野 ・松平松井 ・三宅 ・西郷 ・土岐 ・高木	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202508	藩翰譜 巻第五	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 110丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・酒井 ・土井 ・阿部 ・青山 ・永井 ・安藤 ・板倉 ・井上 ・森川 ・久世 ・稲垣 ・西尾 ・三浦 ・米津 ・伊丹	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202509	藩翰譜 巻第六	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 112丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・奥平 ・小笠原 ・岡部 ・諏訪 ・土屋 ・屋代 ・丹羽 ・山口 ・加々瓜 ・北條 ・秋元 ・稲葉 ・堀田 ・太田 ・栃木 ・内田 ・相生 ・小堀	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202510	藩翰譜 巻第七之上	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 68丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・池田 後賜松平 ・浅野 後賜松平 ・前田 後賜松平 ・京極 附丹後守 ・黒田 後賜松平 ・有馬 ・山内 後賜松平 ・堀	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202511	藩翰譜 巻第七之下	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 64丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・伊達 後賜松平 ・細川 ・加藤 ・藤堂 ・森	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202512	藩翰譜 巻第八之上	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 58丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・毛利 後賜松平 ・嶋津 ・鍋嶋 後賜松平 ・蜂須賀 後賜松平	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202513	藩翰譜 巻第八之下	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 81丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・上杉 ・佐竹 ・岩城 ・秋田 ・相馬 ・丹羽 ・立花 ・新庄 ・土方	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202514	藩翰譜 巻第九之上	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 57丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・真田 ・九鬼 ・金森 ・分部 ・遠山 ・遠藤 ・一揆 ・市橋 ・葉山 ・仙石 ・清口	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202515	藩翰譜 巻第九之下	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 60丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・南部 ・戸澤 ・津軽 ・六郷 ・水谷 ・那須 ・大田原 ・大関 ・亀井 ・伊東 ・中川 ・有馬 ・大村 ・毛利	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202516	藩翰譜 巻第十之上	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 66丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・稲葉 ・脇坂 ・小出 ・加藤 ・谷 ・木下 ・相良 ・秋月 ・宗 ・松浦 ・五嶋 ・久留嶋	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202517	藩翰譜 巻第十之下	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 23丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・織田 ・建部 ・片桐 ・青木 ・伊東	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202518	藩翰譜 巻第十一	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 99丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・薩摩守 ・七郎殿 ・上総介殿 ・駿河 ・松平竹谷 ・水野 ・松平大須賀 ・平岩 ・本田 ・高力 ・天野 ・菅沼 ・小條 ・山岡 ・小笠原 ・菅川 ・酒井 ・堀	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202519	藩翰譜 巻第十二之上	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 121丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・藩生 ・金吾 ・福岡 ・加藤 ・堀尾 ・田中 ・中村 後賜松平 ・筒井 ・里見 ・生駒 ・寺澤	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202520	藩翰譜 巻第十二之下	新井白石	1	慶長5～延宝8	1600～1680			和紙袋綴本 115丁 26.5×18.6	江戸初期の各藩の年譜 諸大名の始封、襲封および廃除などをする ・富田 ・稲葉 ・徳永 ・西尾 ・古田 ・山崎 ・本多 ・松下 ・高橋 ・関 ・杉原 ・前田 ・松倉 ・山崎 ・戸川 ・平岡 ・藤田 ・竹中 ・佐久間 ・村上 ・石川 ・日根野 ・成田 ・佐野 ・瀧野	筑後守従五位下源朝臣君美＝新井白石	R3-04
B202601	武家系図 一		1					和紙袋綴本 35丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202602	武家系図 二		1					和紙袋綴本 43丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202603	武家系図 三		1					和紙袋綴本 49丁 28.0×20.2	大蔵姓秋月あり	明倫堂蔵書印	R3-04
B202604	武家系図 四		1					和紙袋綴本 50丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202605	武家系図 五		1					和紙袋綴本 52丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202606	武家系図 六		1					和紙袋綴本 55丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202607	武家系図 七		1					和紙袋綴本 49丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202608	武家系図 八		1					和紙袋綴本 55丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202609	武家系図 九		1					和紙袋綴本 56丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202610	武家系図 十		1					和紙袋綴本 49丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202611	武家系図 十一		1					和紙袋綴本 53丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202612	武家系図 十二		1					和紙袋綴本 52丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202613	武家系図 十三		1					和紙袋綴本 49丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202614	武家系図 十四		1					和紙袋綴本 56丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202615	武家系図 十五		1					和紙袋綴本 59丁 28.0×20.2		明倫堂蔵書印	R3-04
B202701	近世畸人伝 巻一	観鷲道人永忠 原書 豪屋孫兵衛 他	1			寛政2印刷	1790	和紙袋綴本 刊本 43丁 26.0×18.6	近世の諸階層の人物100余名の伝記 ・序文 ・前文 天明8年 ・目録 天明8年 ・巻一 貝原益軒 他	稲田蔵書 朱印 橋本家蔵書印 朱印 千日庵所蔵 朱印 加子氏所蔵 朱印	R3-04
B202702	近世畸人伝 巻二	観鷲道人永忠 原書 豪屋孫兵衛 他	1			寛政2印刷	1790	和紙袋綴本 刊本 40丁 26.0×18.6	近世の諸階層の人物100余名の伝記 ・巻二 三宅尚寅 他	稲田蔵書 朱印 橋本家蔵書印 朱印 千日庵所蔵 朱印 加子氏所蔵 朱印	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B202703	近世崎人伝 巻三	親鸞道人永忠 原書 菱屋孫兵衛 他	1			寛政2印刷	1790	和紙袋綴本 刊本 42丁 26.0×18.6	近世の諸階層の人物100余名の伝記 ・巻三 隠士長流 他	福田蔵書 朱印 橋本家蔵書印 朱印 千日庵所蔵 朱印 加子氏所蔵 朱印	R3-04
B202704	近世崎人伝 巻四	親鸞道人永忠 原書 菱屋孫兵衛 他	1			寛政2印刷	1790	和紙袋綴本 刊本 38丁 26.0×18.6	近世の諸階層の人物100余名の伝記 ・巻四	福田蔵書 朱印 橋本家蔵書印 朱印 千日庵所蔵 朱印 加子氏所蔵 朱印	R3-04
B202705	近世崎人伝 巻五	親鸞道人永忠 原書 菱屋孫兵衛 他	1			寛政2印刷	1790	和紙袋綴本 刊本 44丁 26.0×18.6	近世の諸階層の人物100余名の伝記 ・巻五 並河天民 他	福田蔵書 朱印 橋本家蔵書印 朱印 千日庵所蔵 朱印 加子氏所蔵 朱印	R3-04
B202801	諸御役目録		1					和紙袋綴本 21丁 16.0×11.5	人名家紋等	日向高鍋城氏圖籍 朱印 修後済みだが虫食い多し	R3-04
B202901	新板改正 天保武鑑 徳川一族		1					和紙袋綴本 刊本 182丁 16.0×11.2	徳川系図 家紋 用人の名前 「武鑑」 江戸時代、大名諸家、幕府諸役人を記載の主体にして、編集、出版された武家の名鑑。分限帳などの公簿とは異なり、民間の手によって編集発行された。利用者の便宜のために一目で見られるよう創意工夫が加えられている。(国史大辞典より抜粋)		R3-04
B202902	新板改正 天保武鑑 御大名衆之鑑		1					和紙袋綴本 刊本 169丁 16.0×11.2	家紋 用人の名前 「武鑑」 江戸時代、大名諸家、幕府諸役人を記載の主体にして、編集、出版された武家の名鑑。分限帳などの公簿とは異なり、民間の手によって編集発行された。利用者の便宜のために一目で見られるよう創意工夫が加えられている。(国史大辞典より抜粋)	元治元 於京都求 長野氏蔵書印 朱印 福田蔵書 朱印	R3-04
B202903	新板改正 天保武鑑 諸御役目録		1					和紙袋綴本 刊本 115丁 16.0×11.2	役職ごとの氏名 「武鑑」 江戸時代、大名諸家、幕府諸役人を記載の主体にして、編集、出版された武家の名鑑。分限帳などの公簿とは異なり、民間の手によって編集発行された。利用者の便宜のために一目で見られるよう創意工夫が加えられている。(国史大辞典より抜粋)	元治元 於京都求 長野氏蔵書印 朱印 福田蔵書 朱印	R3-04
B203001	勢免天話草 巻之一、二		1					和紙袋綴本 52丁 26.0×19.2	・目録 ・巻之一 将軍家 上 ・巻之二 将軍家 下	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203002	勢免天話草 巻之三、四		1					和紙袋綴本 49丁 26.0×19.2	・巻之三 御三家御家門 上 ・巻之四 御三家御家門 下	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203003	勢免天話草 巻之五、六		1					和紙袋綴本 40丁 26.0×19.2	・巻之五 武家執役御大老御老中若年寄之一 ・巻之六 武家執役御大老御老中若年寄之二	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203004	勢免天話草 巻之七、八		1					和紙袋綴本 51丁 26.0×19.2	・巻之七 武家執役御大老御老中若年寄之三 ・巻之八 武家執役御大老御老中若年寄之四	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203005	勢免天話草 巻之九、十		1					和紙袋綴本 50丁 26.0×19.2	・巻之九 諸司代附 両御附 御城代附御城番 ・巻之十 三奉行附 遠国奉行 三番頭御附家老 大目付 御目附之上	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203006	勢免天話草 巻之十一、十二		1					和紙袋綴本 36丁 26.0×19.2	・巻之十一 三奉行附 遠国奉行 三番頭 御附家老 大目付 御目附之下 ・巻之十二 御譜代大名 御旗本 御家人之上	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203007	勢免天話草 巻之十三、十四		1					和紙袋綴本 33丁 26.0×19.2	・巻之十三 御譜代大名 御旗本 御家人之下 ・巻之十四 外様大名之一	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203008	勢免天話草 巻之十五、十六		1					和紙袋綴本 35丁 26.0×19.2	・巻之十五 外様大名之二 ・巻之十六 外様大名之三	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203009	勢免天話草 巻之十七、十八		1					和紙袋綴本 38丁 26.0×19.2	・巻之十七 外様大名之四 ・巻之十八 御譜代陪臣	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203010	勢免天話草 巻之十九、二十		1					和紙袋綴本 24丁 26.0×19.2	・巻之十九 外様陪臣 ・巻之二十 百姓町人	福田蔵書 朱印 参考資料 高鍋史友会報第10号	R3-04
B203101	日本道學淵源録 一	大塚静 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 72丁 26.0×15.5	・淵源録序 ・淵源録例言 ・日本道學淵源録目録 ・日本道學淵源録 巻之一 ・閑齋先生	漢文体の印刷本 日向 大塚氏静子陰編集 千手興成立叔校補 楠本孚嘉吉甫増補 楠本翼君翔校字	R3-04
B203102	日本道學淵源録 二	大塚静 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 78丁 26.0×15.5	・巻之二 佐藤先生(佐藤直方) ・巻之三 網齋先生(浅見網齋) ・巻之四 尚齋先生(三宅尚齋)	漢文体の印刷本 日向 大塚氏静子陰編集 千手興成立叔校補 肥前 楠本孚嘉吉甫増補 楠本翼君翔校字	R3-04
B203103	日本道學淵源続録 一	大塚静 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 75丁 26.0×15.5	・目録 ・続録巻之一 ・閑齋先生門人38名	漢文体の印刷本 日向 大塚氏静子陰編集 千手興成立叔校補 肥前 楠本孚嘉吉甫増補 楠本翼君翔校字	R3-04
B203104	日本道學淵源続録 二	大塚静 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 34丁 26.0×15.5	・巻之二 佐藤先生門人9名 ・巻之三 網齋先生門人12名	漢文体の印刷本 日向 大塚氏静子陰編集 千手興成立叔校補 肥前 楠本孚嘉吉甫増補 楠本翼君翔校字	R3-04
B203105	日本道學淵源続録 三	大塚静 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 58丁 26.0×15.5	・巻之四 尚齋先生門人21名	漢文体の印刷本 日向 大塚氏静子陰編集 千手興成立叔校補 肥前 楠本孚嘉吉甫増補 楠本翼君翔校字	R3-04
B203106	日本道學淵源続録 四	大塚静 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 57丁 26.0×15.5	・巻之五 幸田先生 他19名 (千手廣齋先生、親淵大塚翁 含)	漢文体の印刷本 日向 大塚氏静子陰編集 千手興成立叔校補 肥前 楠本孚嘉吉甫増補 楠本翼君翔校字	R3-04
B203107	日本道學淵源続録増補 一	楠本孚嘉吉甫 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 56丁 26.0×15.5	・目録 ・増補巻上 ・木村順哉 他42名	漢文体の印刷本	R3-04
B203108	日本道學淵源続録増補 二	楠本孚嘉吉甫 編集 岡次郎 発行	1			昭和9 発行	1934	和紙袋綴本 刊本 68丁 26.0×15.5	・増補巻下 ・若槻幾齋 他34名	漢文体の印刷本 著作発行者 岡 次郎 印刷 株式会社 開明堂	R3-04
B203201	過去帳		1					和紙袋綴 11丁 28.7×20.9	武末、武藤の名あり	宮崎県立図書館(昭和37年1月12日)の史料袋④にあり	R3-04
B300101	日向国児湯郡高城興亡記	田村五郎(写)	1			明治26 (写)	1893	和紙袋綴本 16丁 24.7×16.5	高城合戦 1578(天正6)	判読書はB300101のもの石川先生稿本(石川O-240)	R3-04
B300201	日向国児湯郡高城興亡之記	岩村真鉄(写)	1			昭和10 (写)	1935	和紙袋綴本 16丁 23.6×16.7	高城合戦 1578(天正6)	武藤家文書 判読書は石川先生稿本(石川O-240)	R6-01
B300301	日向国児湯郡高城興亡之記	(写)	1					和紙袋綴本 15丁 23.6×16.7	高城合戦 1578(天正6)	判読書はB300101のもの石川先生稿本(石川O-240)	R6-01
B300401	風説書扣		1	万治1～元禄4	1658～1691			和紙袋綴本 78丁 24.5×16.0	・京地騒動 ・長州軍令條写 他		R3-04
B300601	福嶋院北方村之内坪付之事		1	元禄16 正徳5 享保20	1703 1715 1735			和紙折紙 3丁 16.0×47.2(横帳)	武藤清太郎宛河辺九兵衛外	宮崎県史料 史料編 近世4 所収	R3-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B300701	新納院上江村内坪付之事		1	宝永4	1704			和紙折紙 3丁 16.2×47.7(横帳)	河辺小十郎宛中元寺基蔵外	宮崎県史料 史料編 近世4 所収	R3-04
B300801	御定書 写		1	寛保2	1742			和紙袋綴本 38丁 24.2×16.0	107項目による定書 目安裏判 等	堤家蔵 虫食い多し	R3-05
B300901	百ヶ条		1			寛保2	1742	和紙袋綴本 132丁 22.8×16.2	各奉行所の定目	明倫堂 朱印	R3-05
B301001	旧記抜書 写		1	宝暦14～ 天明3	1764～ 1783			和紙袋綴本 179丁 23.7×15.8		秋月小牧蔵書印 朱印 秋月小牧 黒印 修復済みなれど傷み多し 資料館(寄贈215～1)の写し	R3-05
B301101	自求録 上	千手八太郎		明和3～寛 政2	1766～ 1790	寛政2	1790	和紙袋綴本 89丁 23.8×15.2	千手八太郎の30歳頃からの「存寄」ほか、讀書の折りの質疑、所感、大塚暉の意見などを付記。 明倫堂設立にかかわる存寄のほか、彼の教育論、福島山西三方社倉設立の存寄などが収められている。 学規も含む 《略目次》 序文 1・藩主の詩好みについて 存寄(古文)明和3年 2・詩集伝並近思録の御書会での藩主の疑問に答える(漢文)明和4年 3・再縁の欄について存寄(古文)安永3年頃 4・損益二卦(漢文)天明2年 5・学校設立について存寄(古文・漢文(明倫堂欄間記))安永7年 6・種茂夫人のこと(漢文)安永3年 7・日州	宮崎県史史料編近世4 一部所収「序文」「詩文の学を興し経学を学ばしめられたしの存寄」「藩主の行習館の教育上の疑問に就いて答ふる存寄」「福島山西三方郷社倉についての存寄及び社倉条目」「跋」 「明倫堂記録」(刊本)に「学校造立の存寄」所収参考「千手八太郎の生涯と自教録」「仁」と「諫」(永井哲雄著)	R3-05
B301201	清観公御治績抜粋		1					和紙袋綴本 3丁 24.8×16.6	種繁の治績を箇条書き	修復なし(2000年11月現在)袋綴しの中に鉛筆で書かれたものあり	R3-05
B301301	秦雲公御代草稿 制度上		1	寛政2	1790			和紙袋綴本 16丁 24.5×17.0	秦雲公＝種徳公	静観寓蔵 雪紙	R3-05
B301401	地方凡例録 巻	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 63丁 23.5×16.5	農政書 地方総論 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301402	地方凡例録 貳	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 87丁 23.5×16.5	農政書 検地之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301403	地方凡例録 参	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 60丁 23.5×16.5	農政書 検見仕方之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301404	地方凡例録 四	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 67丁 23.5×16.5	農政書 寄付地之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301405	地方凡例録 五	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 71丁 23.5×16.5	農政書 出目米延米之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301406	地方凡例録 六	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 66丁 23.5×16.5	農政書 高内年々引之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301407	地方凡例録 七	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 74丁 23.5×16.5	農政書 郷帳発之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301408	地方凡例録 八	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 47丁 23.5×16.5	農政書 切支丹類口一件之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301409	地方凡例録 九	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 81丁 23.5×16.5	農政書 普請方之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301410	地方凡例録 十	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 62丁 23.5×16.5	農政書 郷村請取渡之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301411	地方凡例録 十一	大石久敬	1			寛政6	1794	和紙袋綴本 56丁 23.5×16.5	農政書 民間金銀通始之事 他	瀬川蔵書印 朱印	R3-05
B301501	銀台遺事 巻之一 仁		1					和紙袋綴本 18丁 22.7×15.7	「銀台遺事」 細川重賢に関する書籍。全4巻。 重賢は延享4年(1747)第8代熊本藩主に就任以来「宝暦の藩政改革」の中心人物として危機を乗り切り幕末までの藩政に大きな影響を与えた。 単なる名君美談の収録ではなく、当時の制度・風習・諸家臣の動向を知るのに好史料である。 銀台とは重賢の江戸上屋敷が芝の白金台にあったことから、重賢を「銀台公」と称したことによる。(国史大辞典より抜粋)		R3-05
B301502	銀台遺事 巻之二 義		1					和紙袋綴本 24丁 22.7×15.7	「銀台遺事」 細川重賢に関する書籍。全4巻。 重賢は延享4年(1747)第8代熊本藩主に就任以来「宝暦の藩政改革」の中心人物として危機を乗り切り幕末までの藩政に大きな影響を与えた。 単なる名君美談の収録ではなく、当時の制度・風習・諸家臣の動向を知るのに好史料である。 銀台とは重賢の江戸上屋敷が芝の白金台にあったことから、重賢を「銀台公」と称したことによる。(国史大辞典より抜粋)		R3-05
B301503	銀台遺事 巻之三 礼		1					和紙袋綴本 29丁 22.7×15.7	「銀台遺事」 細川重賢に関する書籍。全4巻。 重賢は延享4年(1747)第8代熊本藩主に就任以来「宝暦の藩政改革」の中心人物として危機を乗り切り幕末までの藩政に大きな影響を与えた。 単なる名君美談の収録ではなく、当時の制度・風習・諸家臣の動向を知るのに好史料である。 銀台とは重賢の江戸上屋敷が芝の白金台にあったことから、重賢を「銀台公」と称したことによる。(国史大辞典より抜粋)		R3-05
B301504	銀台遺事 巻之四 智		1					和紙袋綴本 22丁 22.7×15.7	「銀台遺事」 細川重賢に関する書籍。全4巻。 重賢は延享4年(1747)第8代熊本藩主に就任以来「宝暦の藩政改革」の中心人物として危機を乗り切り幕末までの藩政に大きな影響を与えた。 単なる名君美談の収録ではなく、当時の制度・風習・諸家臣の動向を知るのに好史料である。 銀台とは重賢の江戸上屋敷が芝の白金台にあったことから、重賢を「銀台公」と称したことによる。(国史大辞典より抜粋)		R3-05
B301505	銀台遺事 巻之五 信		1					和紙袋綴本 32丁 22.7×15.7	「銀台遺事」 細川重賢に関する書籍。全4巻。 重賢は延享4年(1747)第8代熊本藩主に就任以来「宝暦の藩政改革」の中心人物として危機を乗り切り幕末までの藩政に大きな影響を与えた。 単なる名君美談の収録ではなく、当時の制度・風習・諸家臣の動向を知るのに好史料である。 銀台とは重賢の江戸上屋敷が芝の白金台にあったことから、重賢を「銀台公」と称したことによる。(国史大辞典より抜粋)		R3-05
B301601	大目付所在御法令・御制度 (写)		1	文化7	1810			和紙袋綴本 26丁 14.9×22.4	大目付所在 ・法令 ・制度 ・制度下(途中まで)	一般書架にコピーあり	R3-05
B301701	諸士法令并諸士制度之写 全	黒水長順(写)	1	文化7	1810	天保4(写)	1833	和紙袋綴本 51丁 25.4×15.5	・法令 文化7年 ・種任公御代諸士制度 制度上 文化7年 家老中 制度下 文化7年 家老中		R3-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B302101	奏者永日記撰書（全）	鈴木百助	1	文化4～文化9	1807～1812			和紙袋綴本 60丁 14.3×22.5	目録 ・諸士・医師 茶道・組外・家業 小番 ・足輕小頭・職人・寺社・席・御祝儀・御機嫌窺・諸事見出		R3-05
B302201	高鍋巡見日記	鈴木与兵衛	1	文政4	1821			和紙袋綴本 20丁 23.9×15.8	幕末の領内巡見の様子を具体的に知ることができる。 城付地の新納、中通、野別府を対象に行なわれたもので代官の泥谷団一郎（新納）山村都太夫（野別府）がそれぞれ担当地域に同行、各庄屋もとはは法令の読み聞かせが百姓を集めて行なわれた。国境の確認も行なわれた。	藩紙（赤いスジ入り和紙） 永井哲雄氏判読	R3-05
B302401	的出張之記聞書		1	文政7	1824			和紙袋綴本 3丁 24.0×16.0		高月鈴木文庫 朱印	R3-05
B302501	海陸御膳番日記		1	文政9～文政10	1826～1827			和紙袋綴本 22丁 13.0×20.9		高月鈴木文庫口口朱印 一般書架にコピーあり 解説文:「温かなる江戸への旅」永井哲雄著P207～252に解説文掲載(全文)	R3-05
B302601	福岡御改革筋手扣	黒水司馬太	1	文政10～文政11	1827～1828			和紙袋綴本 34丁 28.0×20.2	表紙の題は「福岡 諸縣 御改革筋手扣」	藩紙（赤いスジ入り和紙） 永井哲雄氏判読(R2 清書)	R3-05
B302701	三之丸御壁書 写	中村良知	1			文政12	1829	和紙袋綴本 6丁 22.8×16.2		明倫堂押印 朱印	R3-05
B302801	官祿定則(旧高鍋藩事蹟記録抄の続編)		1	明治3	1870			和紙袋綴本 31丁 25.0×17.0		城氏蔵版 罫紙 A301501(嘉永6～慶応3) B307001(慶応3～明治2) B307101(明治2～明治3)と一連	R3-05
B302901	殿様御入部諸手当方控帳	緒方熊次郎	1	天保14	1843			和紙 折紙 3丁 12.5×31.6	家督の願いが聞届けられ、種殷公、天保14年9月1日江戸出发、19日大坂着、10月5日美々津着、7日初入城である。緒方氏は、都農町の別当である。		R3-05
B303001	法制(法令・制度上・制度下)		1			天保15	1844	和紙袋綴本 84丁 24.7×16.8	・法令 ・制度上(家紋記載) ・制度下	日向高鍋城氏図籍 朱印 宮崎県史料 史料編 近世4 所収 参考資料 高鍋史友会報13号 一般書架にコピーあり	R3-05
B303401	諸記録抜粋		1	嘉永6	1853			和紙袋綴本 40丁 25.3×16.7	・巳六月三日異国船浦黄江渡来之節之次第(嘉永6) ・真田信濃守様御用番様迄御書写 ・材木屋中村屋源八預書写 ・松平城前守様御存寄書写 ・大目付様方同断 ・巳七月長崎江異国船渡来之諸国説(嘉永6) ・水戸前中納言府口郷上書写 ・松平越中守様上書写(嘉永6) ・長崎御奉行手附三人より上書写(嘉永6年7月) ・松平主殿頭様松前伊豆守様より御届書写	高月鈴木文庫口口 朱印	R3-05
B303601	高鍋山帳 二番 文政五年午六月ヨリ	山奉行中	1	文政5～慶応3	1822～1867			コピー複写 296丁(4分冊) 25.2×16.7	内扉に四冊之内とあり、山御証証文	秋月須磨子寄託本 現在 資料館所蔵	R3-05
B303602	高鍋山帳	山奉行中	1	享和2～明治2	1802～1869			コピー複写 295丁(4分冊) 25.2×16.7		秋月須磨子寄託本 現在 資料館所蔵	R3-05
B303801	鹿児島出張日記	鈴木百助	1	嘉永2	1849			和紙袋綴本 68丁 25.0×16.0		藩紙（赤いスジ入り和紙）	R3-05
B303901	戊春反銀勘定帳 上	坂田安之助 泥谷幸兵衛	1	嘉永3	1850			和紙 折紙 25丁 12.3×33.0(横帳)		萱島秀樹蔵	R3-05
B303902	戊春反銀勘定帳 下	坂田安之助 泥谷幸兵衛	1	嘉永3	1850			和紙 折紙 14丁 12.3×33.0(横帳)		萱島秀樹蔵	R3-05
B304001	明倫堂叢書 一		1	嘉永5	1852			和紙袋綴本 42丁 24.7×16.4	幕末のアメリカとの関係	明倫堂蔵書印 朱印	R3-05
B304002	明倫堂叢書 二		1	嘉永5	1852			和紙袋綴本 72丁 24.7×16.4	幕末のアメリカとの関係(一のつづき)	明倫堂蔵書印 朱印	R3-05
B304003	明倫堂叢書 三		1	嘉永7	1854			和紙袋綴本 59丁 24.7×16.4	・安政411月6日アメリカ使節へ対話の趣 ・同9月18日アメリカよりの書簡 ・同9月11日アメリカ官吏へ応接趣 ・嘉永7年8月日英条約	明倫堂蔵書印 朱印 幕府達の写	R3-05
B304004	明倫堂叢書 四		1	安政4	1857			和紙袋綴本 36丁 24.7×16.4	阿蘭陀条約 オランダ使節との応接	明倫堂蔵書印 朱印	R3-05
B304005	明倫堂叢書 五		1	嘉永6～安政4	1853～1857			和紙袋綴本 46丁 24.2×17.2	魯西垂書口和解 魯西垂条約 オロンア使節との応接	明倫堂蔵書印 朱印	R3-05
B304006	明倫堂叢書 六		1	嘉永6	1857			和紙袋綴本 56丁 24.2×17.2	魯西垂条約(五のつづき) 魯使對話記	明倫堂蔵書印 朱印	R3-05
B304007	明倫堂叢書 七		1	嘉永6～安政1	1853～1854			和紙袋綴本 51丁 24.2×17.2	魯使對話記(六のつづき)	明倫堂蔵書印 朱印	R3-05
B304101	土州流入記		1	天保11～嘉永5	1840～1852	嘉永6	1853	和紙袋綴本 16丁 24.0×16.0	天保11年正月漂流 嘉永5年帰国 中浜万次郎	高月鈴木文庫 朱印 幕府達の写し	R3-05
B304301	奉行所日誌	鈴木百助	1	安政初頃	1854			和紙袋綴本 49丁 25.5×16.7		藩紙（赤いスジ入り和紙）	R3-05
B304401	藩日誌(唐船引き送り関係)	鈴木百助	1	安政2	1855			和紙袋綴本 92丁 25.0×16.6	唐船漂着 高鍋美々津書状控に同じ	藩紙（赤いスジ入り和紙） A300901出張場より高鍋美々津江之書状 参照	R3-05
B304501	阿万文書 清国江南商船漂流日記	阿万豊蔵	1	安政2 5月11日～13日	1855			和紙袋綴本 15丁 25.5×18.0			R3-05
B304601	夷匪犯境聞見録 巻之一		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 40丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	武蔵家文書 漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304602	夷匪犯境聞見録 巻之二		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 36丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	武蔵家文書 漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304603	夷匪犯境聞見録 巻之三		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 34丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	武蔵家文書 漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304604	夷匪犯境聞見録 巻之四		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 57丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	武蔵家文書 漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304605	夷匪犯境聞見録 巻之五		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 46丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	武蔵家文書 漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304606	夷匪犯境聞見録 巻之六		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 51丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	武蔵家文書 漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304701	夷匪犯境聞見録 巻之一		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 40丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304702	夷匪犯境聞見録 巻之二		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 36丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304703	夷匪犯境聞見録 巻之三		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 34丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304704	夷匪犯境聞見録 巻之四		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 57丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304705	夷匪犯境聞見録 巻之五		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 46丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304706	夷匪犯境聞見録 巻之六		1			安政4	1857	和紙袋綴本 刊本 51丁 25.6×17.7	天保10年から13年にかけて清国とイギリスの間に起こった紛争、アヘン戦争の顚末に着いての記録。	漢文体本活字本 明倫堂蔵梓 朱印	R3-05
B304801	戊午安政五年風聞書		1	安政5	1858			和紙袋綴本 6丁 24.0×17.0		黒水文書	R3-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B304901	高鍋藩 人給帳		1	万延1	1860			宮崎県古公文書コピー	藩政上の人に関する事柄、組織の大方を知ることができる。 藩費を支給するすべての人々の支給内容と人名を掲載したもの。 寛永15年(1638)から慶応元年(1865)に至る間のうち46の年度の人給帳が残されている。 解読済み	人給帳一連の資料のうち原本欠落部分	R6-01
B305001	道中心得 全		1					和紙袋綴本 37丁 13.0×19.0		高月鈴木文庫 朱印	R3-05
B305101	御内証御用登坂日記	鈴木翔房(百助)	1	安政7～万延2	1860～1861			和紙袋綴本 34丁 24.7×16.2	安政7年2月12日から万延2年4月24日		R3-05
B305201	給人中判鑑		1	文久2	1862			和紙折紙 14丁 14.1×41.4(横帳)	家格「給人」の書判(かきはん)台帳である。藩主、藩行への呈れなど公的な書札に用いる書判の台帳である。	一般書架にコピーあり	R3-05
B305401	異変取計手続扣	体裁は横幅	1	元治2	1865			和紙折紙 12丁 12.3×32.7(横帳)			R3-05
B305601	永日記	河辺一郎次 他	1	弘化5～元治2	1848～1865			和紙袋綴本 174丁 23.0×16.2	高鍋藩用人河辺一郎次の日記 弘化5年正月元旦に始まり元治2年9月3日に終る18年間の日記	参考資料 高鍋史友会報14号 永井哲雄氏判読	R3-05
B305701	入藩志	城勇雄	1	慶応3	1867			和紙袋綴本 53丁 12.5×16.3	頼摩雄による薩摩行き記録。慶応三年六月六日から七月九日まで。薩摩への出立は六月十八日、高鍋藩藩は七月九日。 寛老水筑小一郎、注一龍齋一條にて入藩。その際、城勇雄は副使を命ぜられた。勇雄は、この件は兵賦方に属することとして固辞するが、特命を受け同行。薩摩にて黒田嘉右衛門らに会い、誤解を解き親交を深める。旅程並びに道中の様子、薩摩での面談、贈答物のことなど細かく記される。また、薩摩滞在中の先君貴久公御忌日の様子、蒸気船や集成館見物のことなどの記載もある。当時の国情についての話題(長州征伐・兵庫開港など)	永井哲雄氏判読	R3-05
B305801	厩駕上京日記	城勇雄	1	明治1	1868			和紙袋綴本 47丁 20.6×13.8			R3-05
B305901	在京日記	城勇雄	1	明治2	1869			和紙袋綴本 折紙 17丁 12.2×16.0			R3-05
B306001	出兵先報知 控 全	武藤東四郎 鈴木来助 他	1	明治1(慶応4)	1868			和紙袋綴本 44丁 25.0×16.8		藩紙(赤いスジ入り和紙) 県立図書館にコピー本あり	R3-05
B306101	戊辰の役記録	武藤東四郎	1	慶応4(明治1)	1868	明治2	1869	和紙袋綴本 39丁 21.8×15.2	御賞の記録を含む		R3-05
B306102	北征記	武藤東四郎	1	慶応4～明治2	1868～1869			和紙袋綴本 72丁 24.5×17.5		宮崎県史料編近世4 所収	R3-05
B306201	北征記(戊辰の役記)写	武藤東四郎 武藤鯉一(写)	1			昭和25(写)	1950	和紙袋綴本 70丁 24.6×17.1		武藤鯉一印 朱印	R6-01
B306301	太政官日誌 第一～第十九	日本政府官房	19	慶応4 2月～5月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 18.0×12.3	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印 第二十は欠	R6-01
B306302	太政官日誌 第廿一～第四十	日本政府官房	20	慶応4 5月～7月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 18.0×12.3	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306303	太政官日誌 第四十一～第六十	日本政府官房	20	慶応4 7月～8月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.5	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306304	太政官日誌 第六十一～第八十	日本政府官房	20	慶応4 8 9月～明治1 9月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.5	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306305	太政官日誌 第八十一～第百	日本政府官房	20	明治1 9月～10月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.5	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306306	太政官日誌 第百一～第百二十	日本政府官房	20	明治1 10 月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306307	太政官日誌 第百廿一～第百四十	日本政府官房	20	明治1 10月～11 月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306308	太政官日誌 第百四十一～第百六十	日本政府官房	20	明治1 11月～12 月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B306309	太政官日誌 第百六十一～第百七十八	日本政府官房	18	明治1 12月	1868			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306310	太政官日誌 明治己巳第一号～第廿号	日本政府官房	20	明治2 1月～2月	1869			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)		R6-01
B306311	太政官日誌 明治己巳第廿一号～第卅八号	日本政府官房	18	明治2 2月～4月	1869			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印 第三十九号、第四十号 欠	R6-01
B306312	太政官日誌 明治己巳第四十一号～第六十号	日本政府官房	20	明治2 4月～6月	1869			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306313	太政官日誌 明治己巳第六十一号～第七十四号	日本政府官房	14	明治2 6月～6月	1869			和紙袋綴本 刊本 丁 22.0×15.0	明治初年の政府の機関紙で、官報の前身。発行の狙いは、左幕派系の新聞による政府攻撃に対抗して、政府の抱負や体制政策を宣伝し、天下の万民に政道筋を知らせることにあった。 布告・定書・被仰出書・御達書・御沙汰書などを編年式に収録し、内容的には、政体・神祇・外交・内乱・風俗・医学・学制などの各分野にわたっている。(国史大辞典より抜粋)	柿原文庫 朱印	R6-01
B306401	日誌(刑部省等の沙汰書写)		1	明治2～明治3	1869～1870			和紙袋綴本 70丁 24.0×16.5	刑部省等の沙汰書写 刑部省 兵部省 太政官日記	高鍋藩署紙	R6-01
B306501	日誌(太政官日誌抄 他)		1	明治2	1869			和紙袋綴本 62丁 24.0×15.7	前半 赤い和紙使用 ・太政官日誌抄出 ・摩壁籍抄出 ・太令籍 後半 高鍋藩署紙使用 ・摩壁籍抄	赤い和紙と高鍋藩署紙	R6-01
B306601	日誌(太政官日誌抄)		1	明治3	1870			和紙袋綴本 58丁 24.0×16.5	太政官日誌抄	高鍋藩署紙	R6-01
B306901	藩史摘要 (乾)		1	嘉永6～慶応3	1853～1867			和紙袋綴本 185丁 23.5×15.5		紙いろいる混ざり 県立図書館にコピー本あり	R3-05
B306902	藩史摘要 (坤)		1	明治1～明治3	1868～1870			和紙袋綴本 198丁 23.5×15.5		紙いろいる混ざり 県立図書館にコピー本あり	R3-05
B307001	日誌(旧高鍋藩事蹟記録抄の続編)	城勇雄	1	慶応3～明治2	1867～1869			和紙袋綴本 98丁 24.5×16.2		城氏蔵版 署紙 A301501(嘉永6～慶応3) B307101(明治2～明治3) B302801(明治3)と一連 清水さん判読	R3-05
B307101	明治2・3年日記抜萃(旧高鍋藩事蹟記録抄の続編)	城勇雄	1	明治2～明治3	1869～1870			和紙袋綴本 99丁 24.6×17.0		城氏蔵版署紙 A301501(嘉永6～慶応3) B307001(慶応3～明治2) B302801(明治3)と一連	R3-05
B307201	日誌(高鍋藩関係)		1	明治3 6/11～10/26	1870			和紙袋綴本 187丁 22.5×15.2		署紙	R3-05
B307301	高鍋藩職制戸口租税等調	武藤麒一(写)	1	明治2	1869	昭和25 (写)	1950	和紙袋綴本 33丁 25.0×17.5	廃藩直前の職務	明倫堂文庫所蔵本の写し A301801と同内容	R6-01
B307401	新縣心得集 二	黒水長健	1	明治5	1872			和紙袋綴本 17丁 22.2×15.3	出納課日掛規則以上前巻に出ス		R3-05
B307501	賞典祿取調帳		1	明治5	1872			和紙袋綴本 37丁 24.5×16.0			R3-05
B307601	旧高鍋藩制大概		1					和紙 4丁 24.7×16.7		城氏蔵版署紙	R3-05
B307701	第五学区第廿五番中学区内小学教員履歴	若山甲蔵	1	明治6・明治7	1873・1874			和紙袋綴本 丁 26.0×20.0	第25番中学区内の第1番小学から第108番小学までの教員履歴である。全員であるか否かは不明であるが、延べ520人(女性も含む)を記載する。	蔵六口印 朱印 精神楽堂 朱印 *教員の名前・貴族や士族などの身分が記されているため、閲覧不可(26年3月指示あり)	R3-05
B307801	旧高鍋藩知事秋月氏世次略	黒水長健	1					和紙袋綴本 12丁 25.0×17.0	・旧高鍋藩知事秋月氏世次略 ・旧高鍋藩学校沿革 ・旧高鍋藩制	城氏蔵版署紙	R3-05
B307901	日向国児湯郡第4大区六小区部山調帳	新藤	1			明治9	1876	和紙袋綴本 313丁 25.5×18.1	第4区川南村	宮崎縣管下第四大区署紙 新藤口(第4大区六小区惣代人)	R3-05
B308001	戊辰の役戦死者之報告書綴(宮崎県参事宛)	武藤東四郎 他	1	明治8	1875			和紙袋綴本 28丁 24.5×17.3	・鈴木栄助のこと ・武藤東四郎、坂田師久、吉田伊平らの宮崎県参事宛の文書		R3-05
B308101	旧高鍋藩文武取調書	城麩 編著 武藤麒一(写)	1			昭和15 (写)	1940	和紙の寄せ集め 24.3×16.9	・藩内学事上諸制度(行習要規) ・文武職名又俸給 ・旧高鍋藩儒臣小伝 山内貞良 千手興欽 他 ・祭儀	石川正雄氏判読の「藩史備考巻之十四」に同様の内容あり。	R3-05
B308201	西南役における高鍋隊の行動井地方の情况	岩村真鉄	1	明治10	1877			和紙袋綴本 13丁 24.5×16.8		武藤家文書 一般書架にコピーあり 石川先生判読(石川・123)	R3-05
B308301	西南戦争党書	武藤東四郎	1			明治11	1878	和紙袋綴本 91丁 24.2×16.0			R3-05
B308601	旧藩士家御救護嘆願書	坂田 秀 他4名	1	明治19	1886			和紙 刊本 4丁 27.0×19.5	宮内大臣伯爵 伊東博文宛		R3-05
B308701	宮崎県土木課書類控	宮崎県土木部 若山蔵	1	明治年間	1868			和紙袋綴本 丁 25.0×16.5		宮崎県署紙	R3-05
B308801	高鍋町是	久保昌業 編集	2			明治40発行	1907	和紙袋綴本 刊本 89丁 22.0×15.3		2冊のうち1冊は泥谷直義蔵本 久保昌業(高鍋町長)	R3-05
B308901	基本財産台帳 一	上江村役場	1	昭和6	1931			和紙袋綴本 24.5×17.0		上江村役場の署紙 他	R6-01
B400501	土持財部家史実調査	岩村真鉄	1					和紙袋綴本 37丁 24.4×16.3		武藤家文書 大正15年に発見した史料がもととなる	R3-05
B400601	江島社弁財天来歴		1			寛延2 文化3再刻	1749 1806	和紙袋綴本 8丁 25.0×16.5			R3-05
B400701	九州繹故(筑紫繹故)	千手興欽	1			寛政2	1790	和紙袋綴本 101丁 23.3×17.5	繹故とはふるさとをたずねるの意 筑紫の先君や祖先の故跡をたずね記録したもの 豊・筑の道路や、薩摩へ使者として遣わされたときの往来の覚えや名所旧跡の記録、さらに福島の道程など	解題に内容目次あり	R3-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B400801	舞鶴神社記	武藤麒一	1			昭和14	1939	洋紙(原稿用紙) 134 ページ 24.5×17.0			R3-05
B401001	都濃神社旧記		1					和紙袋綴本 22丁 23.0×16.2		修復済みだが傷み多し	R3-05
B500101	歳事記	大塚氏慎 大塚 寛(写)	1			宝暦10 文政13 (写)	1760 1830	和紙袋綴本 6丁 26.7×19.0			R3-05
B500201	鈴木家年中行事	鈴木百助	1			天保10	1839	和紙袋綴本 22丁 24.8×16.4	高鍋藩の給人屋(上級武士)の家の年中行事・しきたりが、とくに家人にもわかるように、主として仮名書きで、ふりがなまで付してある。	解題あり 参考資料 高鍋史友会報11号 パソコン入力分もあり	R3-05
B500301	家事年中目安		1	弘化2	1845			和紙折紙 6丁 14.0×40.4(横帳)	武家の生活の主たる年中行事		R3-05
B500401	葬祭式(中人以下之分)	高鍋学館	1					和紙袋綴本 10丁 24.7×17.0			R3-05
B500501	婚姻大意		1					和紙袋綴本 4丁 24.2×16.0		高月鈴木文庫 朱印	R3-05
B500502	婚姻式		1	天保5～嘉永7	1648～1854			和紙袋綴本 38丁 23.7×15.8	婚姻式、御簪入式 記録綴り 山田、泥谷、三好、山名、鈴木	高月鈴木文庫 朱印	R3-05
B500503	婚礼三冊之書 上	水嶋ト也 他	1					和紙袋綴本 18丁 23.7×15.8	結納之部 四十二ヶ条	高月鈴木文庫 朱印 判読はペン書きノート製本	R3-05
B500504	婚礼三冊之書 中	水嶋ト也 他	1					和紙袋綴本 23丁 23.7×15.8	婚礼里出之事 四十五ヶ条	高月鈴木文庫 朱印 判読はペン書きノート製本	R3-05
B500505	婚礼三冊之書 下	水嶋ト也 他	1					和紙袋綴本 23丁 23.7×15.8	婚礼合盃之事 三十五ヶ条	高月鈴木文庫 朱印 判読はペン書きノート製本	R3-05
B500601	年始例記之口伝		1	元禄12	1699			和紙袋綴本 22丁 13.5×19.0		高月鈴木文庫 朱印	R3-05
B500701	年中例式之巻 完		1					和紙袋綴本 4丁 24.0×17.0		高月鈴木文庫 朱印	R3-05
B500801	御婚姻御当日御式書写 他	城景正(写)	1			天保4(写)	1833	和紙 折紙 19丁 12.5×31.0		森重剛先生所持の写し	R3-05
B500901	金米貸借帳		1	明治7～明治24	1874～1891			和紙袋綴本 225丁 23.0×16.0	知足講	静観親蔵 雪紙	R3-05
B600101	玉箒子 巻之一	林九兵衛(義端)	1			元禄9	1566	和紙袋綴本 刊本 26丁 25.5×17.8		稲田蔵書 朱印	R3-05
B600102	玉箒子 巻之二	林九兵衛(義端)	1			元禄9	1566	和紙袋綴本 刊本 22丁 25.5×17.8		稲田蔵書 朱印	R3-05
B600103	玉箒子 巻之三	林九兵衛(義端)	1			元禄9	1566	和紙袋綴本 刊本 19丁 25.5×17.8		稲田蔵書 朱印	R3-05
B600104	玉箒子 巻之四	林九兵衛(義端)	1			元禄9	1566	和紙袋綴本 刊本 19丁 25.5×17.8		稲田蔵書 朱印	R3-05
B600105	玉箒子 巻之五	林九兵衛(義端)	1			元禄9	1566	和紙袋綴本 刊本 18丁 25.5×17.8		稲田蔵書 朱印	R3-05
B600106	玉箒子 巻之六	林九兵衛(義端)	1			元禄9	1566	和紙袋綴本 刊本 20丁 25.5×17.8		稲田蔵書 朱印	R3-05
B600201	源氏物語 湖月抄発端朱目	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 28丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600202	源氏物語 年立 上	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 31丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600203	源氏物語 年立 下	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 34丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600204	源氏物語 湖月抄 桐壺	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 32丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600205	源氏物語 湖月抄 帯木	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 50丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600206	源氏物語 湖月抄 空蟬	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 12丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600207	源氏物語 湖月抄 夕顔	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 53丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05

[illegible]

[illegible]

[illegible]

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B600247	源氏物語 湖月抄 竹河	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 45丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600248	源氏物語 湖月抄 横姫	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 43丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600249	源氏物語 湖月抄 権本	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 44丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600250	源氏物語 湖月抄 総角	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 95丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600251	源氏物語 湖月抄 早藏	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 21丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600252	源氏物語 湖月抄 宿木(寄生)	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 99丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600253	源氏物語 湖月抄 東屋	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 68丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600254	源氏物語 湖月抄 浮舟	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 73丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600255	源氏物語 湖月抄 蜻蛉	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 60丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600256	源氏物語 湖月抄 手習	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 71丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600257	源氏物語 湖月抄 夢浮橋	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 21丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	巻末に延宝元年の跋 書林(村上勘左衛門ほか3名)の記載有 稲田蔵書 朱印 修復(糸替)	R3-05
B600258	源氏物語 湖月抄 表向	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 3丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600259	源氏物語 湖月抄 雲隠説	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 10丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するといふ。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B600260	源氏物語 湖月抄 系図	北村季吟	1			延宝1	1673	和紙袋綴本 刊本 46丁 27.5×20.0	源氏物語の注釈書。六〇巻。北村季吟著。1673年成立。源氏物語の古注の集大成。古注・師説・自説を注記。源氏物語を一般に普及させるのに役立ったといわれる。本文54巻(桐壺～夢浮橋)と発端・系図・表白・雲隠説・年立(2巻)がつく。書名は、著者紫式部が琵琶湖畔の石山寺で湖上の月を見ながら、須磨の巻を書いたという言い伝えに由来するという。(國史)	稲田蔵書 朱印	R3-05
B600301	枕草紙 春曙抄 一	北村季吟	1			延宝2 寛政6購版	1674 1749	和紙袋綴本 刊本 71丁 25.5×19.8	春はあけぼの すぎましきもの 二終	稲田蔵書 朱印	R3-06
B600302	枕草紙 春曙抄 二	北村季吟	1			延宝2 寛政6購版	1674 1749	和紙袋綴本 刊本 62丁 25.5×19.8	木之花は ありがたきもの 四終	稲田蔵書 朱印	R3-06
B600303	枕草紙 春曙抄 三	北村季吟	1			延宝2 寛政6購版	1674 1749	和紙袋綴本 刊本 58丁 25.5×19.8	五終 六終	稲田蔵書 朱印	R3-06
B600304	枕草紙 春曙抄 四	北村季吟	1			延宝2 寛政6購版	1674 1749	和紙袋綴本 刊本 54丁 25.5×19.8	七終 八終	稲田蔵書 朱印	R3-06
B600305	枕草紙 春曙抄 五	北村季吟	1			延宝2 寛政6購版	1674 1749	和紙袋綴本 刊本 51丁 25.5×19.8	十終	稲田蔵書 朱印	R3-06
B600306	枕草紙 春曙抄 六	北村季吟	1			延宝2 寛政6購版	1674 1749	和紙袋綴本 刊本 50丁 25.5×19.8	十一終	稲田蔵書 朱印	R3-06
B600401	増續大廣益會玉篇大全 巻第一	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 24丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 凡例 引用目録 首巻		R3-06
B600402	増續大廣益會玉篇大全 巻第一	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 65丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 一・二畫		R3-06
B600403	増續大廣益會玉篇大全 巻第二	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 48丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 三畫上		R3-06
B600404	増續大廣益會玉篇大全 巻第三	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 46丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 三畫下		R3-06
B600405	増續大廣益會玉篇大全 巻第四上	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 56丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 四畫		R3-06
B600406	増續大廣益會玉篇大全 巻第四下	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 86丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 四畫		R3-06
B600407	増續大廣益會玉篇大全 巻第六上	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 65丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 六畫		R3-06
B600408	増續大廣益會玉篇大全 巻第六下	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 57丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 六畫		R3-06
B600409	増續大廣益會玉篇大全 巻第八 巻第九	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 65丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 八畫 九畫		R3-06
B600410	増續大廣益會玉篇大全 巻第十	毛利貞斎	1			元禄4 天保5再刻	1691 1834	和紙袋綴本 刊本 61丁 22.8×16.4	「玉篇」は中国の字書。部首引きで、漢字をあげ、音と義を注し、用例として多数の文献を引用する。(国史大辞典より抜粋) 十畫至十七畫		R3-06
B600501	漢訳和蘭字典 五車韻府 単		1					和紙 24.5×17.0		手書き 傷み多し	H29-01
B600601	校訂 翁草 第一	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 214ページ 22.3×15.3	名ある人の言葉世のめずらかなるさまなどを古人のふみにつづり置きぬるをせちにひろいものしそれぞれの翁の物がたれるかこ耳に残りしをかきあつめつつ聞くというによりてこれを翁ぐさとよぶ ・序 安永5年 魯堂撰 明和9年 六十三叟 可々主人漫書 ・巻一～巻十		R3-06
B600602	校訂 翁草 第二	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 92ページ 22.3×15.3	巻十一～巻十四		R3-06
B600603	校訂 翁草 第三	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 158ページ 22.3×15.3	巻二十五～巻三十二		R3-06
B600604	校訂 翁草 第四	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 144ページ 22.3×15.3	巻三十三～巻四十		R3-06
B600605	校訂 翁草 第五	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 162ページ 22.3×15.3	・巻四十一～巻四十八		R3-06
B600606	校訂 翁草 第六	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 158ページ 22.3×15.3	・巻五十四～巻六十		R3-06
B600607	校訂 翁草 第七	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 138ページ 22.3×15.3	巻六十一～巻六十六		R3-06
B600608	校訂 翁草 第八	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 164ページ 22.3×15.3	巻六十七～巻七十六		R3-06
B600609	校訂 翁草 第九	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発行	1776 1905	和紙 刊本 146ページ 22.3×15.3	巻七十七～巻九十二		R3-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVD№
B600610	校訂 翁草 第十	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 150ページ 22.3×15.3	巻九十五～巻百二		R3-06
B600611	校訂 翁草 第十一	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 160ページ 22.3×15.3	巻百三～巻百十一		R3-06
B600612	校訂 翁草 第十二	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 166ページ 22.3×15.3	巻百十五～巻百二十一		R3-06
B600613	校訂 翁草 第十四	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 154ページ 22.3×15.3	巻百三十三～巻百四十		R3-06
B600614	校訂 翁草 第十五	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 168ページ 22.3×15.3	巻百四十一～巻百五十		R3-06
B600615	校訂 翁草 第十六	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 166ページ 22.3×15.3	巻百五十一～巻百六十		R3-06
B600616	校訂 翁草 第十七	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 172ページ 22.3×15.3	巻百六十一～巻百七十		R3-06
B600617	校訂 翁草 第二十	神澤貞幹編述 池邊義象校訂	1			安永5 明治38発 行	1776 1905	和紙 刊本 168ページ 22.3×15.3	巻百九十一～巻二百		R3-06
B600701	紅毛人送来日本人記	大塚静	1	明和8	1771	文化11	1814	和紙袋綴本 10丁 25.0×17.2	明和8年長崎に入港したオランダ船が漂流日本人孫太郎を送還してきた。その孫太郎の話しを神沢貞幹が安永5年「翁草」巻5に収めたものを、文化11年に大塚静が写したものの。		R3-06
B600801	斎規	丸子弘篤	1			安永2	1773	和紙袋綴本 9丁 24.0×17.0	朱子学者宇井(丸子)弘篤の著書で、師のもとで教えを受けるにあたって心掛ける項目を18、全11丁(本文9丁)にわたって述べている。 明倫堂「学規」の手本となる	明倫堂 朱印	R3-06
B600802	斎規 (宇井子全書)	丸子弘篤	1			安永2	1773	和紙袋綴本 7丁 25.0×16.3	朱子学者宇井(丸子)弘篤の著書で、師のもとで教えを受けるにあたって心掛ける項目を述べている。 明倫堂「学規」の手本となる	朱印あり 修復済みだが虫食い多し	R3-06
B600901	郷間学規 序	榊原政尧 撰	1			寛政12	1800	和紙袋綴本 9丁 27.3×19.0	・郷間学規 序(漢文) ・傳命記 ・秋月長門守御和歌	上杉弼紙 高鍋町史・明倫堂記録所収「郷間学規 序」 「傳命記」は医者・橋南路の旅行記「西遊記」仁政篇のうち、秋月種茂関係部分を漢文体に改めたもの 参考 米沢市上杉博物館 国宝「上杉家文書」№.1220 「郷間学規」 寛政12年の榊原政尧序(漢文)あり 同館に「傳命記」も国宝として所蔵されている	R3-06
B601001	郷間学規 写	武藤麒一(写)	1			大正14 (写)	1925	和紙袋綴本 33丁 26.5×18.5	・郷間学規 ・郷間学規聖語国字解	武藤麒一 朱印 「明倫堂記録」に所収	R3-06
B601101	佛家奇人談 上	蓬盧青々山人	1			文化13発 行	1816	和紙袋綴本 刊本 38丁 26.8×18.8	・宗祇法師 ・北村季吟 他 上中下あわせて86談	福田蔵書 朱印	R3-06
B601102	佛家奇人談 中	蓬盧青々山人	1			文化13発 行	1816	和紙袋綴本 刊本 35丁 26.8×18.8	・松屋口青 ・山口素堂 他 上中下あわせて86談	福田蔵書 朱印	R3-06
B601103	佛家奇人談 下	蓬盧青々山人	1			文化13発 行	1816	和紙袋綴本 刊本 37丁 26.8×18.8	・中川乙由 ・千代女 他 上中下あわせて86談	福田蔵書 朱印	R3-06
B601201	故実叢書 織文図會 (錦織物)	本間百里 今泉定介 編集発行	1			文化14 明治34発 行	1825 1901	和紙袋綴本 刊本 17丁 24.8×18.2	色刷り図案集	本間百里は陸奥一関藩の人	R3-06
B601202	故実叢書 織文図會 (礼服)	本間百里 今泉定介 編集発行	1			文政1 明治34発 行	1825 1901	和紙袋綴本 刊本 16丁 24.8×18.2	色刷り図案集	本間百里は陸奥一関藩の人	R3-06
B601203	故実叢書 織文図會 (狩衣)	本間百里 今泉定介 編集発行	1			文化14 明治34発 行	1825 1901	和紙袋綴本 刊本 15丁 24.8×18.2		本間百里は陸奥一関藩の人	R3-06
B601204	故実叢書 織文図會 (御幸部後編)	本間百里 今泉定介 編集発行	1			文政8 明治34発 行	1825 1901	和紙袋綴本 刊本 26丁 24.8×18.2		本間百里は陸奥一関藩の人	R3-06
B601205	故実叢書 織紋図會 (後宮之部)	本間百里 今泉定介 編集発行	1			文化14 明治35発 行	1817 1902	和紙袋綴本 刊本 23丁 24.8×18.2		本間百里は陸奥一関藩の人	R3-06
B601301	舞楽図 左	高島千春	1			文政6 明治38発 行	1823 1905	和紙袋綴本 刊本 23丁 25.0×18.5		絵入りの印刷物	R3-06
B601302	舞楽図 右	高島千春	1		1823	文政6 明治38発 行	1823 1905	和紙袋綴本 刊本 23丁 25.0×18.5		能面も含む	R3-06
B601401	日本楽府写 (山陽外史擬製)	頼山陽原著 武藤麒一(写)	1			天保1 昭和20 (写)	1830 1945 (写)	和紙袋綴本 丁 25.0×17.0	「日本楽府」 頼山陽の漢詩集 聖徳太子から豊臣秀吉までの歴史上の人物の挿話を詠じた楽府(古詩の一体)に門弟牧百肇の注を付して板行したもの。(国史大辞典より抜粋)		R3-06
B601501	山陽詩鈔 巻之一～巻之四	頼山陽	1			天保4	1833	和紙袋綴本 刊本 32丁 25.0×17.7	「山陽詩鈔」 寛政5年から文政8年までの自選詩集。巻3、巻4(西遊稿)は、文政1・2年の九州巡歴の際の作。(国史大辞典より抜粋)	福田蔵書 朱印 高木蔵書 朱印	R3-06
B601502	山陽詩鈔 巻之五～巻之八	頼山陽	1			天保4	1833	和紙袋綴本 刊本 24丁 25.0×17.7	「山陽詩鈔」 寛政5年から文政8年までの自選詩集。巻3、巻4(西遊稿)は、文政1・2年の九州巡歴の際の作。(国史大辞典より抜粋)	福田蔵書 朱印 高木蔵書 朱印	R3-06
B601601	豊廬 詠草 巻、式、参之巻	鹿玉人	1			嘉永5 明治33 写?	1852 1900	和紙袋綴本 丁 22.0×15.2	高林豊廬 詠草	野紙	R3-06
B601602	豊廬 詠草 四、五之巻	鹿玉人	1			嘉永5 明治33 写?	1852 1900	和紙袋綴本 丁 22.0×15.2	高林豊廬 詠草	野紙	R3-06
B601701	桃寿園漫筆 巻一	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 100丁 14.0×21.5		高月鈴木文庫 朱印 修復済みだが虫食い多し	R3-06
B601702	桃寿園漫筆 巻二	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 89丁 14.0×21.5			R3-06
B601703	桃寿園漫筆 巻三	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 95丁 14.0×21.5			R3-06
B601704	桃寿園漫筆 巻四	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 77丁 14.0×21.5			R3-06
B601705	桃寿園漫筆 巻五	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 97丁 14.0×21.5			R3-06
B601706	桃寿園漫筆 巻六	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 68丁 14.0×21.5			R3-06
B601707	桃寿園漫筆 巻七	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 65丁 14.0×21.5			R3-06
B601708	桃寿園漫筆 巻八	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 51丁 14.6×21.6		修復済みだが虫食い多し	R3-06
B601709	桃寿園漫筆 巻九	鈴木翔房(百助)	1			嘉永5	1852	和紙袋綴本 35丁 14.6×21.6		修復済みだが虫食い多し	R3-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B602201	此花日記 原本	日高 蔦子	1	慶応3	1867			和紙袋綴本 43丁 24.0×16.0	大阪にある亡夫の墓参の道中日記 ・古香公の字 1丁 ・秋月藤子の前文 1丁 ・那波大年朱書あり 日記部分 9丁 ・詠草 春の部 72首 夏の部 84首 秋の部 105首 冬の部 51首 恋の部 82首 雑の部 64首	参考資料 日向文献資料 高鍋史友会報8・24号 (抄録) 参考資料「夫恋 日向のおんな旅日記」三島敏子 著 一般書架に試読本あり	R3-06
B602301	医門法律 一	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 88丁 16.5×11.7		修復済みだが傷み多し	R3-06
B602302	医門法律 二	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 56丁 16.5×11.7			R3-06
B602303	医門法律 三	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 67丁 16.5×11.0			R3-06
B602304	医門法律 四	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 74丁 16.3×11.7			R3-06
B602305	医門法律 五	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 79丁 16.0×11.5			R3-06
B602306	医門法律 六之一	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 64丁 16.7×11.0			R3-06
B602307	医門法律 六之二	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 47丁 16.5×11.7			R3-06
B602401	寓意草 天	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 70丁 16.3×11.2	医学書？	漢文体	R3-06
B602402	寓意草 地	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 47丁 16.3×11.2	医学書？	漢文体	R3-06
B602501	尚論篇 上巻	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 79丁 16.3×11.5	医学書？	漢文体	R3-06
B602502	尚論篇 後四巻之一	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 47丁 16.3×11.5		漢文体	R3-06
B602503	尚論篇 後四巻之二	西昌喩嘉言	1					和紙袋綴本 刊本 48丁 16.3×11.5		漢文体	R3-06
B602601	関流算法 算書内篇 巻之一	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 32丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書内篇 巻之一 八算 見一 差分	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602602	関流算法 算書内篇 巻之二	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 21丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書内篇 巻之二 差分	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602603	関流算法 算書内篇 巻之三	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 32丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書内篇 巻之三 差分	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602604	関流算法 算書内篇 巻之四	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 26丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書内篇 巻之四 測量 定位 積	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602605	関流算法 算書内篇 巻之五	野村忠美	1			明治1	s	和紙袋綴本 31丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書内篇 巻之五 鉤股弦 封換 接術 截術	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602606	関流算法 算書内篇 巻之六	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 29丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書内篇 巻之六 容元 天元	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602607	関流算法 算書外篇 巻之一	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 16丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。算書外篇 巻之一 差分	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B602608	関流算法 算書外篇 卷之二	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 18丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。 算書外篇 卷之二 差分	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602609	関流算法 算書外篇 卷之三	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 28丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。 算書外篇 卷之三 差分	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602610	関流算法 算書外篇 卷之四	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 25丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。 算書外篇 卷之四 開平方 帯縦開平方 相應開平方 他	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602611	関流算法 算書外篇 卷之五	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 13丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。 算書外篇 卷之五 測量 定位 積	明倫堂蔵書印 朱印 算書外篇 卷之六は欠	R3-06
B602612	関流算法 算書外篇 卷之七	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 30丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。 算書外篇 卷之七 容術 天元	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602613	関流算法 利息	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 27丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602614	関流算法 益納	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 23丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602615	関流算法 互換随毛	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 17丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602616	関流算法 絳老餘算統術	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 31丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602617	関流算法 長合間	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 38丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602618	関流算法 降老餘算単伏口鼠	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 30丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602619	関流算法 天元算題苑 上	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 41丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602620	関流算法 天元算題苑 中	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 25丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602621	関流算法 広益等巻之六解	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 70丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06

[illegible]

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B602638	関流算法 截術 前集・后集	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 54丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602639	関流算法 算梯 卷之一・二	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 29丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602640	関流算法 算梯 卷之三・四・五	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 37丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602641	関流算法 算梯 卷之五	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 23丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602642	関流算法 算梯 卷之六・七・八・九	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 37丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602643	関流算法 天元雜問	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 64丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602644	関流算法 天元分合解義	野村忠美	1			明治1	1868	和紙袋綴本 35丁 24.8×15.5	「関流算法」とは、江戸時代前期に活躍した和算家、関孝和の数学ということ。明倫堂では慶応3年ごろからこの関流算法が用いられている。 高鍋藩の教育に取り入れられたのは、鳥取藩からやってきた数学者、大枝燕斎に高鍋藩の奥村直温、野村忠実が師事したことによる。	明倫堂蔵書印 朱印	R3-06
B602701	仮名古事記 上巻	坂田鐵安	1			明治7発行	1874	和紙袋綴本 刊本 81丁 25.7×18.5		稲田蔵書 朱印	R3-06
B602702	仮名古事記 中巻	坂田鐵安	1			明治7発行	1874	和紙袋綴本 刊本 88丁 25.7×18.5		稲田蔵書 朱印	R3-06
B602703	仮名古事記 下巻	坂田鐵安	1			明治7発行	1874	和紙袋綴本 刊本 57丁 25.7×18.5		稲田蔵書 朱印	R3-06
B602801	祝詞考 天	加茂真測	1			明治16	1883	和紙袋綴本 刊本 54丁 26.5×19.0		稲田蔵書 朱印	R3-06
B602802	祝詞考 地	加茂真測	1			明治16	1883	和紙袋綴本 刊本 62丁 26.5×19.0			R3-06
B602803	祝詞考 人	加茂真測	1			明治16	1883	和紙袋綴本 刊本 35丁 26.5×19.0			R3-06
B602901	臣下庵詠草 一	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	春歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B602902	臣下庵詠草 二	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	夏・秋歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B602903	臣下庵詠草 三	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	冬・戀歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B602904	臣下庵詠草 四	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	雑歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B602905	臣下庵詠草 五	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	雑歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B602906	臣下庵詠草 六	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	雑歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B602907	臣下庵詠草 七	高林方朗(臣下庵)	1			明治21	1888	和紙袋綴本 丁 22.2×15.8	長歌	高林方朗(タカバヤシミチアキラ)は明和6年(1769)生まれ弘化3年(1846)没	R3-06
B603001	芭蕉四季分類 全	原田蕉葉	1			明治25発行	1892	和紙袋綴本 刊本 37丁 15.7×11.5	・芭蕉四季分類 ・東海道句集 ・歌仙之部	朱印あり	R3-06
B603101	今人附合集付録	東都采木園 校輯	1					和紙袋綴本 刊本 84丁 12.2×18.3	俳句集	修復済みだが傷み多し	R3-06
B603201	句集		1					和紙袋綴本 37丁 24.5×16.5			R3-06
B603301	類題俳諧歌集		1					和紙袋綴本 刊本 60丁 18.0×12.5	参照 明倫・3699、3700	修復済みだが傷み多し	R3-06
B603401	漢詩	城敷	1					和紙袋綴本 21丁 23.0×15.8		野紙	R3-06
B603501	連歌		1					和紙袋綴本 19丁 17.0×22.0		高月鈴木家蔵	R3-06
B603601	冠辞例		1	享和2	1802			和紙袋綴本 37丁 18.0×12.7	アイウエオ順	高鍋成氏 朱印	R3-06
B603701	武芸書	大塚静	1			寛政		和紙袋綴本 70丁 24.7×17.5	・巻八 手組伝 ・巻十一 陳取伝 ・巻十二 城取伝 ・巻十九 地戦伝	大塚 朱印 傷み多し	R3-06
B603801	小笠原流弓礼秘伝 一	小笠原長時	1	応永24	1417			和紙袋綴本 79丁 24.5×16.0			R3-06
B603802	小笠原流弓礼秘伝 二	小笠原長時	1	応永24	1417			和紙袋綴本 74丁 24.5×16.0			R3-06
B603803	小笠原流弓礼秘伝 三	小笠原長時	1	応永24	1417			和紙袋綴本 72丁 24.5×16.0			R3-06
B603901	弓之巻	関 群馬	1			寛政10	1798	和紙袋綴本 32丁 26.8×20.0		稲田蔵書 朱印	R3-06
B604001	武教全書 乾	山鹿高楠	1			弘化4	1847	和紙袋綴刊本 53丁 12.5×18.3		宮崎縣宮崎上別府若山蔵穴 朱印	R3-06
B604101	読書餘適 上 下	安井息軒	1					和紙袋綴本 102丁 23.5×16.2			R3-06
B604201	弁妄 写	安井息軒 武藤麒一(写)	1			昭和17(写)		和紙袋綴本 25丁 24.5×17.0			R3-06
B604301	明倫堂記録		1	文化5～文化6	1808～1809			和紙袋綴本 14丁 23.4×16.0	日記の一部(15枚)	赤い和紙	R3-06
B604501	宮崎学校開校儀式并祝詞	鈴木馬左也	1	明治9	1876			和紙 刊本 35丁	添貼(和紙 印刷本 23ページ) 明治21年の旧宮崎学校創設より閉鎖に至るまでの概況	田村 印	R3-06
B605101	宮崎県教則	川崎良哉 編集	1			明治25発行	1892	和紙 刊本 96ページ 18.0×12.7		日州教育會	R3-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B605201	実語教并童子教	不詳	1			寛政7(写)	1795	和紙袋綴本 23丁 24.5×16.3	「実語教」 平安時代後期より明治初年まで広く使われた道徳教科書。作者は不明。 近世になると単独または「童子教」と合綴して盛んに上梓され、寺小屋または家庭教育用の手本としておびただしく流布した。(国史大辞典より抜粋) 「童子教」 鎌倉時代より明治初年まで広く使われた道徳教科書。作者は不明。(国史大辞典より抜粋)	漢文体	R3-06
B605501	皇国史要 上巻(文部省検定済)	勝浦鞆雄 編者	1			明治28発行	1895	和紙袋綴本 刊本 87丁 23.1×15.7		発行者 吉川半七 泥谷朱印	R3-06
B605502	皇国史要 下巻(文書省検定済)	勝浦鞆雄 編者	1			明治28発行	1895	和紙袋綴本 刊本 121丁 23.1×15.7		発行者 吉川半七	R3-06
B605701	古香公文稿	秋月種樹	1	主に明治時代				和紙(いろいろな大きさ、 形態の和紙の混合)	50編 ページ飛び 赤の数字59から66に続く		R3-06
B605801	詩史 古香編	秋月種樹	1			明治32発行	1899	和紙袋綴本 刊本 20丁 23.5×14.0	漢詩集	一般書架にもあり 漢文の印刷本	R3-06
B606101	古香公詩鈔	田村化三郎編	1			大正2発行	1913	洋紙 刊本 50ページ 22.0×14.9		自口堂印 朱印	R3-06
B606201	熬案通生概記	坂田勝次(熬案)	1			昭和16	1941	和紙袋綴本 31丁 23.5×16.1	清水小学校(老瀬小学校)の記録もあり	罫紙	R3-06
B606202	熬案診吟詠集	坂田勝次(熬案)	1	大正11～昭和23	1936～1948	昭和23	1948	和紙袋綴本 56丁 23.3×16.2	余清水小学校ヲ去リ宮崎県ニ赴任ノ際有作清水小学校(老瀬小学校)		R3-06
B606501	墨水唱和詩券		1					和紙袋綴本 13丁 23.2×16.3		黒水家蔵書 罫紙	R3-06
B700101	植土立百ヶ条	上田俊造	1			安政5	1858	和紙袋綴本 65丁 23.2×16.0		上田俊造 (豊前国宇佐郡上田村在)	R3-06
B700201	鞆園法・佐倉炭焼法・蚕桑育法	黒水長健(写)	1	元治1～慶応1	1864～1865	慶応2(写)	1866	和紙 8丁 25.3×17.6	・鞆園方 ・蚕育方 ・蠶桑見聞書 ・佐倉炭焼方		R3-06
B700301	養蚕集説	小松源四郎	1			明治7	1874	和紙袋綴本 刊本 39丁 21.5×14.5			R3-06
B700401	商社往来	加藤祐一	1	明治6	1873			和紙袋綴本 34丁 24.0×17.2		静観萬蔵 朱印	R3-06
B700501	製糖に関する書類綴	黒水長健	1	明治26前後	1893			和紙	高鍋製糖會社設立日記 他	用紙種類ばらばらで途中で途切れている	R3-06
B700601	新築日記(日向肥料株式会社)	黒水長健	1	明治32	1899			和紙袋綴本 44丁 23.5×16.7			R3-06
B700701	高鍋保存社利子配当記録簿	黒水長健	1	明治16～大正2	1883～1913			和紙袋綴本 18丁 17.5×12.0		罫紙	R3-06
B700801	輸出米取扱方	黒水長健	1	明治21～明治24	1888～1891			和紙 サイズは不揃い	・黒水長健宛の文書 ・富山県下輸出米取扱組合同規約	富山県の罫紙を含む	R3-06
B700901	日州勸業會報告	日州勸業會	1			明治28	1895	和紙 刊本 124ページ 23.5×16.5			R3-06
B800101	黒水長健日記 一	黒水長健	1	弘化1～弘化4	1844～1847			和紙袋綴本 27丁 24.9×17.1		静観萬蔵の事紙 永井哲雄氏判読	R3-06
B800102	黒水長健日記 二	黒水長健	1	弘化5～嘉永6	1848～1853			和紙袋綴本 106丁 25.3×16.6			R3-06
B800103	黒水長健日記 三(東行日記)	黒水長健	1	嘉永7～安政4	1854～1857			和紙袋綴本 45丁 25.3×16.6			R3-06
B800104	黒水長健日記 四・五	黒水長健	1	安政5～文久3	1858～1863			和紙袋綴本 102丁 12.2×16.3	戊午東行日誌	上部切れ字あり	R3-06
B800105	黒水長健日記 六	黒水長健	1	元治1～慶応4	1864～1868			和紙袋綴本 52丁 18.2×24.5			R3-06
B800106	黒水長健日記 十	黒水長健	1	明治24～明治29	1891～1896			和紙袋綴本 194丁 12.5×17.0			R3-06
B800107	黒水長健日記	黒水長健	1	明治45～大正2	1912～1913			和紙 24.0×17.0			R3-06
B800201	紫川一代画史 巻之一之一	山名勝重(紫川)	1	明治9～明治29	1876～1896	大正10	1921	和紙袋綴本 143丁 23.4×16.8	紫川の序(大正9年) 付箋「山名翁(元小丸にて山名眼科病院を經營されていた山名勝重先生)終日記(山名未亡人御出品)全て山名氏の繪筆になるもので、氏の開業以来逝去までの日記が十數冊繪を添えて刻名に記しており、今まで門外不出とされていたもの	コピーあり	29-01
B800202	紫川一代画史 巻之一之二	山名勝重(紫川)	1	明治29～大正10	1896～1921	大正11	1922	和紙袋綴本 195丁 22.9×16.2	絵に加えて借用金延期証書あり	コピーあり 修復製本に不備あり	29-01
B800203	紫川一代画史 巻之二	山名勝重(紫川)	1	大正10～昭和3	1921～1928	昭和3	1928	和紙袋綴本 169丁 23.5×16.5		コピーあり	29-01
B800204	紫川一代画史 巻之三	山名勝重(紫川)	1	昭和4～昭和13	1929～1938	昭和13	1938	和紙袋綴本 217丁 23.5×16.5		コピーあり	29-01
B800205	紫川一代画史 巻之四	山名勝重(紫川)	1	昭和14～昭和15	1939～1940			和紙袋綴本 119丁 23.5×16.5		コピーあり 色付きの絵もあり	29-01
B800206	紫川一代画史 巻之五	山名勝重(紫川)	1	昭和16～昭和19	1941～1944			和紙袋綴本 169丁 24.1×16.3		コピーあり 修復なし(2000年11月現在)	29-01
B800207	紫川一代画史 巻之六	山名勝重(紫川)	1	昭和19～昭和22	1944～1947			和紙袋綴本 199丁 23.5×16.5	昭和22年の国勢調査の記録あり 高鍋城図(想像)あり	コピーあり	29-01
B800208	紫川一代画史 巻之七	山名勝重(紫川)	1	昭和23～昭和26	1948～1951			和紙袋綴本 153丁 24.2×16.4		コピーあり	29-01
B800209	紫川一代画史 巻之八	山名勝重(紫川)	1	昭和27～昭和29	1952～1954			和紙袋綴本 163丁 24.8×16.9		コピーあり 昭和29年10月16・17日 古香公遺墨遺品展 出品目録とじこみ (高鍋町教育委員会)洋紙6枚とじこみ	29-01
B800210	紫川一代画史 巻之九	山名勝重(紫川)	1	昭和30～昭和32	1955～1957			和紙袋綴本 123丁 25.0×17.5		コピーあり	29-01
B800402	武藤麒一日記	武藤麒一	1	明治43 10/1～12/31	1910			和紙袋綴本 23.7×16.2	明治43年9月石井十次氏より日記を認めるよう勧められて	表紙替	R6-01
B800403	武藤麒一日記	武藤麒一	1	明治44	1911			和紙袋綴本 24.0×16.2			R6-01
B800404	武藤麒一日記	武藤麒一	1	明治45・大正1	1912			和紙袋綴本 24.0×16.5			R6-01
B800405	武藤麒一日記	武藤麒一	1	大正2	1913			和紙袋綴本 24.0×16.0			R6-01
B800406	武藤麒一日記	武藤麒一	1	大正4	1915			和紙袋綴本 23.5×16.3			R6-01
B800407	武藤麒一日記	武藤麒一	1	大正6	1917			和紙袋綴本 24.0×16.7		表紙替	R6-01
B800408	武藤麒一日記	武藤麒一	1	大正7	1918			和紙袋綴本 24.0×16.6			R6-01
B800409	武藤麒一日記	武藤麒一	1	大正8・9	1919・1920			和紙に洋紙の表紙			R6-01
B800410	武藤麒一日記	武藤麒一	1	大正10～大正13	1921～1924			和紙袋綴本 24.5×17.0			R6-01
B800412	武藤麒一日記	武藤麒一	1	昭和9	1934			和紙袋綴本 24.0×16.5		表紙替	R6-01
B800413	武藤麒一日記	武藤麒一	1	昭和10	1935			和紙の裏紙に厚紙の表紙 229丁			R6-01
B800414	武藤麒一日記	武藤麒一	1	昭和11	1936			和紙の裏紙に厚紙の表紙 269丁			R6-01
B800415	武藤麒一日記	武藤麒一	1	昭和12	1937			和紙の裏紙に厚紙の表紙 302丁			R6-01
B800416	武藤麒一日記	武藤麒一	1	昭和13	1938			和紙裏紙 250丁 24.0×16.5		表紙替	R6-01
B800417	武藤麒一日記	武藤麒一	1	昭和14	1939			和紙の裏紙途中から洋紙原稿用紙 24.0×16.5		表紙替	R6-01
B900201	祭政一致皇道復興之勸対	秋月長門守名代 手塚邦之丞	1					和紙袋綴本 7丁 28.5×20.6			R3-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
B900301	要門伝來聞書		1					和紙袋綴本 18丁 24.0×16.0		修復済みだが傷み多し	R3-06
B900401	海国兵談抜書	林 子平	1					和紙袋綴本 23丁 25.0×16.2		高月鈴木文庫之印 朱印	R3-06
B900501	出陣之聞書		1					和紙袋綴本 12丁 27.2×19.0		高月鈴木文庫 朱印 白虎門御回芳蔵庫 朱印	R3-06
B900901	南洲手抄書志録 全	秋月種樹	1			明治21発行	1888	和紙袋綴本 刊本 31丁 22.5×15.2		漢文体	R3-06
B901001	南狩録 上	味池修居 著 岡次郎 発行	1			享保19 昭和6発行 昭和9再版	1734 1931 1934	和紙袋綴本 刊本 51丁 23.3×13.8			R3-06
B901002	南狩録 下	味池修居 著 岡次郎 発行	1			享保19 昭和6発行 昭和9再版	1734 1931 1934	和紙袋綴本 刊本 41丁 23.3×13.8			R3-06
B901101	竹窓学習余藁小引 第一集		1			明治33	1900	和紙袋綴本 54丁 24.0×17.0		日向高鍋城氏図籍 朱印 城氏蔵版 霽紙	R3-06
B901102	竹窓学習余藁小引 第五集 他		1			明治33	1900	和紙袋綴本 40丁 25.0×18.0	・竹窓学習余藁小引 第五集 ・大坪一無頼族覚書	城氏蔵版 霽紙	R3-06
B901201	竹窓日割 第1集		1					和紙袋綴本 38丁 19.8×13.5	・國統考 近藤芳樹 ・東大寺古證文写 他	高鍋城氏 朱印	R3-06
B901301	姥南遺稿(写)		1			明治29(写)	1896	和紙袋綴本 22丁 24.2×17.0	姥南は綾部殿の号 1786生、1837没	日向高鍋城氏図籍 朱印 城氏蔵版霽紙	R3-06
B901401	静観萬難纂	黒水長健	1	明治5・明治6	1872・1873			和紙の寄せ集め	農業関係、接木、養蚕など	静観萬蔵霽紙、大分縣霽紙	R3-06
B901501	文稿	鈴木衡房	1	慶応3	1867			和紙袋綴本 9丁 24.0×16.0		和紙の表裏に書いてあって字がごちゃごちゃしている 消してあるところも多い	R3-06
B901601	伊東没落記 写	内野重厚(写)	1					和紙袋綴本 9丁 24.8×16.5		吉田伝之助が切原あたりの農家より借りてきたものの写し	R3-06
B901701	上右大臣三条公書	坂田 秀	1					和紙袋綴本 6丁 22.0×15.8		霽紙 漢文体	R3-06
B901801	安德帝潜幸経房私並摂洲能勢郡若宮八幡宮記事	武藤麒一(写)	1			昭和16	1941	和紙袋綴本 24丁 24.4×17.0		武藤家文書 霽紙	R3-06
B901901	雑書綴		1	明治30	1897			和紙袋綴本 25.0×17.5	黒水亀様宛の文書多し		R3-06
B902001	高鍋郷党協会結社届書控	岩村真鉄	1	昭和13	1938			和紙袋綴本 3丁 24.3×16.7	高鍋警察署宛文書	武藤家文書	R3-06
B902201	志斐賀他理 上	平玄道敬	1			明治2	1869	和紙袋綴本 刊本 34丁 26.0×18.2		稲田蔵書 朱印	R3-06
B902202	志斐賀他理 下	平玄道敬	1			明治2	1869	和紙袋綴本 刊本 26丁 26.0×18.2			R3-06
B902301	詰届け書類	黒水長健 横尾斐 他	1	明治16頃	1883			和紙		用紙種類サイズともにばらばらで、いろいろな人が書いた書類を綴ってある	R3-06
B902401	高鍋基督教伝導史	高鍋教會	1	明治11～明治34	1878～1901	昭和26(写)	1951	和紙袋綴本 30丁 24.5×16.0	伝道の発端より教会設立前後までの記録		R3-06
B902501	日華寺阿呆陀羅經 一、二	尾鈴山人 鑑	1			昭和6・昭和7	1931 1932	和紙袋綴本 8丁 25.2×17.3		武藤家文書	R3-06
B902701	無極而太極	秋月種茂	1					和紙袋綴本 37丁 22.5×15.0		高月鈴木文庫 朱印	R3-06
B902801	野稿一什	小寺秀伸	1	明治3	1870			和紙袋綴本 14丁 25.0×16.0			R3-06
B903001	国事犯名簿	武藤	1					和紙折紙 21丁 12.0×17.2			R3-06
B903101	歩兵科測図教程 全		1					和紙袋綴本 刊本 22丁 ＋折込図 18.0×12.5			R3-06
B903201	島津戦法秘鑑	岩村真鉄(写)	1			昭和10(写)	1935	和紙袋綴本 14丁 23.8×16.8			R3-06
B903401	西南戦争紀聞 下	中村 毎 赤志忠七 編集	1			明治10発行	1877	和紙袋綴本 刊本 20丁 17.5×11.8	第4 鹿兒島県近況の話 第5 有栖川親王博多御着并征討大総督口被任の話 第6 官軍暴徒と戦争の話 第7 暴徒雪中歩槍の話	中村 毎(大分県士族) 赤志忠七(大分県平民) 絵入り	R3-06
C900101	大塚家蔵書籍目録		1	寛政3改 文政13再改	1791 1830			和紙袋綴本 37丁 24.0×15.0			H29-01
C900201	蔵書目録		1					和紙袋綴本 32丁 24.0×16.5	明倫堂関係		H29-01
C900301	書籍目録 扣		1					和紙袋綴本 28丁 24.0×16.5		霽紙	H29-01
C900401	図書目録(明倫堂関係)	高鍋図書館	1					洋紙 235ページ 25.0×18.0		手書き	H29-01
C900701	書籍目録 一	高鍋学校	1		0	明治31年7月	1898	和紙袋綴写本 23.8×15.8	明治31年調査 明倫堂文庫目録(高鍋学校所蔵時) ・経之部 ・史之部 ・和之部 ・業之部	表紙裏に鉛筆書きで、「三冊共 一三■八部 一〇一二四冊」	H29-01
C900702	書籍目録 二	高鍋学校	1		0	明治31年7月	1898	和紙袋綴写本 23.8×15.8	明治31年調査 明倫堂文庫目録(高鍋学校所蔵時) ・兵之部 ・医之部 ・法律経済之部 ・教育書之部		H29-01
C900703	書籍目録 三	高鍋学校	1		0	明治31年7月	1898	和紙袋綴写本 23.8×15.8	明治31年調査 明倫堂文庫目録(高鍋学校所蔵時) ・地理之部 ・字書之部 ・図画之部 ・博物理化之部		H29-01
秋月須磨子・067	本藩實録一(秋月須磨子本)通計七冊	大塚静氏編纂	1	～天正13	～1585	寛政9	1797	和紙袋綴本 67丁 24×16.1	秋月家の始祖から種実の代までの藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印 自天慶三年至宝暦十年	R4-03
秋月須磨子・068	本藩實録二(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	天正13～慶長19	1585～1614	寛政9	1797	和紙袋綴本 54丁 24.2×16.1	初代種長の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・069	本藩實録三(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	慶長19～万治2	1614～1659	寛政9	1797	和紙袋綴本 20丁 24.2×16.1	二代種春の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・070	本藩實録四(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	万治3～元禄2	1660～1689	寛政9	1797	和紙袋綴本 42丁 24.2×16.2	三代種信の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・071	本藩實録五之上(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	元禄3～元禄12	1690～1699	寛政9	1797	和紙袋綴本 69丁 24.2×16.2	四代種政の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印 改年の見出し折り目に黒線付す所あり	R4-03
秋月須磨子・072	本藩實録五之下(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	元禄13～宝永7	1670～1710	寛政9	1797	和紙袋綴本 58丁 24.2×16.2	四代種政の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印 改年の見出し折り目に黒線付す所あり	R4-03
秋月須磨子・073	本藩實録六(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	正徳1～享保19	1711～1734	寛政9	1797	和紙袋綴本 75丁 24.2×16.2	五代種弘の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印 改年の見出し折り目に黒線付す所あり	R4-03
秋月須磨子・074	本藩實録七(秋月須磨子本)	大塚静氏編纂	1	享保20～宝暦10	1735～1760	寛政9	1797	和紙袋綴本 76丁 24.2×16.2	六代種美の代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印 改年の見出し折り目に黒線付す所あり	R4-03
秋月須磨子・075	續本藩實録一(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	宝暦11～明和2	1761～1765	慶応1	1865	和紙袋綴本 70丁 25.2×16.5	本藩実録『拾遺本藩実録』の後を受けた宝暦11年から安政元年までの藩政の主要事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・076	續本藩實録二(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	明和3～明和7	1766～1770	慶応1	1865	和紙袋綴本 61丁 25.2×16.5	七代種茂代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印 改年の黒線見出しあり	R4-03
秋月須磨子・077	續本藩實録三(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	明和8～安永4	1771～1775	慶応1	1865	和紙袋綴本 76丁 25.2×16.5	七代種茂代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・078	續本藩實録四(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	安永5～安永9	1776～1780	慶応1	1865	和紙袋綴本 75丁 25.2×16.5	七代種茂代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・079	續本藩實録五(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	天明1～天明5	1781～1785	慶応1	1865	和紙袋綴本 77丁 25.2×16.5	七代種茂代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・080	續本藩實録六(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	天明6～天明8	1786～1788	慶応1	1865	和紙袋綴本 55丁 25.2×16.5	七代種茂・八代種徳代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・081	續本藩實録七(秋月須磨子本)	横尾敬編	1	寛政1～寛政4	1789～1792	慶応1	1865	和紙袋綴本 73丁 25.2×16.5	八代種徳代の藩政事項	東京京橋区築地貳丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
秋月須磨子・082	續本藩實録八(秋月須磨子本)	横尾敬編		寛政5～寛政9	1793～1797	慶応1	1865	和紙袋綴本 62丁 25.2×16.5	八代徳徳代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・083	續本藩實録九(秋月須磨子本)	横尾敬編		寛政10～享和2	1798～1802	慶応1	1865	和紙袋綴本 65丁 25.2×16.5	八代徳徳代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・084	續本藩實録十(秋月須磨子本)	横尾敬編		享和3～文化4	1803～1807	慶応1	1865	和紙袋綴本 58丁 25.2×16.5	八代徳徳代の藩政事項	改年の黒線折り目にあり東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・085	續本藩實録十一(秋月須磨子本)	横尾敬編		文化5～文化8	1808～1811	慶応1	1865	和紙袋綴本 60丁 25.2×16.5	九代種任代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・086	續本藩實録十二(秋月須磨子本)	横尾敬編		文化9～文化12	1812～1815	慶応1	1865	和紙袋綴本 52丁 25.2×16.5	九代種任代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・087	續本藩實録十三(秋月須磨子本)	横尾敬編		文化13～文政2	1816～1819	慶応1	1865	和紙袋綴本 63丁 25.2×16.5	九代種任代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・088	續本藩實録十四(秋月須磨子本)	横尾敬編		文政3～文政6	1820～1823	慶応1	1865	和紙袋綴本 68丁 25.2×16.5	九代種任代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・089	續本藩實録十五(秋月須磨子本)	横尾敬編		文政7～文政10	1824～1827	慶応1	1865	和紙袋綴本 63丁 25.2×16.5	九代種任代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・090	續本藩實録十六(秋月須磨子本)	横尾敬編		文政11～天保2	1828～1831	慶応1	1865	和紙袋綴本 62丁 25.2×16.5	九代種任代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・091	續本藩實録十七(秋月須磨子本)	横尾敬編		天保3～天保6	1832～1835	慶応1	1865	和紙袋綴本 71丁 25.2×16.5	九代種任・十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・092	續本藩實録十八(秋月須磨子本)	横尾敬編		天保7～天保10	1836～1839	慶応1	1865	和紙袋綴本 71丁 25.2×16.5	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・093	續本藩實録十九(秋月須磨子本)	横尾敬編		天保11～天保14	1840～1843	慶応1	1865	和紙袋綴本 88丁 25.2×16.5	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印中扉に	R4-03
秋月須磨子・094	續本藩實録二十(秋月須磨子本)	横尾敬編		弘化1～弘化4	1844～1847	慶応1	1865	和紙袋綴本 75丁 25.2×16.5	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・095	續本藩實録二十一(秋月須磨子本)	横尾敬編		嘉永1～嘉永4	1848～1851	慶応1	1865	和紙袋綴本 72丁 25.2×16.5	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・096	續本藩実録二十二(秋月須磨子本)	横尾敬編		嘉永5～安政2	1852～1855	慶応1	1865	和紙袋綴本 53丁 25.2×16.5	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・097	續々本藩實録一(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	安政2	1855	明治5	1872	和紙袋綴本 71丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・098	續々本藩實録二(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	安政4	1857	明治5	1872	和紙袋綴本 51丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・099	續々本藩實録三(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	安政5	1858	明治5	1872	和紙袋綴本 64丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・100	續々本藩實録四(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	安政6	1859	明治5	1872	和紙袋綴本 71丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・101	續々本藩實録五(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	万延1	1860	明治5	1872	和紙袋綴本 27丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・102	續々本藩實録六(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	万延2	1861	明治5	1872	和紙袋綴本 44丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・103	續々本藩實録七(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	文久2	1862	明治5	1872	和紙袋綴本 58丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・104	續々本藩實録八(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	文久3	1863	明治5	1872	和紙袋綴本 40丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印題箋に焦損二付副本ヲ添付 副本添裏ニ堤長発と書した紙片 全体黒焦げ	R4-03
秋月須磨子・105	續々本藩實録八(秋月須磨子本) 写	小寺秀信編	1	文久3	1863	明治5	1872	和紙袋綴本 41丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印十月廿三日写了全廿五日校合済紙三十九枚	R4-03
秋月須磨子・106	續々本藩實録九(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	元治1	1864	明治5	1872	和紙袋綴本 41丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・107	續々本藩實録十(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	元治2	1865	明治5	1872	和紙袋綴本 34丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・108	續々本藩實録十一(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	慶応2	1866	明治5	1872	和紙袋綴本 41丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・109	續々本藩實録十二(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	慶応3	1867	明治5	1872	和紙袋綴本 60丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印「九月十二日探訪部ヨリ受取ル」付箋	R4-03
秋月須磨子・110	續々本藩實録十三(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	明治1	1868	明治5	1872	和紙袋綴本 54丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・111	續々本藩実録十四(秋月須磨子本)	小寺秀信編	1	明治1	1868	明治5	1872	和紙袋綴本 58丁 24.2×15.8	十代種股代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・112	拾遺本藩実録一(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		貞享1～元禄3	1684～1690	慶応3	1867	和紙袋綴本 81丁 24.3×16.3	本藩実録の遺漏を補う目的で藩命により横尾敬が編纂。全11巻。種信・種政代	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・113	拾遺本藩実録二(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		元禄4～元禄7	1691～1694	慶応3	1867	和紙袋綴本 88丁 24.3×16.3	四代種政代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・114	拾遺本藩実録三(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		元禄8～元禄13	1695～1700	慶応3	1867	和紙袋綴本 79丁 24.3×16.3	四代種政代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・115	拾遺本藩実録四(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		元禄14～宝永2	1701～1705	慶応3	1867	和紙袋綴本 84丁 24.3×16.3	四代種政代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・116	拾遺本藩実録五(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		宝永3～正徳2	1706～1712	慶応3	1867	和紙袋綴本 77丁 24.3×16.3	四代種政・五代種弘代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・117	拾遺本藩実録六(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		正徳3～享保4	1713～1719	慶応3	1867	和紙袋綴本 81丁 24.3×16.3	五代種弘代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・118	拾遺本藩実録七(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		享保5～享保13	1720～1728	慶応3	1867	和紙袋綴本 80丁 24.3×16.3	五代種弘代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・119	拾遺本藩実録八(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		享保14～享保20	1729～1735	慶応3	1867	和紙袋綴本 54丁 24.3×16.3	五代種弘・六代種美代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・120	拾遺本藩実録九(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		元文1～寛政3	1736～1743	慶応3	1867	和紙袋綴本 50丁 24.3×16.3	六代種美代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・121	拾遺本藩実録十(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		延享1～宝暦2	1744～1752	慶応3	1867	和紙袋綴本 55丁 24.3×16.3	六代種美代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・122	拾遺本藩実録十一(秋月須磨子本)	横尾敬編纂		宝暦3～宝暦10	1753～1760	慶応3	1867	和紙袋綴本 57丁 24.3×16.3	六代種美代の藩政事項	東京京橋区築地武丁目三十七番地秋月種樹朱印	R4-03
秋月須磨子・123	旧記抜書 巻	中村權左衛門		宝暦14～天明4	1764～1784	安政5	1858	和紙袋綴本 159丁 24.5×16.0	「弘化2年正月江戸御殿が火事に、用人所の日記の多くが焼失してしまったので、中村權左衛門記録のものを(中村)格之介より借り受け写し置いた」と前文にある。	藩紙(赤い和紙) 秋月家蔵書印 朱印 県立図書館にコピー本あり	R4-03
秋月須磨子・124	旧記抜書 式	中村權左衛門		天明5～享和4	1785～1804	安政5	1858	和紙袋綴本 130丁 24.5×16.0	「弘化2年正月江戸御殿が火事に、用人所の日記の多くが焼失してしまったので、中村權左衛門記録のものを(中村)格之介より借り受け写し置いた」と前文にある。	藩紙(赤い和紙) 秋月家蔵書印 朱印 県立図書館にコピー本あり	R4-03
秋月須磨子・125	旧記抜書 三	中村權左衛門		文化1～文政13年	1804～1830	安政5	1858	和紙袋綴本 145丁 24.5×16.0	「弘化2年正月江戸御殿が火事に、用人所の日記の多くが焼失してしまったので、中村權左衛門記録のものを(中村)格之介より借り受け写し置いた」と前文にある。	藩紙(赤い和紙) 秋月家蔵書印 朱印 県立図書館にコピー本あり	R4-03
秋月須磨子・126	旧記抜書 四	中村權左衛門		天保1～弘化3	1830～1846	安政5	1858	和紙袋綴本 91丁 24.5×16.0	「弘化2年正月江戸御殿が火事に、用人所の日記の多くが焼失してしまったので、中村權左衛門記録のものを(中村)格之介より借り受け写し置いた」と前文にある。	藩紙(赤い和紙) 秋月家蔵書印 朱印 県立図書館にコピー本あり	R4-03
秋月須磨子・127	旧記抜書 写	中村權左衛門 黒水長健(写)		天保1～弘化3	1830～1846	安政5 大正2(写)	1858 1913	和紙袋綴本 102丁 24.5×16.0		秋月小牧蔵書印 朱印 長健 朱印 表紙表裏に秋月小牧の黒印あり 傷み多し	R4-03
秋月須磨子・128	本藩秘典 (信)	藩庁	1			文化年間以降		和紙袋綴本 116丁 22.7×15.3	高鍋藩の治世上の法令である「目安」「條目」「定」を記したもの。大部分を占める「目安」は、役人を対象とした各役職の職務内容に関する規定である。これらは長期にわたる各役人の「存寄」などを取り入れながら明文化されたものである。	宮崎県史料編近世4 抄録「御台所目安」「大阪留守居・蔵役目安」 県立図書館にコピー本あり 秋月小牧蔵書印・あき月小まき朱印	R4-03
秋月須磨子・129	本藩秘典 (義)	藩庁	1			文化年間以降		和紙袋綴本 109丁 22.7×15.3	高鍋藩の治世上の法令である「目安」「條目」「定」を記したもの。大部分を占める「目安」は、役人を対象とした各役職の職務内容に関する規定である。これらは長期にわたる各役人の「存寄」などを取り入れながら明文化されたものである。	宮崎県史料編近世4 抄録「新納代目安」「紋口代官目安」「町奉行目安」 県立図書館にコピー本あり 秋月小牧蔵書印・あき月小まき朱印 日向国児湯郡高鍋村小丸春花軒 秋月刻	R4-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
秋月須磨子・130	本藩秘典(智)	藩庁	1			文化年間以降		和紙袋綴本 116丁 22.7×15.3	高鍋藩の治世上の法令である「目安」「條目」「定」を記したものの。大部分を占める「目安」は、役人を対象とした各役職の職務内容に関する規定である。これらは長期にわたる各役人の「存寄」などを取り入れながら明文化されたものである。	宮崎県史史料編近世4 抄録「萩原蔵方目安」「椿方・榎木方目安」「蚊口津口番衆目」「蚊口浦津口改運上目安」 県立図書館にコピー一本あり	R4-03
秋月須磨子・131	本藩秘典(礼)	藩庁	1			文化年間以降		和紙袋綴本 118丁 22.7×15.3	高鍋藩の治世上の法令である「目安」「條目」「定」を記したものの。大部分を占める「目安」は、役人を対象とした各役職の職務内容に関する規定である。これらは長期にわたる各役人の「存寄」などを取り入れながら明文化されたものである。	宮崎県史史料編近世4 抄録「美々津藩代・代官目安」「美々津蔵方目安」「諸縣代官目安」「反銀方目安」 県立図書館にコピー一本あり 秋月小牧蔵書印・あき月小まき朱印	R4-03
秋月須磨子・132	高鍋藩史一斑 自巻一至巻三	城勇雄	1		0	明治29		和紙袋綴 87丁 25×18		漢文 表紙「城勇雄先生編高鍋藩一斑第巻一巻三」城氏蔵版の部紙、朱読点	R4-03
秋月須磨子・133	高鍋藩史一斑 自巻四至巻五	城勇雄	1		0	明治29		和紙袋綴 86丁 25×18		漢文表紙「城勇雄先生編高鍋藩一斑第巻四巻五」城氏蔵版の部紙、正保四年まで朱読点付	R4-03
秋月須磨子・134	高鍋藩史一斑 巻六	城勇雄	1		0	明治29		和紙袋綴 79丁 24.7×16.5		漢文 表紙「城勇雄先生編高鍋藩一斑第巻ノ六」	R4-03
秋月須磨子・135	高鍋藩史一斑 巻六巻末二続ク	城勇雄	1		0	明治29		和紙袋綴 24丁 24.7×17		漢文表紙「城勇雄先生編高鍋藩史一斑原稿巻六巻末二続ク」	R4-03
秋月須磨子・136	高鍋藩山帳		4	文政5～	1822～			和紙袋綴写本 25.2×16.7 分冊	高鍋藩の山詣証文 表紙「文政五年 高鍋藩山帳 午正月ヨリ 山奉行中 二番」	県資料番号 220-M26-259 H158-2	R4-03
秋月須磨子・137	高鍋藩山帳		4		0			和紙袋綴写本 25.2×16.7 分冊	高鍋藩の山詣証文	県資料番号 220-M26-258 H157-205	R4-03
黒水・001	万国公法 第四巻	西周助(開成所教授)	1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 28丁 22.2×15.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・001	万国公法 第三巻	西周助(開成所教授)	1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 46丁 22.2×15.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・001	万国公法 第二巻	西周助(開成所教授)	1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 43丁 22.2×15.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・001	万国公法 第一巻	西周助(開成所教授) 平安書館	1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 20丁 22.2×15.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・002	万国公法 六		1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 38丁 25.5×17.2		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・002	万国公法 五		1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 37丁 25.5×17.2		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・002	万国公法 四		1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 38丁 25.5×17.2		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・002	万国公法 三		1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 44丁 25.5×17.2		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・002	万国公法 二		1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 24丁 25.5×17.2		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・002	万国公法 一	京都崇実館在板	1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 43丁 25.5×17.2		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・003	泰西農学 三篇 下巻	緒方儀一	1					和紙袋綴刊本 38丁 22.5×15.8		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・003	泰西農学 初篇 下巻	緒方儀一	1					和紙袋綴刊本 25丁 22.5×15.8		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・003	泰西農学 三篇 上巻	緒方儀一 大学南校	1					和紙袋綴刊本 46丁 22.5×15.8		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・004	泰西国法論 一	津田真一郎 江戸開成所	1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 41丁 22.0×15.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 コーナー表紙糸替	R5-04
黒水・005	詰録従事 全	鎌田禎志 編輯 荻田石泰 纂	1			文政6	1823	和紙袋綴刊本 59丁 22.0×14.5			R5-04
黒水・006	生写朝顔話	竹本重太夫直傳 加嶋屋清助版	1					和紙袋綴 170丁 24.0×15.5		黒水 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・007	諸大名附	黒水長健	1					和紙袋綴 11丁 18.5×12.5	大名の名と石高を書いたもの	勅業會月報第28号の紙背に記入 表紙、糸替(修復)	R5-04
黒水・008	大石十八ヶ條申聞 全	双巴堂	1					和紙袋綴刊本 7丁※途中まで 22.5×15.7		※途中まで	R5-04
黒水・009	会社辨	福地源一郎 大蔵省	1			明治3(序)	1870	和紙袋綴刊本 50丁 22.0×15.0	(米)ウエイラント著経済書を参考にしたもの	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・010	会社辨講釋 下		1			明治5年発行	1872	和紙袋綴刊本 30丁 22.3×15.5	・バンク ・廻文為替の会社 ・バンク取建の手続 など		R5-04
黒水・011	日本外史纂語字類大全 三		1					洋紙袋綴刊本 56丁 17.7×12.3		黒水家蔵 朱印 黒水豊四口蔵 朱印 糸替	R5-04
黒水・011	日本外史纂語字類大全 二		1					洋紙袋綴刊本 48丁 17.7×12.3		黒水家蔵 朱印 黒水豊四口蔵 朱印 糸替	R5-04
黒水・011	日本外史纂語字類大全 四		1			明治17年発行	1884	洋紙袋綴刊本 50丁 17.5×12.2		黒水家蔵 朱印 黒水豊四口蔵 朱印	R5-04
黒水・012	本朝官職備考 巻五		1					和紙袋綴刊本 22丁 22.0×16.0		黒水之印 朱印	R5-04
黒水・012	本朝官職備考 巻二		1					和紙袋綴刊本 32丁 22.0×16.0		黒水之印 朱印	R5-04
黒水・012	本朝官職備考 巻六	湖西隠甫三宅 帯刀	1					和紙袋綴刊本 30丁 22.2×15.5		黒水之印 朱印 糸替	R5-04
黒水・012	本朝官職備考 巻四		1					和紙袋綴刊本 27丁 22.3×15.8		黒水之印 朱印	R5-04
黒水・013	環海異聞 巻之四～七		1					和紙袋綴 84丁 24.5×17.5		城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・013	環海異聞 巻一～三	福永舜民子(享)	1	寛政5～文化1	1793～1804			和紙袋綴 89丁 24.8×17.0	仙台の舟子が逆風にあい極北のオンデレーツクへ漂着。ムスク、ペトルブルクで軟待を受け、大西洋、太平洋を航海、長崎へ帰国。地図、風俗絵図を含む。	城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・014	渡来夷船風口書	黒水長健	1			嘉永6	1853	和紙袋綴 11丁 25.0×17.3	垂墨利加洲之内ワシントン国之船相州浦賀来船之記 嘉永六年六月三日	竜濱 朱印	R5-04
黒水・015	築山庭造 下	藤井慎斎(跋)	1					和紙袋綴刊本 27丁 26.0×19.0	庭絵図	秋月小牧蔵書印 朱印 日向国高鍋小丸秋月氏印 丸朱印	R5-04
黒水・016	家禮 巻四・五	浅見安正(跋)	1			元禄10(跋)	1697(跋)	和紙袋綴刊本 51丁 25.5×18.0	巻之四 喪礼 巻之五 祭礼	城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・017	発微補註 亨		1					和紙袋綴刊本 19丁 26.5×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・017	発微補註 貞		1					和紙袋綴刊本 21丁 26.5×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・017	発微補註 元		1					和紙袋綴刊本 36丁(乱丁あり) 26.5×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・017	発微補註 利		1					和紙袋綴刊本 31丁 26.2×19.8		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・018	日本立志編 巻三	干河岸貴一(福島)	1			明治15年発行	1882	和紙袋綴刊本 54丁 22.0×15.0		大塚 朱印	R5-04
黒水・019	諸礼集 四		1					和紙袋綴刊本 27丁 27.5×18.3		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・019	諸礼集 三		1					和紙袋綴刊本 16丁 27.5×18.3	譜	黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・019	諸礼集 一		1					和紙袋綴刊本 12丁 27.5×18.3	元服、嫁入・婿入	黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・020	奇説著聞集 巻五	大蔵永常	1					和紙袋綴刊本 25丁 22.5×15.5		山口庫 朱印 別題「田家茶話」	R5-04
黒水・020	奇説著聞集 巻四	大蔵永常	1					和紙袋綴刊本 22丁 22.5×15.5		山口庫 朱印 糸替 別題「田家茶話」	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 十九 南宋		1					和紙袋綴刊本 114丁 25.8×18.0		谷草黒水文庫印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 龍濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 十六 宋		1					和紙袋綴刊本 142丁 25.8×18.0		谷草黒水文庫印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 龍濱 朱印 漢文体	R5-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
黒水・021	歴史綱鑑補 十三 唐		1					和紙袋綴刊本 104丁 25.8×18.0		谷草黒水文庫印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 龍濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 十一 唐		1					和紙袋綴刊本 127丁 25.8×18.0		谷草黒水文庫印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 龍濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 八 西晋東晋		1					和紙袋綴刊本 122丁 25.8×18.0		谷草黒水文庫印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 龍濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 一		1					和紙袋綴刊本 106丁 25.8×18.0		谷草黒水文庫印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 龍濱 朱印 漢文体 表紙糸替、コーナー替	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 十八		1					和紙袋綴刊本 123丁 26.0×18.0	南宋紀	城陰黒水蔵書 朱印 口黒水文庫印 朱印 漢文体 糸替	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 十五		1					和紙袋綴刊本 160丁 26.0×18.0	宋紀	城陰黒水蔵書 朱印 口黒水文庫印 朱印 漢文体	R5-04
黒水・021	歴史綱鑑補 三		1					和紙袋綴刊本 96丁 26.0×18.0	秦紀口国 漢紀	城陰黒水蔵書 朱印 口黒水文庫印 朱印 漢文体 糸替	R5-04
黒水・022	西洋事情 三	福沢諭吉	1					和紙袋綴刊本 50丁 22.3×15.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・022	西洋事情 二編四	福沢諭吉 慶応義塾蔵版	1					和紙袋綴刊本 37丁 22.5×15.2		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 糸替	R5-04
黒水・022	西洋事情 二編一	福沢諭吉	1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 64丁 22.5×15.2		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 糸替	R5-04
黒水・023	西洋事情 外編二	福沢諭吉	1					和紙袋綴刊本 54丁 21.8×15.0		黒水家蔵 朱印 龍濱 朱印	R5-04
黒水・023	西洋事情 外編三	福沢諭吉	1			慶応3	1867	和紙袋綴刊本 53丁 21.8×15.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・023	西洋事情 外編二	福沢諭吉	1			慶応3	1867	和紙袋綴刊本 54丁 21.8×15.0		黒水家蔵 朱印 糸替	R5-04
黒水・023	西洋事情 外編一	福沢諭吉	2			慶応3	1867	和紙袋綴刊本 57丁 21.8×15.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 1冊糸替、1冊修復	R5-04
黒水・024	養蚕新論 卷三・四	田嶋邦寧	1			明治5	1872	和紙袋綴刊本 52丁 22.2×15.5	輸入	「遠山近水村舎蔵」柱刻	R5-04
黒水・025	古道訓蒙頌 全	笛廼舎塾蔵版	1					和紙袋綴刊本 9丁 22.7×15.5		漢文体	R5-04
黒水・026	内国史略 巻五・六	南摩綱紀	1					和紙袋綴刊本 58丁 23.0×15.8		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・026	内国史略 巻一・二	南摩綱紀	1			明治5年発行	1872	和紙袋綴刊本 70丁 23.0×15.8		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・027	表忠崇義集(写)	黒水長健(写)	1			嘉永5(写)	1852	和紙袋綴 26丁 24.5×17.0		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・028	雲萍雜誌 四	柳里恭	1			天保14発行	1843	和紙袋綴刊本 26丁 26.0×18.3		頭髻(髻頭) 朱印	R5-04
黒水・028	雲萍雜誌 二	柳里恭	1					和紙袋綴刊本 30丁 26.0×18.3		頭髻(髻頭) 朱印	R5-04
黒水・028	雲萍雜誌 一	柳里恭	1					和紙袋綴刊本 32丁 26.0×18.3		頭髻(髻頭) 朱印	R5-04
黒水・029	葬祭考	長門後学 藤原芳樹	1					和紙袋綴 21丁 25.0×17.5			R5-04
黒水・029	葬祭考(写)	藤原芳樹(長門) 黒水長健(写)	1					和紙袋綴 44丁 24.5×17.0	・葬祭考 上下 ・葬事略記(角田忠行) ・喪儀要録 ・霊祭奠録	城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・030	葬祭	広瀬正峯(薩摩) 黒水長健(写)	1			明治2	1869	和紙袋綴 30丁 25.0×17.3	種葬祭式 此冊ハ薩藩之布告也	城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・030	葬祭	那兼天年編 黒水長健(写)	1			明治2	1869	和紙袋綴 18丁 24.5×17.5	古儀葬祭式 祖神靈祭	城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・031	博物新編 三	英国醫士合信	1					和紙袋綴刊本 34丁 26.0×17.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・031	博物新編 二	英国醫士合信	1					和紙袋綴刊本 30丁 26.0×17.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・031	博物新編 一	英国醫士合信	1					和紙袋綴刊本 61丁 26.0×17.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・032	六芸論 口海私議 三策 (写)	塩谷世弘 安井息軒 中村敬輔	1			安政4	1857	和紙袋綴 71丁 24.5×17.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 一部静観窩蔵膠紙	R5-04
黒水・033	生産道案内 上	木幡嘉次郎 尚古堂	1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 34丁 22.0×15.0			R5-04
黒水・034	慎終疏節 坤		1					和紙袋綴 32丁 26.5×20.0	巻三 喪具図目	城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・035	職原鈔		1					和紙袋綴刊本 30丁 27.8×20.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・035	職原抄下		1					和紙袋綴刊本 67丁 26.0×18.3		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・036	靖献遺言 巻七・八	浅見綱斎	1					和紙袋綴刊本 36丁 27.4×19.0	忠臣の遺言、中国の古今の忠臣義士8人の真精神の流露した詩文8編	口 朱印 漢文体	R5-04
黒水・036	靖献遺言 巻五・六	浅見綱斎	1					和紙袋綴刊本 85丁 27.8×19.2	忠臣の遺言、中国の古今の忠臣義士8人の真精神の流露した詩文8編	口 朱印 漢文体	R5-04
黒水・037	中臣稷集説 上		1					和紙袋綴刊本 33丁 27.0×18.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・038	實検之巻		1					和紙袋綴 7丁 28.0×21.0	武田晴信公頭實検之作法		R5-04
黒水・039	大和俗訓 巻三・四		1					和紙袋綴刊本 48丁 23.0×16.0		大塚 朱印 表紙、コーナー替	R5-04
黒水・040	黄石公三略		1					和紙袋綴刊本 15丁 27.7×18.3		黒水家蔵 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・041	注進状		1					和紙袋綴 20丁 23.5×16.5	公方光源沈義輝公へ上杉輝虎より	竜濱 朱印	R5-04
黒水・042	古今武家盛衰記 第二十九・三十		1					和紙袋綴 44丁 28.0×20.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・043	袖珍御規則集覧		1			明治7発行	1874	和紙袋綴刊本 80丁 12.5×7.5		黒水丸印	R5-04
黒水・044	量距尺表	江澤述明	1			嘉永7	1854	折本 刊本 19.0×9.2		黒水之印 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・045	書礼 五		1					和紙袋綴 16丁 14.6×21.0			R5-04
黒水・046	書礼之次方		1					和紙袋綴刊本 18丁 27.5×18.5		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・047	言葉之令弁(写)	山脇正準	1					和紙袋綴 5丁 25.0×17.2		竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・048	医業書		1					和紙袋綴 66丁 21.5×16.3			R5-04
黒水・049	太地憲法	大慈沙門海潮音	1			寛文10(序)	1670	和紙袋綴刊本 45丁 26.0×18.0	聖徳太子十七憲法	黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・050	禮記 巻之三		1	0				和紙袋綴刊本 102丁 27.3×19.0	玉藻第十三	黒水家蔵朱印 上部欄外に書きこみあり	R5-04
黒水・050	禮記 四		1			寛文1	1661	和紙袋綴刊本 90丁 27.0×19.3		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・050	禮記 二		1					和紙袋綴刊本 87丁 27.0×19.3		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・051	詩経大全 十頌		1					和紙袋綴刊本 91丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 九雅		1					和紙袋綴刊本 72丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 八雅		1					和紙袋綴刊本 109丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙-6枚(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 七雅		1					和紙袋綴刊本 72丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙-2枚(修復)	R5-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
黒水・051	詩経大全 六雅		1					和紙袋綴刊本 89丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙・1枚(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 五雅		1					和紙袋綴刊本 80丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 四風		1					和紙袋綴刊本 122丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 三風		1					和紙袋綴刊本 84丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 二風		1					和紙袋綴刊本 96丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・051	詩経大全 巻序		1					和紙袋綴刊本 135丁 25.3×15.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 表紙(修復)	R5-04
黒水・052	孫子十家註 四 (官版)		1			嘉永5発行	1852	和紙袋綴刊本 78丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・052	孫子十家註 三 (官版)		1			嘉永5発行	1852	和紙袋綴刊本 70丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・052	孫子十家註 二 (官版)		1			嘉永5発行	1852	和紙袋綴刊本 78丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・052	孫子十家註 一 (官版)		1			嘉永5発行	1852	和紙袋綴刊本 74丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・053	大学章句鈔説 全	平安仲欽敬甫	1			元禄3(序)	1690(序)	和紙袋綴刊本 53丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・054	四書正解 卷之二十九		1					和紙袋綴刊本 30丁 25.0×18.0		漢文体	R5-04
黒水・054	四書正解 卷之二十四		1					和紙袋綴刊本 39丁 25.0×18.0		漢文体	R5-04
黒水・054	四書正解 卷之二十六		1					和紙袋綴刊本 47丁 25.3×18.0		漢文体	R5-04
黒水・054	四書正解 卷之三十		1			元禄10(跋) 天保12年発行	1697 1841	和紙袋綴刊本 54丁 25.2×18.0		漢文体	R5-04
黒水・054	四書正解 卷之二十七		1					和紙袋綴刊本 41丁 25.0×18.0		漢文体	R5-04
黒水・054	四書正解 卷之二十三		1					和紙袋綴刊本 45丁 25.0×18.0		漢文体	R5-04
黒水・055	倭板四書 中庸章句集註 完		1					和紙袋綴刊本 74丁 28.0×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・056	倭板四書 中庸或問	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 53丁 26.0×18.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・057	倭板四書 中庸輯略 上	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 57丁 26.0×18.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・058	倭板四書 中庸章句	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 52丁 28.0×19.2		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・058	倭板四書 中庸章句	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 54丁 26.0×18.5		漢文体	R5-04
黒水・059	倭板四書 孟子集註 卷十一・十二・十三・十四	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 104丁 28.0×19.3		黒水家蔵 朱印 漢文体 表紙、コーナー替	R5-04
黒水・059	倭板四書 孟子集註 卷十一・十二・十三・十四	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 97丁 26.5×19.0		漢文体	R5-04
黒水・060	倭板四書 論語集註 卷八・九・十	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 61丁 28.0×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体 表紙、コーナー替	R5-04
黒水・060	倭板四書 論語集註 卷三・四・五	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 80丁 28.0×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・061	大和小学(倭小学) 中		1					和紙袋綴刊本 78丁 26.0×17.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・061	大和小学(倭小学) 上		1					和紙袋綴刊本 97丁 26.0×17.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・062	和板小学外篇	山崎嘉	1			文化1	1804	和紙袋綴刊本 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・063	徒然直解 下巻之一		1					和紙袋綴刊本 28丁 27.0×19.5		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・063	徒然直解 上巻之五		1					和紙袋綴刊本 27丁 27.0×19.5		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・063	徒然直解 上巻之三		1					和紙袋綴刊本 34丁 27.0×19.5		黒水家蔵 朱印 黒衣四郎	R5-04
黒水・063	徒然直解 上巻之一		1					和紙袋綴刊本 29丁 27.0×19.5		黒水家蔵 朱印 黒水豊四郎	R5-04
黒水・063	徒然直解 下巻之四		1					和紙袋綴刊本 22丁 27.0×19.7		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・064	春秋胡氏伝		1					和紙袋綴刊本 118丁 27.3×19.5		黒水家蔵 朱印 文政元年黒水一也十四歳	R5-04
黒水・065	春秋左氏傳 卷二十九・三十		1			寛政12	1800	和紙袋綴刊本 70丁 25.5×18.0		黒水家蔵 朱印 「那波師曾句讀」柱刻 漢文体	R5-04
黒水・065	春秋左氏傳 卷二十三・二十四		1			寛政12	1800	和紙袋綴刊本 59丁 25.5×18.0		黒水家蔵 朱印 「那波師曾句讀」柱刻 漢文体 表紙替	R5-04
黒水・065	春秋左氏傳 卷二十一・二十二		1			寛政12	1800	和紙袋綴刊本 57丁 25.5×18.0		黒水家蔵 朱印 「那波師曾句讀」柱刻 漢文体 表紙替	R5-04
黒水・065	春秋左氏傳 卷七・八		1			寛政12	1800	和紙袋綴刊本 50丁 25.5×18.0		黒水家蔵 朱印 「那波師曾句讀」柱刻 漢文体 表紙替	R5-04
黒水・065	春秋左氏傳 卷九・十		1					和紙袋綴刊本 45丁 25.6×18.0		黒水家蔵 朱印 「那波師曾句讀」柱刻 漢文体 糸替	R5-04
黒水・066	近思錄 卷六～九		1					和紙袋綴刊本 49丁 27.0×18.2		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・066	近思錄 一・二		1					和紙袋綴刊本 73丁 27.0×18.0		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印 漢文体 書き込み多し	R5-04
黒水・067	杜律五言集 卷三		1					和紙袋綴刊本 41丁 27.3×18.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・068	老子経 巻下		1					和紙袋綴刊本 51丁 27.8×19.8		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・069	諸経集註 巻之十	風月庄左衛門	1			明暦1	1655	和紙袋綴刊本 28丁 28.0×20.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・069	諸経集註 巻之九		1			明暦1	1655	和紙袋綴刊本 44丁 28.0×20.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・069	諸経集註 巻之八		1			明暦1	1655	和紙袋綴刊本 46丁 28.0×20.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・070	大全早引御用集		1					和紙袋綴刊本 238丁 12.5×18.0		表紙・糸替	R5-04
黒水・071	詩語碎錦 上		1			文化5	1808	和紙袋綴刊本 62丁 16.0×11.0		大塚 朱印 鯉淵 朱印 糸替	R5-04
黒水・072	百人一首拾穂抄		1					和紙袋綴刊本 32丁 28.0×19.5		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・073	書経 巻下		1					和紙袋綴刊本 63丁 27.2×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・073	書経 巻上		1					和紙袋綴刊本 42丁 27.2×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・074	新板五経 易経 巻上		1					和紙袋綴刊本 34丁 27.5×19.8		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・075	古文前集 巻二・三		1					和紙袋綴刊本 42丁 27.8×19.7		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・076	陳龍川文鈔 巻四		1					和紙袋綴刊本 24丁 22.7×15.3		黒水之印 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・076	陳龍川文鈔 巻三		1					和紙袋綴刊本 24丁 23.0×15.7		黒水之印 朱印 竜濱 朱印 漢文体	R5-04
黒水・077	校正 地方落穂集 巻五・六		1					和紙袋綴刊本 27丁 25.3×17.5		黒水之印 朱印 表紙糸替	R5-04
黒水・077	地方落穂集 巻十一・十二	大月忠興 補訂	1					和紙袋綴刊本 37丁 25.5×17.5		城陰黒水蔵書 朱印 黒水之印 朱印 コーナー張替、表紙糸替	R5-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
黒水・078	寒山子詩集管解 卷二		1					和紙袋綴刊本 31丁 27.0×19.2		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・078	寒山子詩集管解 卷一		1			寛文11 (序)	1671	和紙袋綴刊本 39丁 27.0×19.2		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・079	詩経 卷下		1					和紙袋綴刊本 89丁 27.0×19.5		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・080	朱喜集註論語 卷八～十		1					和紙袋綴刊本 73丁 28.0×20.0		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・081	嘉永廿六家絶句集 卷四		1			嘉永1年発行	1848	和紙袋綴刊本 39丁 22.0×15.5		渋谷久智 朱印 漢文体	R5-04
黒水・082	安政三十二家絶句 卷下		1			安政3	1856	和紙袋綴刊本 37丁 22.3×14.2		渋谷久智 朱印 漢文体	R5-04
黒水・083	安政三十二家絶句集		1			安政4	1857	和紙袋綴刊本 39丁 22.5×14.2		渋谷久智 朱印 漢文体	R5-04
黒水・084	文久廿六家絶句集	平安書肆	1			文久2	1862	和紙袋綴刊本 32丁 22.5×15.0		渋谷久智 朱印 漢文体	R5-04
黒水・085	慶応十家絶句 卷下	内田(武州)	1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 24丁 21.2×13.3		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印 漢文体 糸替	R5-04
黒水・086	全唐詩七言聯選 巻之下		1					和紙袋綴刊本 44丁 26.0×18.0		城陰黒水蔵書 朱印 黒水之印 朱印 漢文体	R5-04
黒水・087	杜律七言集解 卷下		1			万治2(跋)	1659	和紙袋綴刊本 41丁 27.2×18.8		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・088	釘録鈔段 完(写)		1			嘉永5(写)	1852(写)	和紙袋綴 91丁 24.5×16.7	軍法書 兵制、戦略など	黒水家蔵 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・089	五拾騎備押大概 全		1					和紙袋綴 30丁 13.0×19.3		黒水之印 朱印 竜濱 朱印 竜濱 朱印 朱書きき入れあり	R5-04
黒水・090	海岸備要 卷一	本木正栄 布川通瑛 校	1			嘉永5	1852	和紙袋綴刊本 40丁 26.0×18.0	海岸砲術備要巻之一	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・090	海岸備要 付録		1					和紙袋綴刊本 20丁 26.0×18.0	海岸砲術備要付録 銃法起原考	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・090	海岸備要 卷二	本木正栄 訳 布川通瑛 校	1					和紙袋綴刊本 27丁 26.0×18.0	海岸砲術備要 卷二 ※海岸備要は四巻付録一卷五冊	黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・091	海防私策 他(写)	大槻清素(仙台) 黒水竜濱(写)	1			嘉永2	1849	和紙袋綴 32丁 24.5×17.0		漢文体 城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・092	萱嶋氏要門傳書筆記	萱嶋敦 内田正勝 黒水健	1			寛政9 天保9(写) 嘉永5(写)	1797 1838 (写) 1852 (写)	和紙袋綴 24丁 25.0×17.3		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・093	武門要鑑抄 卷八～十九 坤		1					和紙袋綴 213丁 23.0×16.0		黒水家蔵 朱印 龍濱 朱印	R5-04
黒水・093	武門要鑑抄 卷一～巻七 乾		1					和紙袋綴 184丁 23.0×16.0	「郡上藩山昭正準先生の門下に入り学ぶ」の詞書あり	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・094	武門要鑑抄 卷一 国政伝	黒水長健謹講	1					和紙袋綴 37丁 24.8×17.0		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・095	武門要鑑抄 卷十六 防戦伝		1					和紙袋綴 11丁 28.5×21.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷二十 軍旅傳		1					和紙袋綴 13丁 23.0×16.0		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷十一 陣取傳		1					和紙袋綴 15丁 23.0×16.0		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷十九 地戦傳		1					和紙袋綴 15丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷十七 船軍傳		1					和紙袋綴 11丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷九 内試傳		1					和紙袋綴 15丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷八 手組傳		1					和紙袋綴 13丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷六 武侯傳		1					和紙袋綴 16丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷五 一騎傳		1					和紙袋綴 27丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄聞書 卷三 司令傳		1					和紙袋綴 18丁 23.0×16.0		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・096	武門要鑑抄傳解		1					和紙袋綴 3丁 23.3×16.3		黒水之印 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・097	新銃射放論	赤松清次郎	1			安政4	1857	和紙袋綴 29丁付図面 24.5×17.0	洋書から銃の製法扱いについて引いてまとめたもの	黒水之印 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・098	操練略式 坤 卷六～卷十		1					和紙袋綴 48丁 24.5×17.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・098	操練略式 乾 卷一～卷五	山脇正準 黒水長健(写)	1					和紙袋綴 51丁 24.5×17.0		黒水家蔵 朱印 城陰黒水蔵書 朱印	R5-04
黒水・099	騎操軌範 中篇 卷五・六		1					和紙袋綴刊本 64丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・099	騎操軌範 初篇 卷二・三		1					和紙袋綴刊本 61丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・099	騎操軌範 中編 卷三・四		1					和紙袋綴刊本 66丁 25.6×18.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・099	騎操軌範 初編 卷一	培蘭牧天穆訳	1			安政3	1856	和紙袋綴刊本 40丁 26.0×18.0	軍事	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・100	白鹿屯学校図式		1			安政2	1855	和紙袋綴刊本 45丁 26.5×18.0	白鹿屯(べとろん)小隊	黒水之印 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・101	行軍図解		1					和紙袋綴 57丁 26.5×18.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・102	歩兵操練傳習		1			安政3	1856	和紙袋綴 37丁 25.3×17.3	勝隣太郎孫長崎に於て蘭人より伝わりしこれを訳せし也 俗に長崎伝習	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・103	和蘭兵書(写)	黒水長健(写)	1					和紙袋綴 21丁 26.8×18.0	軍事之原を論ず	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・104	六封度葛農煥手次(写)	黒水長健(写)	1			安政3(写)	1856(写)	和紙袋綴 11丁 24.5×17.0	大砲の扱い方?	黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・105	練兵実備 下(写)	山鹿素水 黒水長健(写)	1			嘉永3 嘉永7(写)	1850 1854 (写)	和紙袋綴 25丁 25.0×17.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・105	練兵実備 中(写)	山鹿素水 黒水長健(写)	1			嘉永3 嘉永7(写)	1850 1854 (写)	和紙袋綴 28丁 25.0×17.0		黒水家蔵 朱印	R5-04
黒水・105	練兵実備 上(写)	山鹿素水 黒水長健(写)	1			嘉永3 嘉永7(写)	1850 1854 (写)	和紙袋綴 41丁 25.0×17.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・106	軍用 三		1					和紙袋綴 26丁 23.8×16.5		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・106	軍用 二		1					和紙袋綴 64丁 23.8×16.5		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・106	軍用 一	黒水長健(写)	1					和紙袋綴 67丁 23.8×16.5		城陰黒水蔵書 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・107	歩兵運動軌範(写)	石井修三 黒水長健(写)	1			安政4 文久3(写)	1857 1863 (写)	和紙袋綴 114丁 24.5×17.5		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・107	歩軍操法 歩兵運動軌範 (写)	藤澤亭平(佐渡) 石井修三 黒水長健(写)	1			安政4	1857	和紙袋綴 115丁 24.5×18.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・108	歩操軌範図解	廣徳館下曾禰 氏蔵版	1			安政2	1855	和紙袋綴刊本 42丁 25.5×18.0		黒水家蔵 朱印 龍濱 朱印	R5-04
黒水・108	歩操軌範参考図		1					和紙刊本 25.5×18.0			R5-04
黒水・108	歩操軌範参考図	廣徳館下曾禰 氏蔵版	1			安政2	1855	和紙刊本 20丁 25.5×18.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・109	和蘭官軍之服色及軍装略図	山脇正民 講武塾蔵版	1			安政5	1858	和紙袋綴刊本 7丁 26.2×18.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・110	砲術彙解 卷一(写)	山脇正準	1					和紙袋綴 26丁 24.5×17.2		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04
黒水・111	歩兵八節装填法	黒水長健	1			安政3	1856	和紙袋綴 33丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 竜濱 朱印	R5-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
黒水・112	遠西武器図略	杉田成卿	1			嘉永6	1853	和紙袋綴刊本 16丁 25.3×17.3		黒水家蔵 朱印 電漬 朱印	R5-04
黒水・113	海防問答 (写)	平山潜 黒水長健(写)	1					和紙袋綴 53丁 24.5×17.2		黒水家蔵 朱印 電漬 朱印	R5-04
黒水・114	防海試説 巻七〜九		1					和紙袋綴 53丁 27.0×18.8		黒水家蔵 朱印 電漬 朱印	R5-04
黒水・115	陸軍法令録(写)		1					和紙袋綴 90丁 23.5×17.0		修復分冊	R5-04
黒水・115	陸軍法令録(写)		1					和紙袋綴 88丁 23.5×17.0		黒水家蔵書 朱印 電漬 朱印 分冊	R5-04
黒水・116	雑書 甲寅電漬	黒水長健	1					和紙袋綴 6丁 25.0×16.5	鑿(かぶと)建、櫓などの図と説明		R5-04
黒水・117	武器の解説		1			嘉永7	1854	折本 刊本 18.3×8.5		黒水之印 朱印 表紙無し	R5-04
黒水・118	散兵定則 乾	安場敬明(因幡)	1			安政5	1858	和紙袋綴刊本 27丁 25.5×17.5	諸兵士互二距離ヲ取りテ配置するところの散戦の法	漢文体 全二冊のうちの一冊 黒水家蔵 朱印 電漬 朱印 糸替	R5-04
黒水・119	譯奎初編 巻三・四		1					和紙袋綴刊本 83丁 22.5×16.0	別名訳文釜添、荻生徂徠述	大塚 朱印	R5-04
黒水・121	地理学筆記		1			明治23	1890	和紙袋綴 54丁 21.3×16.0		口藤先生口授席上筆記 中学一年生 玄水氏 静観高蔵の筆紙	R5-04
黒水・122	博物教授本 動物の部	市川来次郎 中山市兵衛蔵版	1			明治10	1877	和紙袋綴刊本 43丁 22.5×15.3	動物図鑑	黒水豊四口蔵 朱印	R5-04
黒水・123	小学中等作文稽古本 巻之三・四	曾我部信雄 宮地森城 編輯	1			明治16年発行	1883	和紙袋綴刊本 24丁 21.5×15.0	督促状、礼状、借用文などの例文・様式		R5-04
黒水・124	雑字類編	東讃 柴貞殿 小輔	1					和紙袋綴刊本 94丁 22.5×16.0		城陰黒水蔵書 朱印 小田郁印 朱印 ※明治21年新小路小田氏入札時購入 表紙・糸替	R5-04
黒水・126	上江村是	調査委員長 村長 財津睦太郎	1			明治43	1910	和紙袋綴刊本 69丁 22.7×16.0			R5-04
黒水・128	謡曲?		1					和紙袋綴 23丁 24.0×16.0		城陰黒水蔵書 朱印 電漬 朱印	R5-04
黒水・129	料理メモ帳		1					断片綴り 8丁 26.0×17.0			R5-04
黒水・138	小学纂註 外篇 利	高愈集註	1					和紙袋綴刊本 49丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 漢文体 表紙替	R5-04
黒水・138	小学纂註 内篇 元	福山潜 蔵寒 堂蔵板 高愈集註	1			文政5	1822	和紙袋綴刊本 62丁 26.0×18.0		黒水家蔵 朱印 龍漬 朱印 漢文体 表紙替	R5-04
黒水・139	小学 外篇	佐土原学習館 蔵版 彫刻上村伊平	1			天保2	1831	和紙袋綴 73丁 27.2×18.5		黒水家蔵 朱印 漢文体 全6巻/宋朱熹撰 佐土原潜の藩校「佐土原学習館」(文政8設立・島津氏)の出版物 * 成立年は『近世藩校における出版業の研究』(吉川公文館)より記載	R5-04
黒水・140	中庸章句鈔説 巻上	仲欽敬甫	1					和紙袋綴刊本 40丁 26.0×18.3		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・141	論語集註鈔説 巻三	仲欽敬甫	1					和紙袋綴刊本 14丁 26.0×18.3		黒水家蔵 朱印 漢文体 途中までしかない	R5-05
黒水・142	古文直宝 三・四巻		1					和紙袋綴刊本 52丁 27.5×19.8		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-05
黒水・143	四書集註 孟子		1					和紙袋綴刊本 45丁 28.0×20.0		漢文体 痛み激しい 表紙なし	R5-05
黒水・144	孝経(写)		1			寛文10	1670	和紙袋綴 39丁 24.3×17.2		黒水之印 朱印	R5-04
黒水・145	大塚親淵先生詩経講義	黒水長健(写)	1			嘉永2(写)	1849	和紙袋綴 75丁 24.8×16.0		黒水家蔵 朱印 龍漬 朱印 宮田善嶋氏より借りて写すと奥書にあり	R5-05
黒水・146	戦場百箇条	黒水長健(写)	1					和紙袋綴 22丁 25.0×17.2		黒水家蔵 朱印 龍漬 朱印	R5-05
黒水・147	重刻 内閣秘傳字府 二		1					和紙袋綴刊本 33丁 27.0×17.2		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-05
黒水・147	重刻 内閣秘傳字府 一		1					和紙袋綴刊本 34丁 27.0×17.2		黒水家蔵 朱印 漢文体	R5-04
黒水・148	抜隊龍学校全書 四・五巻		1					和紙袋綴刊本 94丁 18.2×12.0		黒水之印 朱印 龍漬 朱印	R5-05
黒水・149	庭訓往來證注大成	永井如瓶編 山崎美剛補	1					和紙袋綴刊本 86丁 26.0×18.3			R5-05
黒水・150	日本外史 巻二十二	頼久太郎	1			明治16再版	1883	和紙袋綴刊本 61丁 18.3×12.2		頼氏蔵版(柱刻) 漢文体	R5-05
黒水・151	国史論語評點 初篇下	長川竹院 勉晴樓蔵版	1			明治10	1877	和紙袋綴刊本 32丁 18.5×12.5			R5-05
黒水・151	国史論語評點 初篇上	長川竹院 勉晴樓蔵版	1			明治10	1877	和紙袋綴刊本 37丁 18.5×12.5			R5-05
黒水・152	布告全書	外史局編纂	1			明治5	1872	和紙袋綴 19丁 18.3×12.2		表紙糸替	R5-05
黒水・153	書礼法式抜粋 四		1					和紙袋綴 16丁 27.5×19.0			R5-05
黒水・154	墨揚必携 巻六	米養河先生	1			天保9	1838	和紙袋綴刊本 64丁 20.0×12.5		口文庫 朱印 漢文体	R5-05
黒水・154	墨揚必携 巻五	米養河先生	1			天保9	1838	和紙袋綴刊本 40丁 20.0×12.5		口文庫 朱印 漢文体	R5-05
黒水・154	墨揚必携 巻四	米養河先生	1			天保9	1838	和紙袋綴刊本 52丁 20.0×12.5		口文庫 朱印 漢文体	R5-05
黒水・154	墨揚必携 巻二	米養河先生	1			天保9	1838	和紙袋綴刊本 41丁 20.0×12.5		口文庫 朱印 漢文体	R5-05
黒水・154	墨揚必携 巻一	米養河先生	1			天保9	1838	和紙袋綴刊本 50丁 20.0×12.5		口文庫 朱印 漢文体	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 八・九画	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 37丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 七画	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 79丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 六画下	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 57丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 六画上	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 65丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 五画	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 76丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 四画下	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 86丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 四画上	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 56丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 三画下	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 46丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 三画上	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 48丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 一・二画	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 65丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
黒水・156	増統大廣益会玉篇大全 首尾総目	毛利貞斎	1			嘉永7	1854	和紙袋綴刊本 25丁 22.7×16.3		高鍋上江山口蔵書 朱印 表紙替	R5-05
諸家/他・001	古今顔会挙要小補 巻四		1					和紙袋綴刊本 89丁 26.8×17.5			R4-03
諸家/他・001	古今顔会挙要小補 巻五		1					和紙袋綴刊本 85丁 26.6×17.3			R4-03
諸家/他・001	古今顔会挙要小補 巻六		1					和紙袋綴刊本 148丁 26.7×17.3		表紙なし 分冊	R4-03
諸家/他・001	古今顔会挙要小補 巻八		1					和紙袋綴刊本 94丁 26.7×17.6		表紙なし	R4-03
諸家/他・001	古今顔会挙要小補 巻九		1					和紙袋綴刊本 142丁 26.5×17.8		表紙なし 分冊(巻9・巻10)	R4-03
諸家/他・002	易学啓蒙 上		1					和紙袋綴刊本 126丁 27.4×19.3			R4-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・002	易学啓蒙 下		1					和紙袋綴刊本 137丁 27.4×19.3			R4-03
諸家/他・003	和蘭字彙 CF		1					和紙袋綴刊本 119丁 25.9×18.3			R4-03
諸家/他・003	和蘭字彙 G		1					和紙袋綴刊本 132丁 26.2×18.3			R4-03
諸家/他・003	和蘭字彙 LN		1					和紙袋綴刊本 206丁 26.1×18.4	分冊		R4-03
諸家/他・003	和蘭字彙 PQR		1					和紙袋綴刊本 126丁 25.9×18.1			R4-03
諸家/他・004	英文熟語集 全		3					和紙袋綴刊本 91丁 22.1×18.2	明倫堂蔵書印 朱印 コーナー糸替		R4-03
諸家/他・005	歩操軌範初編		1					和紙袋綴刊本 68丁 26.3×18.3	圧着		R4-03
諸家/他・006	博物新編詩解 巻之一	大森秀三 訳	1			慶応4(序)	1868	和紙袋綴刊本	柿原蔵書 朱印 3169の朱ナンバ―あり(※明倫堂図書目録3169は博物新編詩解 巻之二で本書と対) コーナー糸替		R4-03
諸家/他・007	日本略史 巻之一	柳原 浅井 翻刻	1			明治9	1876	和紙袋綴刊本		表紙に第十一号の朱書	R5-05
諸家/他・008	日本略史 巻之一	陸軍省御蔵版	1			明治11	1878	和紙袋綴刊本		「第五学区第廿六中学区高鍋学校」朱印	R5-05
諸家/他・008	日本略史 巻之二	陸軍省御蔵版	1			明治11	1878	和紙袋綴刊本		「第五学区第廿六中学区高鍋学校」朱印	R5-05
諸家/他・008	日本略史 巻之三	陸軍省御蔵版	1			明治11	1878	和紙袋綴刊本		「第五学区第廿六中学区高鍋学校」朱印	R5-05
諸家/他・008	日本略史 巻之四	陸軍省御蔵版	1			明治11	1878	和紙袋綴刊本		「第五学区第廿六中学区高鍋学校」朱印	R5-05
諸家/他・009	唐宋聯珠詩格		1			天保4	1833	和紙袋綴刊本 77丁 10.7×15.9	堤口文庫 朱印		R4-03
諸家/他・010	俳句集?		1					和紙袋綴刊本 52丁 15.8×11.5		「水筑氏」墨書 3671の朱ナンバ―(※明倫堂図書目録3671は俳諧季寄大全で本書とは異なる)	R4-03
諸家/他・011	御取次勅法	翔房	1					和紙袋綴 21丁 15.0×22.2		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・012	易学啓蒙		1					和紙袋綴刊本 90丁 26.2×19.0			R4-03
諸家/他・013	易上下象傳(写)		1					和紙袋綴 86丁 23.8×16.0	圧着		R4-03
諸家/他・014	勢語聽断 一		1					和紙袋綴刊本 51丁 26.2×18.3	伊勢物語注釈書	明倫堂蔵書印 朱印 紙背注意(文字あり)	R4-03
諸家/他・014	勢語聽断 二		1					和紙袋綴刊本 48丁 26.4×18.2	伊勢物語注釈書	明倫堂蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・014	勢語聽断 三		1					和紙袋綴刊本 49丁 26.3×18.2	伊勢物語注釈書	明倫堂蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・014	勢語聽断 四		1			享和3	1718	和紙袋綴刊本 97丁 28.4×18.2	伊勢物語注釈書	明倫堂蔵書印 朱印 紙背注意(文字あり)	R4-03
諸家/他・015	刀剣問答		1			宝暦12(跋)	1762	和紙袋綴刊本 37丁 26.8×19.8		堤口文庫 朱印	R4-03
諸家/他・016	六韜		1					和紙袋綴刊本 81丁 25.7×18.0	兵法書		R4-03
諸家/他・017	七書		1					和紙袋綴刊本 84丁 25.8×18.2	中国の7部の兵書 孫子・呉氏・司馬法・蔚繚子・三略・六韜・李衛問答対の総称	陶山と墨書	R4-03
諸家/他・018	洪範全書統禄(写)	尚斎	1			享保5	1720	和紙袋綴 87丁 25.3×17.7		明倫堂蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・019	亦奇録 下		1					和紙袋綴刊本 36丁 18.8×12.5		堤氏文庫 朱印	R4-03
諸家/他・019	亦奇録 中	小原鉄心	1					和紙袋綴刊本 48丁 18.5×12.3		堤口文庫 朱印 明倫堂図書目録4140に「亦奇録 上」あり。	R4-03
諸家/他・020	気海観瀾	芳潜青地先生述	1			文政10(序)	1827	和紙袋綴刊本 53丁 25.3×17.5		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・021	道学標的		1					和紙袋綴刊本 14丁 26.4×17.7		明倫堂蔵書印 朱印 紙背注意(文字あり)	R4-03
諸家/他・022	資治通鑑綱目		1					和紙袋綴刊本 63丁 27.0×19.3	圧着 500と朱書		R4-03
諸家/他・023	続和漢名数	貝原益軒	1					和紙袋綴刊本 150丁 23.0×16.0	圧着 分冊		R4-03
諸家/他・024	(和歌集)		1					和紙袋綴刊本 58丁 23.2×16.5		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・025	太閤記 巻八・九	小瀬甫巷道喜集録	1					和紙袋綴刊本 43丁 18.6×12.5		観奕堂蔵(柱刻) 2422と朱書(※明倫堂図書目録2422は太閤記巻十〜で本書と対) 表紙・コーナー	R4-03
諸家/他・026	外族母堂袁堂版図	丸子弘篤	1			安永4	1775	一紙 40.0×60.0			R4-03
諸家/他・027	松陽講義 巻八〜十二		1					和紙袋綴刊本 91丁 2402×15.8		表紙なし 表紙、コーナー	R4-03
諸家/他・028	論語集註鈔説 巻二		1					和紙袋綴刊本 59丁 25.9×18.6		表紙なし 黒水家蔵 朱印	R4-03
諸家/他・029	倭版四書孟子集註 巻一・二	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 61丁 25.9×18.2		表紙なし 327-1と朱書(明倫堂図書目録327「孟子」327-1が欠落)	R4-03
諸家/他・030	四書浅説 巻之十		1					和紙袋綴刊本 37丁 27.0×17.6		明倫堂蔵書印 朱印 430をみよのメモあり(明倫堂図書目録430は「四書浅説」巻10・14欠とあり、本書はその欠落部分に該当)	R4-03
諸家/他・031	孟子示蒙句解 巻三		1					和紙袋綴刊本 47丁 25.7×18.6			R4-03
諸家/他・032	孟子集註 巻之三〜巻之六		1					和紙袋綴刊本 84丁 25.6×19.5	明倫堂蔵書印 朱印 327-2 朱書(327は優版で別物)		R4-03
諸家/他・032	孟子集註 巻之七〜巻之十		1					和紙袋綴刊本 84丁 25.8×19.5	明倫堂蔵書印 朱印 327-3 朱書(327は優版で別物)		R4-03
諸家/他・032	孟子集註 巻之十一〜巻之十四		1					和紙袋綴刊本 92丁 26.0×19.5	明倫堂蔵書印 朱印 327-4 朱書(327は優版で別物)		R4-03
諸家/他・033	論語		1					和紙袋綴刊本 194丁 17.1×11.9			R4-03
諸家/他・034	孟子		1					和紙袋綴刊本 222丁 16.3×11.4			R4-03
諸家/他・035	經典餘師 小学之部		1			文久3	1863	和紙袋綴刊本 249丁 22.2×15.6		表紙、コーナー修復	R4-03
諸家/他・036	經典餘師 詩経之部	讀岐百年先生	1			嘉永2	1849	和紙袋綴刊本 178丁 23.3×16.0			R4-03
諸家/他・037	徒然草分段抄 一		1					和紙袋綴刊本 24丁 26.7×19.4		高月鈴木文庫之印 朱印 282号未登録のメモ(※282は中唐) 明倫堂蔵書目録3836・3837・3838「徒然草分段抄で本書はこの対	R4-03
諸家/他・037	徒然草分段抄 二		1					和紙袋綴刊本 23丁 26.7×19.4		高月鈴木文庫之印 朱印 明倫堂蔵書目録3836・3837・3838「徒然草分段抄で本書はこの対	R4-03
諸家/他・037	徒然草分段抄 三		1					和紙袋綴刊本 31丁 26.7×19.6		高月鈴木文庫之印 朱印 明倫堂蔵書目録3836・3837・3838「徒然草分段抄で本書はこの対	R4-03
諸家/他・037	徒然草文段抄 二	北村季吟著	1					和紙袋綴刊本 40丁26.5×19.1	前欠 隨筆注釈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・037	徒然草文段抄 五	北村季吟著	1					和紙袋綴刊本 25丁26.5×19.1	隨筆・注釈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・038	素問 巻八		1					和紙袋綴刊本 51丁 27.7×20.0		朱目録4605みよのメモ(※明倫堂図書目録4605は「黄帝内経素問」で本書はこの対)	R4-03
諸家/他・039	新撰字解	岩崎茂美 編 高野勝敬 校	1					和紙袋綴刊本 233丁 8.3×17.6		「萱囀」の墨書あり	R4-03
諸家/他・040	続和漢名数大全		1			弘化4	1847	和紙袋綴刊本 99丁 11.3×7.3		堤口文庫 朱印	R4-03
諸家/他・041	増訂康熙字典	和銅館蔵版	1			明治18(序)	1885	和紙袋綴刊本		泥谷□□ 朱印	R5-05
諸家/他・041	増訂康熙字典	和銅館蔵版	1					和紙袋綴刊本		泥谷□□ 朱印	R5-05
諸家/他・041	増訂康熙字典	和銅館蔵版	1					和紙袋綴刊本		泥谷□□ 朱印	R5-05
諸家/他・041	増訂康熙字典	和銅館蔵版	1					和紙袋綴刊本		泥谷□□ 朱印	R5-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・041	増訂康熙字典	和銅館蔵版	1					和紙袋綴刊本		泥谷□□ 朱印	R5-05
諸家/他・041	増訂康熙字典	和銅館蔵版	1					和紙袋綴刊本		泥谷□□ 朱印	R5-05
諸家/他・042	続詩韻碎金幼学便覧	千葉 能勢嘉左衛門	1			明治13	1880	和紙袋綴刊本 84丁 11.0×15.5		山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)	R4-03
諸家/他・044	馬学		1			明治23	1890	和紙袋綴刊本 102丁 18.4×12.7		山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31) コーナー糸替	R4-03
諸家/他・046	禅宗眼目	鈴木子順 梅花書院	1			明治30	1897	和紙袋綴刊本 22.8× 15.4		山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31) コーナー糸替	R4-03
諸家/他・048	小学内篇		1					和紙袋綴本 刊本 72丁 26.0×17.5		漢文体 山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)	R4-03
諸家/他・049	小文規則		1					和紙袋綴刊本 37丁 22.5×15.6			R4-03
諸家/他・050	沖繩志 卷三	伊地知貞馨(薩摩)	1					和紙袋綴刊本 46丁 23.6×16.3		柿原蔵書 朱印 有恒斎蔵版群紙	R4-03
諸家/他・050	沖繩志 卷一		1			明治10	1877	和紙袋綴刊本 61丁 23.9×16.7		柿原蔵書 朱印 有恒斎蔵版 明倫堂図書目録2184丁 沖繩志卷二・四」と本書は対	R4-03
諸家/他・050	沖繩志 卷五	伊地知貞馨著 重野安綱関	1	正保1～明治7	1644～1874	明治10	1877	和紙袋綴刊本 54丁 23.8×16.5	事蹟志 世系部・人物部 付録那覇寓舎棟詠(漢詩)	柿原蔵書 朱印	R4-03
諸家/他・052	木内宗五郎一代記	中尾捨吉 政友学舎蔵版	1			明治22	1889	和紙袋綴刊本 15丁 22.3×15.6		柿原蔵書 朱印 コーナー、糸替	R4-03
諸家/他・053	土道要論	進士館刷印	1			嘉永3	1850	和紙袋綴刊本 27丁 22.7×15.8		蔵六 朱印	R4-03
諸家/他・054	報徳外記 卷之上	齋藤高行 駿河国東報徳社蔵版	1			明治18	1885	和紙袋綴刊本 37丁 22.6×15.1		糸替	R4-03
諸家/他・054	報徳外記 卷之下		1					和紙袋綴刊本 35丁 22.6×15.1		コーナー、糸替	R4-03
諸家/他・055	勸善餘論	今北洪川	1			明治20	1887	和紙袋綴刊本 42丁 19.4×13.0		堤口文庫 朱印	R4-03
諸家/他・063	篆書?の本		1					和紙袋綴刊本 19.8× 13.3		「この書は門外に出しません蔵六迂人」朱書 糸替	R4-03
諸家/他・063	篆書?の本		1					和紙袋綴刊本 19.8× 13.3		「この書は門外に出しません蔵六迂人」朱書 糸替	R4-03
諸家/他・067	(舐肥藩の記録)		1					和紙袋綴 63丁 15.4× 15.6	舐肥振徳堂・練兵・御閑船人数口・諸折棟定など	表紙なし	R4-03
諸家/他・068	鉄拔要集		1					和紙袋綴 43丁 20.4× 13.5		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷一		1					和紙袋綴 51丁 20.5× 13.3		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷二		1					和紙袋綴 51丁 20.5× 13.4		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷三		1	文政4	1821			和紙袋綴 50丁 20.5× 13.6	文政4松之助様御髪置并御着袴 於貴様御絨解并御耳口初	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷四		1					和紙袋綴 54丁 20.9× 13.9		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷五		1					和紙袋綴 59丁 20.7× 13.8		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷八		1					和紙袋綴 31丁 20.9× 13.5	天祐院殿(種政)口宣写	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷九		1	文政11 文政12	1828 1829			和紙袋綴 56丁 20.9× 13.7		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・069	禮話集 卷十		1					和紙袋綴 81丁 20.8× 13.5		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-03
諸家/他・090	銀台遺事(写)		1					和紙袋綴 96丁 24.6×16.3		橋河辺蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・091	鴨東四時雜詞		1					和紙袋綴刊本 54丁 21.8×14.8		宮崎県官口上別府若山蔵六 朱印 漢文体	R4-03
諸家/他・092	無声詩史 卷一～三		1					和紙袋綴刊本 79丁 21.6×12.9		秋月氏蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・092	無声詩史 卷四～七		1					和紙袋綴刊本 77丁 21.6×12.9		秋月氏蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・093	太政官日誌 九		1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 4丁 22.0×15.2		高月鈴木文庫之印 朱印	R6-02
諸家/他・093	太政官日誌 十		1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 6丁 22.0×15.2		高月鈴木文庫之印 朱印	R6-02
諸家/他・093	太政官日誌 十一		1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 11丁 22.0×15.2		高月鈴木文庫之印 朱印	R6-02
諸家/他・093	太政官日誌 十二		1			慶応4	1868	和紙袋綴刊本 7丁 22.0×15.2		高月鈴木文庫之印 朱印	R6-02
諸家/他・094	正徳納守三ノ采配 融通三昧憧憬ほか 筆記	平手景興 後学 宣嶋保次	1			寛政11 (跋)	1799 (跋)	和紙袋綴 34丁 25.0×17.0			R4-03
諸家/他・095	性論明徳録口義	桑名煥章 訂 斉	1			宝暦11	1761	和紙袋綴 16丁 24.5×16.7			R4-03
諸家/他・096	取計一条 錠太郎并幸助罷下候二付		1			文久1	1861	和紙袋綴 17丁 25.0×16.0	武藤三左衛門吉口より		R4-03
諸家/他・097	戦地必要 五(卷三)		1					和紙袋綴刊本 42丁 18.0×12.0		糸替	R4-03
諸家/他・099	世界国畫 別巻之五六		1					和紙袋綴刊本 43丁 22.5×15.5			R4-03
諸家/他・113	舞鶴神社記		1					和紙袋綴 表紙とも10丁 25.0×17.0			R5-05
諸家/他・114	新刻溫室津髄(上)		1			文化2	1805	和紙袋綴本 刊本 100 丁 9.0×18.0	序 文化2 北山 山本信有撰 漢詩	漢文 上中下のうち中欠	R4-03
諸家/他・114	新刻溫室津髄(下)		1					和紙袋綴本 刊本 103 丁 9.0×18.0			R4-03
諸家/他・115	佩文齋詠物詩選(上)		1			文化5発行 嘉永3再版	1808 1850	和紙袋綴本 刊本 126 丁 9.0×18.5	佩文齋 序 康熙45(1707) 文化5(1808) 漢詩	漢文	R4-03
諸家/他・115	佩文齋詠物詩選(下)		1			文化5発行 嘉永3再版	1803 1850	和紙袋綴本 刊本 241 丁 9.0×18.5		江戸書林 本石町十軒店 萬発堂英大助	R4-03
諸家/他・116	秋冬佩文詩韻釋要 卷三、巻四		1					和紙袋綴本 刊本 112 丁 15.5×7.5			R4-03
諸家/他・116	秋冬佩文詩韻釋要 巻五		1					和紙袋綴本 刊本 110 丁 12.5×8.0		巻五は二冊に分冊されている 秋月家蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・116	秋冬佩文詩韻釋要 巻五		1					和紙袋綴本 刊本 47丁 12.5×8.0			R4-03
諸家/他・117	詩賦料集腋 巻三・四		1					和紙袋綴本 刊本 96丁 12.5×8.0			R4-03
諸家/他・117	詩賦料集腋 巻四・五		1					和紙袋綴本 刊本 94丁 12.5×8.0			R4-03
諸家/他・118	月令粹編 序 卷一・二・三		1					和紙袋綴本 刊本 93丁 14.5×9.0	光緒9年皖省聚文書坊鈐印		R4-03
諸家/他・118	月令粹編 巻四・五・六		1					和紙袋綴本 刊本 103 丁 15.0×9.5			R4-03
諸家/他・118	月令粹編 巻七・八・九・十		1					和紙袋綴本 刊本 90丁 15.0×9.5			R4-03
諸家/他・118	月令粹編 十一・十二・十三・十四		1					和紙袋綴本 刊本 101 丁 15.0×9.5			R4-03
諸家/他・119	竹外式十八字詩 序 巻上	藤井竹外	1			明治13翻 刻		和紙袋綴本 刊本 29丁 12.5×8.7	序 嘉永7(1854)大和節齋居士森田益 撰	東京書林 鴻実堂梓	R4-03

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・119	竹外式十八字詩 後編 卷一		1					和紙袋綴本 刊本 31丁 12.5×8.7			R4-03
諸家/他・119	竹外式十八字詩 後編 卷下	翻刻人 愛知 奥平民 寺澤 松之助	1			明治13年 翻刻	1880	和紙袋綴本 刊本 22丁 12.5×8.7	明治3年 江木口撰		R4-03
諸家/他・120	李千麟唐詩選 序 卷一～四		1					和紙袋綴本 刊本 77丁 15.0×11.5		秋月家蔵書印 朱印	R4-03
諸家/他・120	李千麟唐詩選 序 卷五～七		1					和紙袋綴本 刊本 83丁 15.0×11.5			R4-03
諸家/他・121	元詩別裁集 卷三・四	姚培謙述齋	1					和紙袋綴本 刊本 44丁 13.5×9.0		秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・122	欽定國朝詩別裁集 十三・十四・十五	禮部尚書臣沈 德潛纂評	1					和紙袋綴本 刊本 118 丁 13.0×9.0		秋月家蔵書朱印	R4-04
諸家/他・125	名媛百絶	近藤軌四郎	1			明治27年 発行	1894	袋綴本 刊本 29丁 13.0×8.5	漢詩		R4-04
諸家/他・126	温公迂書	宋 司馬光著 藤澤南岳校	1			明治11年 発行	1879	和紙袋綴本 刊本 21丁 18.0×13.0		秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・127	古桐朗玉	福井清司 編	1			明治33年 発行	1899	袋綴本 刊本 36丁 20.0×13.0			R4-04
諸家/他・128	支那古文学略史 下	末松謙澄	1			明治20年 発行	1887	和紙袋綴本 刊本 33丁 18.0×12.0		秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・129	赤海採珠 完	衣笠完元 編 前田孝典 校	1			明治19年 発行	1886	和紙袋綴本 刊本 41丁 18.5×13.0		秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・130	詩書評釋	梅外長允文	1			明治14 (序)	1881	和紙袋綴本 刊本 43丁 20.0×11.8		秋月家蔵書 朱印	R4-04
諸家/他・131	其瀾遺稿 上巻	志摩 小川肅 寛卿著	1					和紙袋綴本 刊本 58丁 20.2×13.5			R4-04
諸家/他・132	印譜考略 巻下	郷 純造叔明氏 編纂 中井兼之資同 父評定	1			明治30 (跋)	1897	袋綴本 刊本 17丁 19.8×13.0			R4-04
諸家/他・133	海菴遺吟・成仁集・出石藩士多田立德傳		1			明治20・21 年発行	1887	和紙袋綴本 刊本 51丁 23.5×16.0	海菴＝多田立德 成仁集序は秋月種樹		R4-04
諸家/他・134	鎌倉管領九代記 巻二・三		1					和紙袋綴本 刊本 37丁 18.5×12.5			R4-04
諸家/他・134	鎌倉管領九代記 巻五		1					和紙袋綴本 刊本 24丁 18.5×12.5			R4-04
諸家/他・135	陶淵明集 上		1					和紙袋綴本 刊本 55丁 18.0×12.7			R4-04
諸家/他・135	陶淵明集 下		1			天保11 (跋)	1840	和紙袋綴本 刊本 50丁 18.0×12.7			R4-04
諸家/他・136	増補日本外史称呼訓 巻中	生駒貞幹	1			明治8年発行	1875	和紙袋綴本 刊本 46丁 18.0×13.0		秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・136	増補日本外史称呼訓 巻下	生駒貞幹	1			明治8年発行	1875	和紙袋綴本 刊本 40丁 18.0×13.0			R4-04
諸家/他・137	鐵鞭 巻一・二	岡本監輔 著 吉田章五郎校	1			明治34発行	1901	和紙袋綴本 刊本 48丁 19.5×13.0			R4-04
諸家/他・138	西学探源 巻一・二	岡本監輔編次	1			明治34年 発行	1901	和紙袋綴本 刊本 52丁 19.5×13.0			R4-04
諸家/他・138	西学探源 巻三・四	岡本監輔編次	1					和紙袋綴本 刊本 61丁 19.5×13.0			R4-04
諸家/他・139	□牙齋詩稿 巻二		1					和紙袋綴本 刊本 52丁 20.5×12.0			R4-04
諸家/他・139	□牙齋詩稿 巻三		1					和紙袋綴本 刊本 61丁 20.5×12.0			R4-04
諸家/他・139	□牙齋詩稿 巻四		1					和紙袋綴本 刊本 69丁 20.5×12.0			R4-04
諸家/他・140	大学章句中庸章句		1					和紙袋綴本 刊本 30丁 22.0×15.5		漢文体	R4-04
諸家/他・141	復堂遺稿	芳野長毅(復堂)	1			安政4(序)	1857	和紙袋綴本 刊本 34丁 21.5×15.5	序 秋月種樹 安政4 漢詩文	漢文体	R4-04
諸家/他・142	孝経註疏		1					和紙袋綴本 刊本 81丁 25.0×15.8		漢文体 田村氏蔵書印 朱印 田村義勝の朱書入れあり	R4-04
諸家/他・143	樊川詩集		1					和紙袋綴本 刊本 39丁 24.0×16.0		漢文体	R4-04
諸家/他・144	佐傳杜解補正 巻上・中・下		1					和紙袋綴本 刊本 88丁 24.5×16.0		漢文体 田村氏蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・145	毛詩註疏		1					和紙袋綴本 刊本 69丁 24.0×15.0		漢文体	R4-04
諸家/他・146	放翁詩鈔		1					和紙袋綴本 刊本 65丁 24.0×15.5		漢文体 高鍋清蔵書印 朱印 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・147	語学教授本 うひまなひ		2					和紙袋綴本 刊本 14丁 22.5×15.2			R4-04
諸家/他・148	詩稿	百溪主人	1					和紙袋綴本 47丁 23.5×15.5			R4-04
諸家/他・149	梶府餘蘊	百溪主人	1	明治17・18	1884 1885			和紙袋綴本 47丁 23.5×15.5			R4-04
諸家/他・150	莊子因 巻三	三山林雲銘西 仲評述	1					和紙袋綴本 刊本 62丁 24.5×16.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 欠落部分あり	R4-04
諸家/他・150	莊子因 巻五	三山林雲銘西 仲評述	1					和紙袋綴本 刊本 54丁 24.5×16.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 欠落部分あり	R4-04
諸家/他・150	莊子因 巻六	三山林雲銘西 仲評述	1					和紙袋綴本 刊本 52丁 24.5×16.0		秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・151	石湖先生詩鈔		1					和紙袋綴本 刊本 58丁 24.0×16.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 高鍋清蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・152	山谷先生詩鈔		1					和紙袋綴本 刊本 65丁 24.2×16.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 高鍋清蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・153	戦国評苑 巻一・二・三		1					和紙袋綴本 刊本 103 丁 26.0×14.5		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・153	戦国評苑 巻四・五		1					和紙袋綴本 刊本 94丁 26.0×15.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・153	戦国評苑 巻六・七		1					和紙袋綴本 刊本 118丁 26.0×15.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・154	春秋穀梁傳註疏 巻一・二・三・四		1					和紙袋綴本 刊本 92丁 24.0×15.5		漢文体	R4-04
諸家/他・154	春秋穀梁傳註疏 巻五・六・七・八		1					和紙袋綴本 刊本 105丁 24.0×15.5		漢文体	R4-04
諸家/他・155	御出生取斗帳	鈴木与兵衛	1	文化9	1812			和紙袋綴本 17丁 25.0×15.8	於嘉代殿妊娠から女児出産(8月)の取 計い記録 文化9年2月～11月	赤い蒲用紙	R4-04
諸家/他・156	制度通 巻十一・十二・十三	伊藤長胤	1					和紙袋綴本 76丁 23.0×16.5	巻11 築、経籍、釈尊 巻12 律令格式、兵制・軍団 巻13 五刑 他		R4-04
諸家/他・157	書經集註 巻四		1					和紙袋綴本 刊本 29丁 23.0×16.0		漢文体	R4-04
諸家/他・158	鍵前并足輕五段方瀬越辨書	大塚静	1			寛政3	1971	和紙袋綴本 30丁 25.0×17.0	兵法書 内田某所伝、佐久間某所伝	大塚 朱印	R4-04
諸家/他・159	禅海一瀾 巻之下	今北洪川	1			明治9	1876	和紙袋綴本 刊本 45丁 25.5×17.5	付 性誠論	漢文体 堤氏文庫 朱印	R4-04
諸家/他・160	折玄	広瀬淡窓	1			天保12	1841	和紙袋綴本 刊本 30丁 26.0×16.7		漢文体 田村氏蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・161	永嘉先生八面鋒 巻三・四・五・六		1					和紙袋綴本 刊本 41丁 25.5×16.5		漢文体	R4-04
諸家/他・161	永嘉先生八面鋒 巻十一・十二・十三		1			天保15	1844	和紙袋綴本 刊本 37丁 25.5×17.0		漢文体 財津蔵書 朱印	R4-04
諸家/他・162	月瀬記勝 坤	齋藤拙堂	1			明治14	1881	和紙袋綴本 刊本 25丁 26.0×18.0		漢文体	R4-04
諸家/他・163	筑山庭造伝 下	藤井慎斎	1			享保20	1735	和紙袋綴本 刊本 27丁 26.0×18.7	庭の絵図		R4-04
諸家/他・164	新撰年表		1			安政2(序)	1855	和紙袋綴本 刊本 58丁 26.0×18.0		小寺蔵書 朱印	R4-04
諸家/他・165	和漢年契	蘆屋山人	1			寛政9 安政2	1797 1855	和紙袋綴本 刊本 56丁 26.0×18.0		秋月家蔵書印 朱印 高鍋藩蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・165	和漢年契	蘆屋山人	1			寛政9 天保2	1797 1831	和紙袋綴本 刊本 54丁 26.0×17.7			R4-04
諸家/他・166	歩操軌範図解		1			安政2	1855	和紙袋綴本 刊本 42丁 26.0×18.7		財津蔵書 朱印	R4-04
諸家/他・167	歩操軌範初編 巻二・三		1					和紙袋綴本 刊本 46丁 26.0×18.0	生兵教練 生兵及百羅屯教練	財津蔵書 朱印	R4-04
諸家/他・167	歩操軌範初編 巻九・十		1					和紙袋綴本 刊本 49丁 26.0×18.0	教節 銃的照放(カクウチ)ノ法式	財津蔵書 朱印	R4-04
諸家/他・168	本義序例	山崎嘉	1					和紙袋綴本 刊本 69丁 26.2×18.5	倭板周易	漢文体	R4-04
諸家/他・169	毒語注心経	矢野平兵衛	1			明治24年 出版	1891	和紙袋綴本 刊本 35丁 25.3×17.8		漢文体	R4-04
諸家/他・170	尚書正文		1					和紙袋綴本 刊本 77丁 25.5×18.0	古文尚書 書集傳	漢文体 橘河辺文庫印 朱印	R4-04
諸家/他・171	孟子集註 巻三・四・五・六		1					和紙袋綴本 刊本 95丁 26.0×18.0		漢文体	R4-04
諸家/他・172	易経 下		1					和紙袋綴本 刊本 52丁 26.0×18.5		漢文体	R4-04
諸家/他・173	論語 巻三・四・五		1					和紙袋綴本 刊本 51丁 26.5×18.5		漢文体	R4-04
諸家/他・174	易学啓蒙 序・一・二		1					和紙袋綴本 刊本 36丁 26.3×18.5		漢文体	R4-04
諸家/他・174	易学啓蒙 巻三・四		1					和紙袋綴本 刊本 50丁 26.0×19.0		漢文体	R4-04
諸家/他・175	古今名家韻学淵海大成 巻一～六		1					和紙袋綴本 刊本 127丁 26.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・175	古今名家韻学淵海大成 巻七～十		1					和紙袋綴本 刊本 80丁 26.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・175	古今名家韻学淵海大成 巻十一・十二		1					和紙袋綴本 刊本 74丁 26.0×17.0		漢文体	R4-04
諸家/他・176	古今詩学韻府大成 巻一～六		1					和紙袋綴本 刊本 112丁 26.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・176	古今詩学韻府大成 巻七～九		1					和紙袋綴本 刊本 77丁 26.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・176	古今詩学韻府大成 巻十～十二		1					和紙袋綴本 刊本 59丁 26.0×17.0		漢文体	R4-04
諸家/他・176	古今詩学韻府大成 巻十三～十八		1					和紙袋綴本 刊本 114丁 26.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・176	古今詩学韻府大成 巻十九～二十四		1					和紙袋綴本 刊本 119丁 26.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印	R4-04
諸家/他・177	鴻爪詩集 上	日向 落合康子 載	1			安政5(序) 弘化2(序) 嘉永5(序)	1858 1845 1852	和紙袋綴本 刊本 38丁 25.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 小田郁印 朱印	R4-04
諸家/他・177	鴻爪詩集 中	日向 落合康子 載	1					和紙袋綴本 刊本 30丁 25.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 小田郁印 朱印	R4-04
諸家/他・177	鴻爪詩集 下		1					和紙袋綴本 刊本 34丁 25.0×17.0		漢文体 秋月家蔵書印 朱印 小田郁印 朱印	R4-04
諸家/他・178	神代正語 序・上巻	本居宣長(序)	1			寛政1(序)	1789	和紙袋綴本 刊本 45丁 26.0×18.3			R4-04
諸家/他・179	神代紀草牙 上		1			文化8(序)	1811	和紙袋綴本 刊本 62丁 26.5×18.0		「指小路 永友重」の書き入れあり	R4-04
諸家/他・179	神代紀草牙 中		1					和紙袋綴本 刊本 51丁 26.5×18.0		「指小路 永友重」の書き入れあり	R4-04
諸家/他・179	神代紀草牙 下		1			文化10 (跋) 文政2(跋)	1813 1819	和紙袋綴本 刊本 85丁 26.5×18.0		「指小路 永友重」の書き入れあり	R4-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・180	沙石集 卷一・二・三	無住道暁	1					和紙袋綴本 刊本 93丁 27.5×20.0	仏教的説話集		R4-04
諸家/他・180	沙石集 卷四・五	無住道暁	1					和紙袋綴本 刊本 79丁 27.5×20.0	仏教的説話集		R4-04
諸家/他・180	沙石集 卷六・七	無住道暁	1					和紙袋綴本 刊本 78丁 27.5×20.0	仏教的説話集		R4-04
諸家/他・180	沙石集 卷八・九・十	無住道暁	1					和紙袋綴本 刊本 92丁 27.5×20.0	仏教的説話集		R4-04
諸家/他・181	朝野群載 序・卷一・二・三	三善為康編	1					和紙袋綴本 85丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻四・五	三善為康編	1					和紙袋綴本 73丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻六・七	三善為康編	1					和紙袋綴本 79丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻八・九	三善為康編	1					和紙袋綴本 60丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻十一	三善為康編	1					和紙袋綴本 44丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻十二・十三	三善為康編	1					和紙袋綴本 83丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻十五・十六	三善為康編	1					和紙袋綴本 65丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻十七・二十	三善為康編	1					和紙袋綴本 62丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻二十一・二十二	三善為康編	1					和紙袋綴本 71丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・181	朝野群載 巻二十六・二十八	三善為康編	1					和紙袋綴本 73丁 26.7×19.2	平安時代の詩文・詔勅・宣命・対策・牒書・公文・史牒を類別編集した書。もと30巻うち9巻散逸	漢文体 明倫堂蔵書印 朱印 詞華堂 朱印 口庫 朱印	R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻一・二		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻三・四		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻五・六・七		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻八・九・十		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻十一・十二・十三		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻十四・十五		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻十六・十七		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻十八・十九・二十		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻二十一・二十二・二十三		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻二十四・二十五		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻二十六・二十七・二十八		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・182	大唐六典 巻二十九・三十		1					和紙袋綴刊本 26.0×18.8			R4-04
諸家/他・183	古訓古事記 上巻	長瀬貞幸	1			享和3年	1803	和紙袋綴刊本 79丁 26.3×18.7	古事記の本文に訓をつけたもの	大塚 朱印 表紙裏に考案斎蔵書の墨書 漢文体 表紙、コーナー	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十一	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	庚申～甲申	360～384			和紙袋綴刊本 107丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十二	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	乙丑～戊戌	385～398			和紙袋綴刊本 85丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十三	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	己亥～庚戌	399～410			和紙袋綴刊本 103丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 虫損 高鍋学校蔵口と表紙に朱書 漢文体	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十四	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	辛亥～丁卯	411～427			和紙袋綴刊本 115丁 26.5×19.5 2冊に分冊して修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十五	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	戊辰～庚寅	428～450			和紙袋綴刊本 129丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十六	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	辛卯～乙巳	451～465			和紙袋綴刊本 95丁26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十七	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	丙午～癸亥	466～483			和紙袋綴刊本 107丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十八	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	甲子～丙子	484～496			和紙袋綴刊本 86丁26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻二十九	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	丁丑～甲申	497～504			和紙袋綴刊本 82丁26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 高鍋学校蔵書と表紙裏に墨書 漢文体 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	乙酉～乙巳	505～525			和紙袋綴刊本 125丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 高鍋学校蔵書と表紙裏に墨書 漢文虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十一	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	丙午～壬子	526～532			和紙袋綴刊本 74丁26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十二	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	癸丑～丁卯	533～547			和紙袋綴刊本 92丁26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十三	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	戊辰～甲戌	548～554			和紙袋綴刊本 113丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十四	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	乙亥～辛卯	555～571			和紙袋綴刊本 104丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 尾欠か	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十五	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	壬辰～癸卯	572～583			和紙袋綴刊本 108丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十六	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	甲辰～丁卯	584～607			和紙袋綴刊本 236丁 26.5×19.5 2冊に分冊して修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 巻三十七	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	戊辰～戊寅	608～618			和紙袋綴刊本 135丁 26.5×19.5 2冊に分冊して修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷三十八	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	戊寅～甲 申	618～624			和紙袋綴刊本 100丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損大	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷三十九	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	乙酉～庚 子	625～640			和紙袋綴刊本 150丁 26.5×19.5 2冊に分冊し て修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十一	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	壬戌～丙 申	662～696			和紙袋綴刊本 146丁 26.5×19.5 2冊に分冊し て修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損 表紙に高宗・中 宗記載	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十二	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	丁酉～癸 丑	697～713			和紙袋綴刊本 139丁 26.5×19.5 2冊に分冊し て修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損 表紙に中宗・睿 宗・玄宗	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十三上	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	甲寅～丁 卯	714～727			和紙袋綴刊本 80丁26.5 ×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十三下	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	戊辰～丁 亥	727～747			和紙袋綴刊本 100丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十四	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	戊子～戊 戌	748～758			和紙袋綴刊本 142丁 26.5×19.5 2冊に分冊し て修復	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十五	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	己亥～戊 午	759～778			和紙袋綴刊本 234丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損大	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十六	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	己未～甲 子	779～784			和紙袋綴刊本 120丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損	R4-04
諸家/他・184	資治通鑑綱目 卷四十七	宋の朱熹選 明史官陳仁錫 評閱	1	甲子～庚 辰	784～800			和紙袋綴刊本 125丁 26.5×19.5	中国の代表的史籍「資治通鑑」により綱 目を作ったもの	明倫堂蔵書印 朱印 漢文 虫損 表紙に徳宗	R4-04
諸家/他・185	大学章句筆記	三宅重固著 鈴木由房(写)	1			享保18 天明2(写)	1733 1782	和紙袋綴 93丁 23.0× 17.2	朱熹が「大学章句」作る	高月鈴木文庫之印 朱印 漢文	R4-04
諸家/他・186	三宅先生大学章句筆記 乾	三宅重固	1			享保18	1733	和紙袋綴 104丁 24.0× 16.7	朱熹が「大学章句」作る	大塚 朱印 朱で読点 漢文	R4-04
諸家/他・187	朱子語類 卷七十三・七十四	宋の黎靖徳	1			文永7	1270	和紙袋綴刊本 68丁 27.2×18.3	朱熹とその門人らとの問答を集成し部 門別に分類	大塚 朱印 表紙「口口語類大令」 漢文	R4-04
諸家/他・188	古文真宝 乾		1			弘治15(文 亀2)(重刊 の跋)	1502	和紙袋綴刊本 71丁26.5 ×18.6	先秦以後宋迄の詩文の選集(宋の黄堅 編)	高月鈴木文庫之印 朱印 漢文 内題「魁本大字 諸儒箋解古文真寶後集巻之上後集」朱・黒で行 間・頭部に注書き	R4-04
諸家/他・188	古文真宝合解評林 巻之下	浪華書林(中蔵 版 毛利貞斎)	1			延宝7著	1679	和紙袋綴刊本 69丁 26.5×18.6	宋の黄堅編「古文真寶」	秋月佐渡守内鈴木理藤太守照房花押墨書 漢文 内題魁本大字諸儒箋解古文真寶巻之下	R4-04
諸家/他・189	魁本大字諸儒箋解古文真宝巻中下	二条山屋治右 衛門板刊	1			慶安2	1649	和紙袋綴刊本 80丁 26.8×19.4	宋の黄堅編「古文真寶」巻4～10	鈴木氏蔵書 墨書 漢文	R4-04
諸家/他・190	撰集抄(鈔)一		1			鎌倉時代		和紙袋綴刊本 72丁27.5 ×19.0	別名西行撰集抄 説話 巻1～3	漢字交じり仮名文 読み仮名付	R4-04
諸家/他・190	撰集抄(鈔)二		1			鎌倉時代		和紙袋綴刊本 96丁27.5 ×19.0	別名西行撰集抄 説話 巻4～6	漢字交じり仮名文 読み仮名付	R4-04
諸家/他・190	撰集抄(鈔)三		1			鎌倉時代		和紙袋綴刊本 70丁27.5 ×19.0	別名西行撰集抄 説話 巻7・8	漢字交じり仮名文 読み仮名付	R4-04
諸家/他・190	撰集抄 第六		1			鎌倉時代		和紙袋綴刊本 18丁26.4 ×18.2	別名西行撰集 説話	漢字交じり仮名文	R4-04
諸家/他・190	撰集抄 第九		1			鎌倉時代 慶安4	1651	和紙袋綴刊本 36丁27.5 ×19.0	別名西行撰集 説話	漢字交じり仮名文	R4-04
諸家/他・192	孟子集註鈔説 巻四上	仲欽敬甫(中村 翰齋)	1			宝永5(跋)	1708	和紙袋綴刊本 75丁 26.2×18.6		大塚 朱印 書林(京姉小堀堀川中川茂兵衛・弥兵 衛)頭部に注書墨書	R4-04
諸家/他・193	重改四書集註俚諺鈔	毛利貞斎 述	1			正徳5	1715	和紙袋綴刊本 21丁25.8 ×18.7	重改論語集註俚諺鈔巻之一朱熹集註 序説	「大塚氏」墨書 別名四書章句集註俚諺鈔 漢文 50巻50冊	R4-04
諸家/他・194	論語集註鈔説 巻三	仲欽敬甫(中村 翰齋)	1			宝永5(?)	1708 (?)	和紙袋綴刊本 58丁26.2 ×18.4	論語の注釈書	大塚 朱印 漢文 虫損 頭部に注書墨書 5巻5 冊の内	R4-04
諸家/他・194	論語集註鈔説 巻四	仲欽敬甫(中村 翰齋)	1			宝永5(?)	1708 (?)	和紙袋綴刊本 64丁26.2 ×18.4	論語の注釈書	大塚 朱印 漢文 虫損 頭部に注書墨書 5巻5冊 の内	R4-04
諸家/他・195	標注傳習録 上	三輪執斎(希賢 善庵)標注	1			正徳2(序)	1712	和紙袋綴刊本 82丁25.8 ×18.8	王陽明の語録 門人徐愛ら編	秋山蔵書朱印 漢文 朱で読点・書込	R4-04
諸家/他・195	標注傳習録 下	三輪執斎(希賢 善庵)標注	1			正徳2(序)	1712	和紙袋綴刊本 104丁 25.8×18.8	王陽明の語録 門人徐愛ら編	漢文 表紙裏付けコーナー、糸替	R4-04
諸家/他・196	春秋左氏傳		1					和紙袋綴刊本 79丁27.2 ×19.3	春秋経伝集解題公・柏公	漢文 朱で書込 編年体史書	R4-04
諸家/他・197	春秋左氏傳校本 巻三・四	尾張 秦鼎 校 本	1			荘公1～32 閔公1～2		和紙袋綴刊本 49丁25.3 ×18.2	荘公・閔公	漢文 編年体史書	R4-04
諸家/他・197	春秋左氏傳校本 巻五・六	尾張 秦鼎 校 本	1			僖公1～26		和紙袋綴刊本 69丁25.3 ×18.2	僖公	漢文 編年体史書	R4-04
諸家/他・197	春秋左氏傳校本 巻二十三・二十四	尾張 秦鼎 校 本	1			昭公13～ 22		和紙袋綴刊本 69丁25.3 ×18.2	昭公	漢文 編年体史書	R4-04
諸家/他・197	春秋左氏傳校本 巻二十五・二十六	尾張 秦鼎 校 本	1			昭公23～ 32		和紙袋綴刊本 61丁25.3 ×18.2	昭公	漢文 編年体史書	R4-04
諸家/他・197	春秋左氏傳校本 巻二十七・二十八	尾張 秦鼎 校 本	1			定公1～15		和紙袋綴刊本 51丁25.3 ×18.2	定公	漢文 編年体史書	R4-04
諸家/他・197	春秋左氏傳校本 巻二十九・三十	尾張 秦鼎 校 本	1			哀公1～27		和紙袋綴刊本 83丁25.3 ×18.2	哀公	漢文 編年体史書	R4-04
諸家/他・198	春秋左氏傳校本(再刻) 巻二十九・巻三十	尾張 秦鼎 校 本	1			哀公1～27		和紙袋綴刊本 82丁25.5 ×18.1	哀公	漢文 編年体史書 表紙糸替	R4-04
諸家/他・199	春秋経傳集解昭第四十三・昭五巻二十四		1			経13～22		和紙袋綴刊本 74丁 27.3×19.7		漢文 編年体史書 朱で行間に書込・頭部に墨書 で書込	R4-04
諸家/他・200	改訂音訓書經 上	蔡沈(序)	1			嘉定2(承 元3序)	1209	和紙袋綴刊本 33丁26.5 ×19.0	書集傳	漢文 山田・ 朱印	R4-04
諸家/他・200	改訂音訓書經 下		1					和紙袋綴刊本 54丁26.5 ×19.0	書集傳	漢文 山田・ 朱印	R4-04
諸家/他・201	經典餘師書經 全(六巻)	譚岐 漢百年 述 浪華書林五書 堂合刻	1			文化12 安政5再刻	1815 1858	和紙袋綴刊本 246丁 22.0×15.2 2冊に分冊	注釈書 読み下しあり	漢文 巻1～4と5～6に分冊	R4-04
諸家/他・201	經典餘師易經 全(七巻)	譚岐 漢百年 述 京攝書林六書 堂合刻	1			文化14 文政2(跋) 嘉永1再刻	1817 1819 1848	和紙袋綴刊本 241丁 22.0×15.2 2冊に分冊	注釈書 読み下しあり	漢文 巻1～4と5～7に分冊	R4-04
諸家/他・202	和版四書中庸集畧 巻上	山崎嘉(点)	1					和紙袋綴刊本 57丁 25.7×18.5		高月鈴木文庫之印 朱印 漢文	R4-04
諸家/他・203	書經集註 巻之四	蔡沈集傳	1					和紙袋綴刊本 72丁28.0 ×20.0		大塚 朱印 漢文 行間に書込墨書	R4-04
諸家/他・204	名臣言行録前集 巻一～三	張栻	1			崇禎戊寅 (寛永15)	1638	和紙袋綴刊本 74丁25.0 ×17.9	宋朱晦庵先生名臣言行録 明後学張栻 受先評閱 宋学頤令申・馬嘉植培元参 正	山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)山本氏蔵書朱 印 漢文 コーナー張替、表紙糸替	R4-04
諸家/他・204	名臣言行録前集 巻四～七	張栻	1			崇禎戊寅 (寛永15)	1638	和紙袋綴刊本 70丁25.0 ×17.9	宋朱晦庵先生名臣言行録 明後学張栻 受先評閱 宋学頤令申・馬嘉植培元参 正	山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)山本氏蔵書朱印 漢文 コーナー張替、表紙糸替	R4-04
諸家/他・204	名臣言行録後集 巻一～四		1					和紙袋綴刊本 103丁 25.0×17.9	宋朱晦庵先生名臣言行録 明後学張栻 受先評閱 宋学頤令申・馬嘉植培元参 正	山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)山本氏蔵書朱印 漢文 コーナー張替、表紙糸替	R4-04
諸家/他・204	名臣言行録後集 巻五～九		1					和紙袋綴刊本 85丁 25.0×17.9	宋朱晦庵先生名臣言行録 明後学張栻 受先評閱 宋学頤令申・馬嘉植培元参 正	山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)山本氏蔵書朱印 漢文 コーナー張替、表紙糸替	R4-04
諸家/他・204	名臣言行録後集 巻十～十四	京師書肆風月 荘左衛門発行	1			寛文7	1667	和紙袋綴刊本 75丁25.0 ×17.9	宋朱晦庵先生名臣言行録 明後学張栻 受先評閱 宋学頤令申・馬嘉植培元参 正	山崎不二夫氏寄贈(昭和31.5.31)山本氏蔵書朱印 漢文 コーナー張替、表紙糸替	R4-04
諸家/他・205	蘇文公文抄 巻一・二	歸安鹿門茅坤 批評	1					和紙袋綴刊本 44丁26.0 ×18.5	内題宋大家蘇文公文抄	漢文 官版	R4-04
諸家/他・205	蘇文公文抄 巻三～五	歸安鹿門茅坤 批評	1					和紙袋綴刊本 51丁26.0 ×18.5	内題宋大家蘇文公文抄	漢文 官版	R4-04
諸家/他・205	蘇文公文抄 巻六・七	歸安鹿門茅坤 批評	1					和紙袋綴刊本 44丁26.0 ×18.5	内題宋大家蘇文公文抄	漢文 官版	R4-04
諸家/他・205	蘇文公文抄 巻八～十	歸安鹿門茅坤 批評	1			安政4刊	1857	和紙袋綴刊本 59丁26.0 ×18.5	内題宋大家蘇文公文抄	漢文 官版	R4-04
諸家/他・206	貞觀政要 巻之一		1	貞觀	627～650	成化1(寛 正6)	1465	和紙袋綴刊本 64丁27.0 ×19.8	唐の太宗と臣下の問答君臣の事跡を分 類編集 論君道・政体	興野藤隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞觀政要 巻之二		1	貞觀	627～650			和紙袋綴刊本 100丁27.0 ×19.8	論任賢・求諫・納諫	興野藤隆章蔵朱印 漢文	R4-04

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・206	貞親政要 卷之三		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 74丁27.0×19.8	論君臣鑑戒・忤官・封建・誠信	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之四		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 58丁27.0×19.8	論太子諸王定分・尊敬師傅・教戒太子諸王・規誅太子	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之五		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 55丁27.0×19.8	論仁義・忠義・孝友・公平	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之六		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 56丁27.0×19.8	論倭約・謙謙・仁憫・慎所好・慎言語・杜讒邪・論慘過・奢縱・貪鄙	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之七		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 42丁27.0×19.8	崇儒学・論文史・論礼楽	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之八		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 42丁27.0×19.8	論務農・論赦令・論賞賈・并興亡	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之九		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 42丁27.0×19.8	議征伐・議安辺	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・206	貞親政要 卷之十		1	貞親	627～650			和紙袋綴刊本 42丁27.0×19.8	論行幸・論歌詠・論災祥	興野蔭隆章蔵朱印 漢文	R4-04
諸家/他・207	神代紀草牙 上	栗田土満 六書堂合梓	1			文化7(序)	1810	和紙袋綴刊本 62丁25.5×18.0	日本書紀注釈書 読み仮名付	高月鈴木文庫之印 朱印 明治三年六月高月鈴木氏蔵の墨書	R4-04
諸家/他・207	神代紀草牙 中		1					和紙袋綴刊本 51丁25.5×18.0	日本書紀注釈書	高月鈴木文庫之印 朱印明治三年六月高月鈴木氏蔵の墨書	R4-04
諸家/他・207	神代紀草牙 下	石川依平(跋)・大江真船(跋)	1			天保14文化10(跋) 文政2(跋)	184318131819	和紙袋綴刊本 85丁25.5×18.0	日本書紀第二 注釈書	高月鈴木文庫之印 朱印明治三年六月高月鈴木氏蔵の墨書	R4-04
諸家/他・208	神代正語 中	本居宣長	1					和紙袋綴刊本 29丁26.3×18.5	国学 須佐之男命たしなみ之段～大年神羽山戸神の御子たちのくだり	高月鈴木文庫之印 朱印明治三年六月高月鈴木氏蔵の墨書	R4-04
諸家/他・208	神代正語 下	本居宣長 横井千秋(跋) 板元尾張永楽 屋東四郎	1					和紙袋綴刊本 58丁26.3×18.5	国学 国むけ御はかりの段～菟茸草草不合命の御子たちのくだり	高月鈴木文庫之印 朱印 表紙・コーナー替	R4-04
諸家/他・209	世説新語補	李卓吾批点	1			天正14(序)	1586	和紙袋綴刊本 74丁27.2×18.0	後漢から東晋に至る貴族・学者・文人・僧侶等の徳行・言語・文学などの逸話を分類収録書の補	高鍋明倫堂蔵書と墨書 漢籍	R4-04
諸家/他・210	女大学 寶箱	貝原易軒述	1			文久3	1863	和紙袋綴刊本 68丁25.0×17.9	女子の修身・齊家の心得をかなて記す		R4-04
諸家/他・211	題不明(女中四徳教訓 ほか)		1					和紙袋綴刊本 52丁25.8×18.5	女子の教養書 女中四徳教訓・女善悪書日記・花鳥目附絵尽など		R4-05
諸家/他・212	世説箋本 卷十五・十六		1					和紙袋綴刊本 49丁25.5×17.8		漢籍	R4-05
諸家/他・213	明德記 上		1	明德2～3	1391～2	寛永9	1632	和紙袋綴刊本 72丁26.6×19.8	明德の乱の軍記	明倫堂蔵書印 朱印 高鍋藩用書と墨書	R4-05
諸家/他・214	感興考註	朱熹作 山崎嘉考註	1			明暦2(序) 明暦4刊	1658	和紙袋綴刊本 32丁27.8×19.7	漢詩	高月鈴木文庫之印 朱印 文化七庚午歳秋七月下旬学校ヨリ買調之 鈴木房蔵 欄外に書込	R4-05
諸家/他・215	玉くしげ(櫛笥) 卷四～七	林義端(文会堂)	1			元禄8	1695	和紙袋綴刊本 102丁26.0×18.5	浮世草子	明倫堂蔵書印 口印	R4-05
諸家/他・216	南嶺子 卷一	多田義俊	1			寛延2(序) 寛延3(刊)	1748, 1750	和紙袋綴刊本 25丁26.0×17.8	隨筆	城氏朱印 慎獨舎城景正蔵と墨書	R4-05
諸家/他・216	南嶺子 卷二	多田義俊	1			寛延3	1750	和紙袋綴刊本 27丁26.0×17.8	隨筆	城氏朱印 慎獨舎蔵と墨書	R4-05
諸家/他・216	南嶺子 卷三	多田義俊	1			寛延3	1750	和紙袋綴刊本 20丁26.0×17.8	隨筆	城氏朱印 慎獨舎蔵と墨書	R4-05
諸家/他・216	南嶺子 卷四	多田義俊	1			寛延3	1750	和紙袋綴刊本 22丁26.0×17.8	隨筆	城氏朱印 城氏と墨書	R4-05
諸家/他・217	職原鈔 卷之二	北畠親房	1			暦応3(執筆)	1340	和紙袋綴刊本 29丁27.8×20.1	中世公家の官職について	高月鈴木文庫之印 朱印 朱で書込 漢文	R4-05
諸家/他・218	中庵章句	朱熹章句	1			文治5(序) (淳熙己酉)	1189	和紙袋綴刊本 42丁26.9×19.4	注釈	漢籍 前・後欠	R4-05
諸家/他・219	三體詩 卷一		1			延慶2(序) (至大2)	1309	和紙袋綴刊本 70丁27.0×19.5	唐代の漢詩 内題増註唐賢絶句三體詩法	朱書込 漢籍	R4-05
諸家/他・219	三體詩 卷二		1					和紙袋綴刊本 44丁27.0×18.5	増註唐賢七言律詩三體家法 唐代の漢詩	虫損 朱読点 漢籍	R4-05
諸家/他・220	古語拾遺	斎部広成 大友重堅(後書)	1	神代		大同2、文化4(求板) 文久2(精選)	807・1807・1862	和紙袋綴刊本 23丁25.1×18.1	斎(忌)部氏に伝えられた古伝承の記録、斎部氏の悲訴状	大塚 朱印 漢文 振り仮名付	R4-05
諸家/他・221	本朝櫻陰比事 卷一	井原西鶴	1			元禄2	1689	和紙袋綴刊本 24丁25.5×18.6	浮世草子	城氏朱印 虫損 五冊之内新小路城と墨書	R4-05
諸家/他・221	本朝櫻陰比事 卷二	井原西鶴	1			元禄2	1689	和紙袋綴刊本 23丁25.5×18.6	浮世草子	城氏朱印 虫損 五冊之内新小路口口と墨書	R4-05
諸家/他・221	本朝櫻陰比事 卷三	井原西鶴	1			元禄2	1689	和紙袋綴刊本 21丁25.5×18.6	浮世草子	城氏朱印 五冊之内城氏と墨書	R4-05
諸家/他・221	本朝櫻陰比事 卷四	井原西鶴	1			元禄2	1689	和紙袋綴刊本 24丁25.5×18.6	浮世草子	城氏朱印 五冊口と墨書	R4-05
諸家/他・221	本朝櫻陰比事 卷五	井原西鶴	1			元禄2	1689	和紙袋綴刊本 20丁25.5×18.6	浮世草子	城氏朱印 五冊之内城氏口と墨書	R4-05
諸家/他・222	堯厯	山崎敬義(間齋(序) 武村市兵衛刊行)	1			寛文8	1668	和紙袋綴刊本 83丁27.0×19.2	厯 寺社奉行井上真正利編 尚書典典第8節並に祭伝を挙げて本文となし厯法を述べる	大塚 朱印 漢籍	R4-05
諸家/他・223	山陽遠稿 詩一	頼山陽著	1			天保12(刊)	1841	和紙袋綴刊本 42丁25.4×17.6	漢詩文集 卷一～三	小林氏蔵 朱印	R4-05
諸家/他・223	山陽遠稿 文二	頼山陽著	1					和紙袋綴刊本 39丁25.4×17.6	漢詩文集 卷三～四	小林氏蔵 朱印	R4-05
諸家/他・223	山陽遠稿 文三	頼山陽著	1					和紙袋綴刊本 42丁25.4×17.6	漢詩文集 卷五～六	小林氏蔵 朱印	R4-05
諸家/他・223	山陽遠稿 文五(詩)	頼山陽著	1					和紙袋綴刊本 46丁25.4×17.6	漢詩文集 卷四～六	小林氏蔵 朱印	R4-05
諸家/他・223	山陽遠稿 詩三	頼山陽著	1					和紙袋綴刊本 28丁25.4×17.6	漢詩文集 卷七 拾遺 山陽先生行状	小林氏蔵 朱印 虫損	R4-05
諸家/他・224	山陽先生題跋 卷上下	頼山陽著 児玉慎編	1					和紙袋綴刊本 40丁25.0×17.8	漢詩	尚友堂朱印 阿満と墨書 虫損	R4-05
諸家/他・225	江氏自詩綜	長井江	1			大正6(発行)	1917	和紙袋綴刊本 19丁25.3×18.0	漢詩	表紙系替	R4-05
諸家/他・226	松浦左用媛石魂録 前編二	曲亭馬琴編 東京金玉出版	1			文化4(創作)	1807	和紙袋綴刊本 26丁22.8×15.5	物語	堤氏文庫 朱印 振り仮名付	R4-05
諸家/他・226	松浦左用媛石魂録 後編一	曲亭馬琴(序)	1			文政10(序)	1827	和紙袋綴刊本 24丁22.8×15.5	物語	堤氏文庫 朱印 振り仮名付	R4-05
諸家/他・227	雲井龍雄全集	麻績斐々・櫻井美成編	1			明治27	1894	和紙袋綴刊本 71丁22.0×15.2	和歌・漢詩散文文集	宮崎縣宮崎上別府若山蔵穴 朱印 表紙系替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・228	宋四名家詩(蘇東坡詩鈔)	清周之麟・柴川選 日本朝川・松井校	1			元禄6(叙)	1693	和紙袋綴刊本 27丁26.0×18.2	漢詩	財津蔵書 朱印 晩晴堂蔵書記・高鍋図書館蔵書 朱印	R4-05
諸家/他・229	官板中外新報 一～十一	應思理選 萬屋兵四郎発行	11	安政5～文久1	1858～1861	文久2頃	1862	和紙袋綴刊本 7～9丁22.7×15.8 11冊	米国人医師がキリスト教普及のため奉次で発行した華字新聞、中国情勢を知るための翻刻発刊	1～12号の内9号欠 5号は6丁流失 1～6は高鍋上小学朱印、7～11は明倫堂蔵書印朱印 漢文	R4-05
諸家/他・230	追憶録	有吉忠一	1			大正8	1919	和紙袋綴刊本 25丁22.0×14.8	父忠良の伝記	漢文	R4-05
諸家/他・231	名節録 卷之一	岡田僑鴨里	1			嘉永3(自序)	1850	和紙袋綴刊本 40丁25.7×18.4	聖臣～徳川始の武士72名の功名記 3巻	白楽邸荘衣笠氏図書朱印 山崎不二夫氏寄贈(昭和31年5月31日) 表紙替	R4-05
諸家/他・231	名節録 卷之三	岡田僑鴨里	1			慶応2刊	1866	和紙袋綴刊本 32丁25.7×18.4	聖臣～徳川始の武士72名の功名記 3巻	白楽邸荘衣笠氏図書朱印 山崎不二夫氏寄贈(昭和31年5月31日)	R4-05
諸家/他・232	近思録 卷一・卷二	浪華書林加賀屋善蔵梓	1			文化9	1812	和紙袋綴刊本 90丁22.3×15.6	朱子学漢籍 宋の朱熹と呂祖謙の編集 建安葉采集解 道體類・為学類		R4-05
諸家/他・232	近思録 卷六～卷九	浪華書林加賀屋善蔵梓	1			文化9	1812	和紙袋綴刊本 62丁22.3×15.6	家道類・出処類・治體類・治法類	松嶋氏平左衛門墨書	R4-05
諸家/他・232	近思録 卷十～卷十四	浪華書林加賀屋善蔵梓	1			文化9	1812	和紙袋綴刊本 69丁22.3×15.6	政治類・教学類・警戒類・弁異端類・觀駁賢類		R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 卷一	頼裏子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡学校	1	天慶2～建久7	939～1196	文政10(著) 天保15(序)	18271844	和紙袋綴刊本 63丁22.4×15.3	引用書目・源氏前記平氏	廣田蔵書と墨書 漢文体 歴史書	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 卷二	頼裏子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡学校	1	安和2～寿永2	968～1183	文政10(著) 天保15(序)	18271844	和紙袋綴刊本 34丁22.4×15.3	源氏正記源氏上	漢文体 歴史書	R4-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・233	校刻日本外史 巻五・六	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	1	元弘1～元中2	1331～1385	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 66丁22.4×15.3	新田氏前記楠氏・新田氏正記新田氏	漢文体 歴史書	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻七～九	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	1	元弘1～慶長2	1331～1597	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 79丁22.4×15.3	足利氏正記足利氏上・足利氏中・足利氏下	柿原蔵書 朱印 慶応元年正月元日柿原吉彦高鍋道具小路と墨書 漢文体 歴史書	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻十・十一	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	2	文明8～元和9	1478～1623	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 66丁22.4×15.3	足利氏後記後北条氏・武田氏・上杉氏	2冊内1冊(柿原蔵書朱印 清水氏蔵書朱印 明治十二年九月三日 明治十七年十二月二十八日宮崎川原町所有柿原正一と墨書)	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻十二・十三	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	1	永正8～天正1	1511～1573	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 57丁22.4×15.3	足利氏後記毛利氏・徳川氏前記織田氏上	漢文体 歴史書	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻十四・十五	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	1	天正2～天正19	1573～1591	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 70丁22.4×15.3	徳川氏前記織田氏下・豊臣氏上	漢文体 歴史書	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻十六・十七	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	1	天正19～元和1	1591～1615	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 69丁22.4×15.3	徳川氏前記豊臣氏中・豊臣氏下	漢文体 歴史書 永井朱印	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻十八～二十	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	1	寛正6～慶長3	1465～1598	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 77丁22.4×15.3	徳川氏正記徳川氏一・徳川氏二・徳川氏三	表紙・1頁欠 漢文体 歴史書	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻二十一	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	2	慶長4～慶長18	1599～1613	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 50丁22.4×15.3	徳川氏正記徳川氏四	一冊は清水氏蔵書 朱印(48～50頁欠)丸黒印	R4-05
諸家/他・233	校刻日本外史 巻二十二	頼義子成(山陽)著 松平氏蔵版 保岡學校	2	慶長19～	1614～	文政10(著) 天保15(序)	1827 1844	和紙袋綴刊本 45丁22.4×15.3	徳川氏正記徳川氏五	一冊は柿原蔵書 朱印 清水氏蔵書朱印の上に柿原蔵書朱印押印(弘化元 傳輪堂蔵板)1冊は明治11年松平直方出版	R4-05
諸家/他・234	日本外史補 巻之六	岡田氏蔵版	1	建久4～慶長16	1193～1611			和紙袋綴刊本 29丁25.6×18.5	島津氏	漢文体 句返 虫損	R4-05
諸家/他・234	日本外史補 巻之七	岡田氏蔵版	1	建久4～寛永19	1193～1642			和紙袋綴刊本 35丁25.6×18.5	大友氏附立花氏	漢文体 句返	R4-05
諸家/他・235	毒語注心経	白隠和尚著 東嶺和尚註解 東観音寺蔵版 鈴木衣山出版	1			宝暦10(跋) 明治16(刊)	1760 1883	和紙袋綴刊本 38丁25.8×19.0	別名盤若心経毒語注	漢文体 句送返 堤氏・山城八幡・福岡・口夢 朱印	R4-05
諸家/他・236	義人録 巻之二	今治清碧梧菴蔵版 室鳩巢著 平野孝米跋 大坂河内屋助助発行	1			慶応3(跋)	1867	和紙袋綴刊本 32丁25.2×17.8	別名赤穂義人録 赤穂浪士賞揚の立場から事件を扱った代表的書	柿原蔵書・村橋 朱印 漢文体 句送返 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・237	元禄曾我物語(東海道敵討 巻二)	都の錦著 江戸外屋五郎右衛門書林	1			元禄15	1702	和紙袋綴刊本 17丁26.5×18.3	浮世草子	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・237	元禄曾我物語(東海道敵討 巻六)	都の錦著 江戸外屋五郎右衛門書林	1			元禄15	1702	和紙袋綴刊本 17丁26.5×16.3	浮世草子	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・238	武門要鑑鈔筆記	上杉謙信傳 沢崎景実編? 佐久間頼母?	1					和紙袋綴模帳 65丁14.8×22.2	兵法 巻十備押傳・巻十一陣取傳・巻十二城取傳・巻十三備立傳・巻十四手配傳	高月鈴木文庫之印 朱印 傷み激しい	R4-05
諸家/他・239	武門要鑑鈔筆記	内田助左衛門子謙談 大塚太郎静氏筆	1			文化14 万延2加筆	1817 1861	和紙袋綴 62丁 24.8×17.3	兵法書	大塚 朱印 カタカナ 小字 数回にわたる講談を筆記	R4-05
諸家/他・240	西洋新書 二	瓜生政和編輯 寶集堂発兌	1			明治5序	1872	和紙袋綴刊本 41丁22.4×15.8	華盛頓府市中の説	若山朱印 宮崎県郷校倉岡 朱印 挿絵・振り仮名付 北亜米利加州合衆国図	R4-05
諸家/他・240	西洋新書 三	瓜生政和編輯 寶集堂発兌	1			明治5序	1872	和紙袋綴刊本 39丁 22.4×15.8	亜米利加州の説并開闢のはなし	若山朱印 宮崎県郷校倉岡 朱印 挿絵・振り仮名付 亜米利加地図	R4-05
諸家/他・241	和漢名数 坤	洛陽書堂長尾氏抄行 貝原益軒編	1			元禄5	1692	和紙袋綴刊本 54丁 22.4×16.5	語彙 本朝帝王・日本帝王世系・本朝年号・藤氏四祖他	三冊ノ内瀬川と墨書 頁が91頁より始まる 表紙裏に西尾大手前町持主川住行政と墨書 漢文体	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 二	貝原好古編	1					和紙袋綴刊本 52丁 22.8×16.0	辞書 歳時門第三・居所門第四・神祇門第五 十幹・十幹異名・十二枝・十二枝異名など	瀬川 朱印 漢文体 別の朱印破損	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 三	貝原好古編	1					和紙袋綴刊本 26丁 22.8×16.0	辞書 人物門第六・身体門第七・親戚門第八	瀬川 朱印 漢文体 別の朱印破損	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 六	貝原好古編	1					和紙袋綴刊本 29丁 22.8×16.0	辞書 畜獸門第十四・禽鳥門・龍魚門・蟲介門・米穀門・飲食門・果蔬門	瀬川 朱印 漢文体 別の朱印破損	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 七	貝原好古編	1					和紙袋綴刊本 27丁 22.8×16.0	辞書 菜蔬門・草木門・数量門附物品数称	瀬川 朱印 漢文体 別朱印	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 八	貝原好古編 西峯散人跋 大井七郎兵衛梓	1			元禄1(跋) 元禄7(刊)	1688 1694	和紙袋綴刊本 31丁 22.8×16.0	辞書 言語門附雑類 伊呂波本字・方板字伊呂波八本字・俗俗誤訓義字・倭俗制字・二字相似	瀬川 朱印 漢文体 別朱印	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 一上	貝原好古編	1			元禄1成 元禄7刊	1688 1694	和紙袋綴刊本 50丁 22.4×16.4	辞書 天文門・地理門上	瀬川 朱印 前者蔵書印破損	R4-05
諸家/他・242	和爾雅 一下		1					和紙袋綴刊本 49丁 22.4×16.4	辞書 地理門下 日本国名所・付外国名	瀬川 朱印 前者蔵書印破損	R4-05
諸家/他・243	雪夜清話	青山佩弦著 水戸書林東口樓蔵	1			慶応2(跋)	1866	和紙袋綴刊本 32丁 25.5×17.5	赤穂四十七士伝を著しその後雑語を録す	柿原蔵書 朱印 本多蔵書・村橋朱印 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・244	江氏周易下経時義	長井江著 長井早苗発行	1			大正6	1917	和紙袋綴刊本 58丁 25.5×18.2	周易(占い)に関する書 江氏自詩綜附刊	漢文体 活字	R4-05
諸家/他・245	遠思樓詩鈔 二編 乾	広瀬淡窓著 門人劉轟若鳳校	1					和紙袋綴刊本 25丁 22.1×15.0	漢詩	漢文体 但見朱印	R4-05
諸家/他・245	遠思樓詩鈔 二編 坤	広瀬淡窓著 門人劉轟若鳳校	1			嘉永2(跋)	1849	和紙袋綴刊本 28丁 22.1×15.0	漢詩	漢文体 但見朱印	R4-05
諸家/他・245	遠思樓詩鈔 三編 乾	広瀬淡窓著 男孝編纂	1					和紙袋綴刊本 41丁 22.1×15.0	漢詩 淡窓小品(一名鼠蟻餘蔬)	漢文体 但見朱印 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・245	遠思樓詩鈔 三編 坤	広瀬淡窓著 男孝編纂	1					和紙袋綴刊本 43丁 22.1×15.0	漢詩 淡窓小品(一名鼠蟻餘蔬)	漢文体 但見朱印 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・246	俗神道大意 一	平田篤胤講説 門人等筆記	1			万延1	1860	和紙袋綴刊本 44丁 23.4×16.1	文化8年講述 代代の天皇に伝わる政治を神道とし他の神道を俗神道と呼ぶ 平田篤胤は江戸時代の国学者	橋河辺文庫印 朱印 漢字片仮名文	R4-05
諸家/他・246	俗神道大意 二	平田篤胤講述 門人等筆記	1					和紙袋綴刊本 49丁 23.4×16.1	文化8年講述 代代の天皇に伝わる政治を神道とし他の神道を俗神道と呼ぶ	橋河辺文庫印 朱印 漢字片仮名文 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・246	俗神道大意 四	平田篤胤講説 門人等聞書	1					和紙袋綴刊本 45丁 23.4×16.1	文化8年講述 代代の天皇に伝わる政治を神道とし他の神道を俗神道と呼ぶ	橋河辺文庫印 朱印 漢字片仮名文	R4-05
諸家/他・247	標註訓譯水滸傳 七	東肥平岡龍城譯 近世漢文学会発行	1			大正4	1915	和紙袋綴刊本 164頁 21.9×15.1	張都監水滸驚書樓武行者夜走蜈蚣嶺～石村草村店寄書小李広梁山射雁	漢文体 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・247	標註訓譯水滸傳 八	東肥平岡龍城譯 近世漢文学会発行	1			大正4	1915	和紙袋綴刊本 144頁 21.9×15.1	梁山泊呉用拳戴総掲陽嶺宋江逢李俊～滄陽樓宋江吟反詩梁山泊戴宗佯假信	漢文体 表紙糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・248	報徳学内記	福住正兄 相模報徳海福運社蔵版	1			明治37	1904	和紙袋綴刊本 41丁 22.7×15.0	福住正兄は二宮尊徳の高弟 道徳と経済の融合の報徳学	本の下部角欠損 表紙張替糸替、コーナー張替	R4-05
諸家/他・249	蔵春閣詩存稿 下巻	東歌治 陽明学会発行	1			大正15	1926	漢詩 付録幼年詩文稿	漢詩 付録幼年詩文稿	表紙張替糸替、コーナー糸替	R4-05
諸家/他・250	書類目録		1	明治11～明治25	1878～1892			和紙袋綴 42丁 24.2×18.0	農商関係 学校関係 衛生関係 兵事関係 役所の書類台帳	宮崎県児湯郡役所蔵紙 第参号	R4-05
諸家/他・252	玉鉢百首	本居宣長詠	1			天明7(成)	1787	和紙袋綴 22丁 22.9×15.3	和歌 漢字読み仮名付	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・253	公事根源聰書		1					和紙袋綴 22丁 22.9×15.3	室町時代の室中を中心とした年中行事のあり方とその根源を記す 一条兼良者の聞書等	高月鈴木文庫之印 朱印 写本	R4-05
諸家/他・254	婚礼推口記 写	水嶋ト也	1			元禄15	1702	和紙袋綴 25丁 23.8×16.8	水嶋礼法 家伝	高月鈴木文庫之印 朱印(2種類) 口(口に東 とう)	R4-05
諸家/他・254	婚礼推口記 写	水嶋ト也之成	1			宝永7	1710	和紙袋綴 41丁 23.8×16.8	水嶋礼法 小笠原の御家流 書名の説明 家伝	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・256	講習録	大塚静氏	1			天明3	1783	和紙袋綴 44丁 24.5×17.9	山口最佐答問 山田清春・山内貞昌答問 四書に関する問答など	大塚 朱印 大坂に遊居中、諸賢と弁論す	R4-05
諸家/他・257	城先生雜錄寄紙集綴		1	貞観17～ 慶長2	875～1597			和紙袋綴 37丁 24.3×16.0	秋月氏野史鈔・得門純友征討記抄・日向集記抄他	野紙(2丁 京都中学野紙) 漢文体 虫損	R4-05
諸家/他・259	文章筌蹄	柳維安	1					文ヲ習フケ 文ノカキナラヒカタ 文ヲ作りナラフニマツウキマヘテヨキ大スシ	高月鈴木文庫之印 朱印 写本 漢字片仮名 語学 野紙	高月鈴木文庫之印 朱印 写本 漢字片仮名 語学 野紙	R4-05
諸家/他・260	天保三十六家絶句 中	三上恒(九如)編	1					和紙袋綴刊本 49丁 22.4×15.5	柳湾・摩島・貴名・中島・懸斎・鍾軒・鷺江・網洲・大隱・招月・菴里・南山・朴斎の13名 漢詩	秋月家蔵書印 朱印 送込 頭部に注書墨書	R4-05
諸家/他・261	山本真田勘功記 後編七巻・八巻	龍児軒	1					和紙袋綴 56丁 24.5×16.4	上杉謙信・武田信玄の戦 雑史	柿原蔵書 朱印 漢字仮名 読み仮名付 写本 拾冊之内川崎氏と墨書	R4-05
諸家/他・263	服忌令 及 喪祭喪服	鈴木翔房撰	1			慶応4以降	1868	和紙袋綴 77丁 24.8×17.0		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・264	忌服養実弁解	大瀧政明撰	1					和紙袋綴 30丁 24.8×17.0		高月鈴木文庫之印 朱印 忌服令掛大御目付の藩士内職にて書を求める 翔房	R4-05
諸家/他・265	柿本朝臣人麻呂歌集之歌	賀茂真淵 長瀬真幸(後書吉)	1			文政7(成)	1824	和紙袋綴刊本 26丁 25.0×18.2	注釈書 巻四・巻五	高鍋藩 朱印	R4-05
諸家/他・266	蔵名山房雑著集 一	岡千仞鹿門撰	1			明治14	1881	和紙袋綴刊本 39丁 20.2×12.2	東施詩記(漢詩)・使會津記(日録・明治2)	漢文体 句返 表紙張替、コーナー替	R4-05
諸家/他・266	蔵名山房雑著集 二	岡千仞鹿門撰	1			明治14	1881	和紙袋綴刊本 35丁 20.2×12.2	萬年日録(嘉永6)・熱海游記(安政6)	漢文体 句返 表紙張替、コーナー替	R4-05
諸家/他・267	発句		1					和紙袋綴 33丁 23.2×15.0	連歌 松本・弘実・堺卯・遊興・千櫻他16名	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・268	俳諧歌結果集		1					和紙袋綴刊本 53丁 22.5×15.2	連歌	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・269	菅贈太政大臣歌集	藤原道真詠 仲田顕忠編 東宰府蔵梓	1					和紙袋綴刊本 7丁 22.7×15.5		堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・270	連歌		1					和紙袋綴刊本 26丁 22.7×15.9	新甫・月栖・布文・親堂・立宇・東川他	堤氏文庫 朱印 堤琴雪と墨書 文久元酉五月鳴立沢庵口より到来、御供下向二付御小休相成所之通二墨書	R4-05
諸家/他・271	俳諧歌織瀧集 二		1					和紙袋綴刊本 14丁 22.3×15.5	撰者 瀑布下千丈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・271	俳諧歌織瀧集 八		1					和紙袋綴刊本 17丁 22.5×15.5	撰者 瀑布下千丈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・271	俳諧歌織瀧集 九		1					和紙袋綴刊本 14丁 22.5×15.5	撰者 織月亭嶋人	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・272	俳諧歌織瀧後集 一		1					和紙袋綴刊本 26丁 22.5×15.3	撰者 瀑布下千丈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・272	俳諧歌織瀧後集 四		1					和紙袋綴刊本 18丁 22.5×15.5	撰者 狂歌堂嶋人 五之巻 六之巻	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・272	俳諧歌織瀧後集 六		1					和紙袋綴刊本 20丁 22.5×15.5	撰者 狂歌堂嶋人	高月鈴木文庫之印 朱印 「俳諧歌世継百首」の題簽五枚混入 虫損	R4-05
諸家/他・273	俳諧歌実百首 三		1					和紙袋綴刊本 10丁 22.3×15.5	撰者 瀑布下千丈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・273	俳諧歌実百首 五・六		1					和紙袋綴刊本 16丁 22.5×15.5	撰者 瀑布下千丈	高月鈴木文庫之印 朱印 虫損	R4-05
諸家/他・274	月並俳諧風俗集 一		1					和紙袋綴刊本 11丁 22.5×15.5	梅長堂老主撰	高月鈴木文庫之印 朱印 後表紙裏に「天保六年二月点メ」あり	R4-05
諸家/他・275	俳諧歌風俗集 四		1					和紙袋綴刊本 10丁 22.5×15.5	梅長堂老主撰	高月鈴木文庫之印 朱印 後表紙裏に「天保六年口点メ」あり 虫損	R4-05
諸家/他・275	俳諧歌風俗集 五		1			天保6	1835	和紙袋綴刊本 10丁 22.5×15.5		高月鈴木文庫之印 朱印 後表紙裏に「天保六年六月附五首点メ」あり	R4-05
諸家/他・276	俳諧歌三都子百首 八		1					和紙袋綴刊本 17丁 22.3×15.7	選者狂歌堂嶋人	高月鈴木文庫之印 朱印 虫損	R4-05
諸家/他・276	俳諧歌三都子百首 九・十		1					和紙袋綴刊本 31丁 22.3×15.7		高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・277	俳諧歌世継百首 三		1					和紙袋綴刊本 25丁 22.2×15.5	撰者瀑布下千丈	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・278	条約書		1			明治3	1870	和紙袋綴刊本 51丁 22.0×15.3	明治元年九月二十八日神奈川において取結たる日本と西班牙国と和親貿易通航する為の条約		R4-05
諸家/他・279	九州軍記 巻七		1	天正14	1586			和紙袋綴刊本 16丁 25.0×17.7	由布菊丸仇伐並松田幽斎夜討手段之事・島津攻岩屋城事並高橋紹運死節他	虫損	R4-05
諸家/他・280	播陽風雅 第二集	首野天山・尾形東園評閑、松岡文・中川蒲・後藤脩校	1			明治4	1871	和紙袋綴刊本 18丁 22.0×15.3		漢詩 「明治十有九年五月求於福山書肆研雲堂主人」奥書に墨書	R4-05
諸家/他・281	海国兵談 写	大塚寛(写) 林子平述	1			天明6自序 文化6(写)	1786 1809	和紙袋綴 109丁 23.5×16.3	巻十三操練 巻十四武士之本体並知行割人数積 巻十五馬之飲立仕込様付騎射之事他	大塚 朱印	R4-05
諸家/他・282	日本地理往来 上		1					和紙袋綴刊本 56丁 23.0×16.3	上部に図・注意書		R4-05
諸家/他・283	漢文教科曾史抄本 下	大槻如電編纂 大槻茂雄校	1			明治32	1899	和紙袋綴刊本 43丁 22.3×15.2	付三史抄	草書振り仮名付	R4-05
諸家/他・284	地理初歩 全	文部省編纂 宮崎縣翻刻	1			明治7	1874	和紙袋綴刊本 13丁 22.5×15.2		高月鈴木文庫之印 朱印 裏書に「宮崎学校二於テ求ム鈴木馬左也誌」	R4-05
諸家/他・285	毛詩品物図攷 巻一・二	岡元鳳纂輯 平安杏林軒・浪華五車堂同梓	1			天明4序	1784	和紙袋綴刊本 43丁 24.8×18.0	草部	水筑氏蔵と墨書	R4-05
諸家/他・285	毛詩品物図攷 巻三・四		1					和紙袋綴刊本 43丁 24.8×18.0	木部・鳥部	水筑氏蔵と墨書	R4-05
諸家/他・286	小学幾何用法	中村六三郎訳 鈴木馬左也写	1			明治6 明治8写	1873 1875	和紙袋綴写本 43丁 22.1×15.2		高月鈴木文庫之印 朱印 鈴木馬佐也の朱書あり	R4-05
諸家/他・287	諸生階級 写	勸善堂主惟安 (蟹惟安～名古屋の人) 大塚氏慎(写)	1			元文4 寛政12(写)	1739 1800	和紙袋綴 28丁 24.5×16.5	漢学	大塚家蔵書と墨書 大塚静の標註あり コピー本作成 清水判読(修復室ファイル綴)	R4-05
諸家/他・288	日向私史 五	平部嶋南著 伊東祐婦出版	1			明治20	1887	和紙袋綴刊本 28丁 22.9×15.7	第八列伝 第九列伝(技芸) 第十列伝(孝義) 第十一列伝	秋月家蔵書印 朱印 漢文体	R4-05
諸家/他・289	士棟君叢書		1					和紙袋綴写本 41丁 23.5×15.9	海防策(斎藤) 海防策(安井衡) 義経論(坂井百太郎) 亡友坂井公實墓銘(斎藤正謙) 海防策一道(佐藤坦)他書写	高月鈴木文庫之印 朱印 漢文体	R4-05
諸家/他・290	世界国畫 巻三・四		1					和紙袋綴刊本 59丁 22.3×15.1	歐羅巴洲・北亜米利加洲の国説明	草書体振り仮名	R4-05
諸家/他・291	高等小学読本	文部省編輯局 蔵版	1			明治22版	1889	和紙袋綴刊本 80丁 22.7×15.7	巻之七 天然ノ利源・徳川氏ノ政治・月ノ話・耶穌教ノ禁・維也納・顯微鏡・徳川光園ノ傳・恒星ノ話・望遠鏡他	高鍋学校印章 朱印 定価十八銭	R4-05
諸家/他・292	小學示蒙句解 二	中村楊斎著	1					和紙袋綴刊本 68丁 25.0×17.8	漢学	柿原蔵書 朱印 高鍋道具小路柿原氏と墨書	R4-05
諸家/他・292	小學示蒙句解 三		1					和紙袋綴刊本 29丁 25.0×17.8		文久元 下道具小路柿原和次郎と墨書	R4-05
諸家/他・292	小學示蒙句解 四		1					和紙袋綴刊本 44丁 25.0×17.8		柿原和次郎と墨書	R4-05
諸家/他・292	小學示蒙句解 六上		1					和紙袋綴刊本 38丁 25.0×17.8		元治元年柿原和次郎と墨書	R4-05
諸家/他・293	初學經濟論 巻三	牧山耕平 訳・出版	2			明治15	1882	和紙袋綴刊本 31丁 22.5×15.0	第二十二章 造り出シタル富ハ三分シテ地代利潤勞銀トナル	第五大学区第廿六中学区高鍋学校 朱印 定価六十五銭	R4-05
諸家/他・294	合衆国政治小學初篇 巻三	瓜生三寅 訳述 名山閣和泉屋吉兵衛刊	1			明治5	1872	和紙袋綴刊本 48丁 22.5×14.9		第五大学区第廿六中学区第七番小学 朱印 振り仮名	R4-05
諸家/他・295	物理階梯 上	宮崎縣翻刻 片山淳吉纂輯 辻校・羽山庸納画	1			明治5	1872	和紙袋綴刊本 58丁 22.5×15.3	英国バークル氏、児童示教のため纂輯したるを原本とする	高月鈴木文庫之印 朱印 内題「物理階梯」	R4-05
諸家/他・296	萬國地誌略 一	小澤圭三郎識 師範学校編輯 文部省刊	1			明治7	1874	和紙袋綴刊本 39丁 22.2×15.3	米人コルトンの学校地誌並に米人ミッチュルの近世万国地誌を撮訳し、英人ゴールドスミスの地誌、及び聯邦誌略等に因り編纂	大塚 朱印 カメ・健 朱印	R4-05
諸家/他・297	地球説略抜萃		1			安政3刊	1856	和紙袋綴 29丁 15.1×21.0	1856年中国在住米人牧師刊行、眞作阮甫翻刻	高月鈴木文庫之印 朱印 衛房私口 朱印 夢虎朱印あり 書写数16丁他は白紙 漢文体 コーナー表紙	R4-05
諸家/他・298	小学読本 二	師範学校編輯 文部省刊行	1			明治7	1874	和紙袋綴刊本 33丁 21.7×14.5		後欠	R4-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・299	尋常小学読書教本 巻八	今泉定介 須永和三部 編	1			明治27	1894	和紙袋綴刊本 43丁 22.2×14.3	我が国の国体、氣候と物産、小橋公、日本三景、五港、我が国の商業、交通	教育書専売所普及舎 野紙 定価十銭	R4-05
諸家/他・300	百科全書 化学篇 下	小林義直 訳	1					和紙袋綴刊本 29丁 22.2×15.3	元素 有機化学	第五学区第二十五中学区宮崎学校 朱印	R4-05
諸家/他・301	致富小記	佐藤信淵 寅寶樓上梓	1			天保15自序 明治14	1844 1881	和紙袋綴刊本 30丁 22.4×15.6	農業	祐原蔵書 朱印 寅寶樓蔵梓 野紙	R4-05
諸家/他・302	高等小学読本 第四	西村正三郎 池永厚 編述	1			明治20	1887	和紙袋綴刊本 72丁 22.5×14.7	南北朝及足利織田豊臣時代・運動量・先考の教訓・先祖の事を記す・訓象…	教育書専売所普及舎 定価二十銭 51〜74頁破損甚	R4-05
諸家/他・302	高等小学読本 第六	西村正三郎 池永厚 編述	1			明治20	1887	和紙袋綴刊本 72丁 22.5×14.7	中古ノ時代・水ノ構造・演劇に感じて品行を改む・獸骨ノ用…	教育書専売所普及舎	R4-05
諸家/他・302	高等小学読本 第八	西村正三郎 池永厚 編述	1			明治20	1887	和紙袋綴刊本 81丁 22.5×14.7	騎・慢心の童子・秋のくりこと・豊楽亭記・蟹・蠟鼠…	教育書専売所普及舎	R4-05
諸家/他・302	高等小学読本 第三	西村正三郎 池永厚 編述	1					和紙袋綴刊本 62丁 22.4×15.0		教育書専賣所普及舎 挿し絵	R4-05
諸家/他・302	高等小学読本 第五	西村正三郎 池永厚 編述	1			明治20	1887	和紙袋綴刊本 48丁 22.4×15.0		教育書専賣所普及舎 前欠 前4丁痛み大	R4-05
諸家/他・308	唐大家柳柳州文選	震川歸有光選輯 瑞屏顧錫麟評閱	1					和紙袋綴刊本 92丁26.8×17.4	朱点、頭部に朱で注書きあり	明倫堂蔵書印 朱印「此一冊高鍋町古物商某ヨリ買受高鍋旧明倫堂ノ蔵本□□□該校へ寄付スルモノナリ 明治四十年十二月秋月西□」墨書 漢文体	R4-05
諸家/他・309	人民必携 五篇 巻之一	博聞社編輯	1			明治6	1873	和紙袋綴刊本 43丁 22.3×15.0	官省の諸公布中より事衆庶に関する条件を抜粋し訓解を加え刊行 人倫部・人事部・地理部・法制部	日向高鍋城氏因籍 朱印	R4-05
諸家/他・309	人民必携 五篇 附録 巻之一	博聞本社発行	1					和紙袋綴刊本 44丁 22.3×15.0	貢米金納法則・同米納方規則・蚕種製造規則・同大総代申合書・銃砲取締規則	日向高鍋城氏因籍 朱印	R4-05
諸家/他・310	大祓詞後々釋	藤井高尚釈	1			文化14歳	1817	和紙袋綴刊本 38丁 25.5×18.1		かきはら 朱印	R4-05
諸家/他・311	古今元服口傳	水嶋之成	1			延宝2	1674	和紙袋綴 8丁 24.6×16.8	水嶋礼法	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・312	別府温泉諸社順拝旅日記	鈴木翔房	1	慶応2	1866	慶応2	1866	和紙袋綴 50丁 24.1×16.2	別府温泉、太宰府天満宮、英彦山権現他参詣日記	コピー本作成 清水利統(バソコン入力)	R4-05
諸家/他・313	格致問答 NATUURKUNDIG SCHOOL BOEK		1			安政3	1856	和紙袋綴刊本 174頁 23.7×16.7	安政三年丙辰秋開塾 格致問答 美術作宣傳齋蔵以外はオランダ語 物理教科書		R4-05
諸家/他・314	鳳文龍影帖 全		1			明治18	1885	和紙袋綴刊本 57丁 24.5×16.0	鳳文館の「佩文韻府」出版を祝す文集、三条美実・秋月種樹・小野貴口他多数寄稿	表紙裏に「星 亨大老人 以供清覧 稗村小農修」と墨書 表紙	R4-05
諸家/他・315	于操字書	顔元孫撰 書林須原屋茂兵衛等	1			文化14刊	1817	和紙袋綴刊本 53丁 25.7×17.8	中国の字書 漢字八百余字を韻別に排列し、その楷書の字体の正・通・俗を弁じる	堤氏文庫 朱印 漢文体 表紙	R4-05
諸家/他・316	書道宝典	小野鷲堂先生 編書 斯華会出版部蔵版	5			大正4刊	1915	和紙袋綴刊本 22.3×15.3	・真行草書法(25丁)・新様女用文(60丁)・諸書式(20丁)・諸姿體かな書法(28丁)・新體手紙文(70丁)の五冊	新體手紙文の裏表紙に「大正八年式月吉日宮崎郡大淀町字大塚 谷口郷八」墨書 5冊箱入りコーナーと綴じ	R6-02
諸家/他・317	高鍋学校所蔵試業作文 祝高鍋学校開業文	秋月種樹撰并書 城勇雄借批		明治16〜20		明治16序	1883	和紙袋綴 90丁 26.0×18.5	高鍋学校初等第二級生徒八名の試業作文・祝高鍋学校開業文・一年三学期試業作文	兒湯郡高鍋学校 野紙 B604701の原文か	R4-05
諸家/他・318	摘英 宋元通鑑	薛應旗編集		建隆元〜大中祥符8	960〜1015			和紙袋綴写本 29丁25.0×16.5	宋元史書 南史列伝第一五・一六付記	漢文体 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・319	詠草 高鍋		1					和紙袋綴 4丁 25.0×16.4	清月・朗月・社頭月・待月・菊・紅葉・人伝恋・物薄情厚・対月思往事の詠草 朱で添削	紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・320	雷正 小吉伏乞		1					和紙袋綴 5丁 24.4×16.1	勉学について所感(兄は鈴木家嗣子?)	漢文体 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・321	記録断片	原田対馬	1			明治2	1869	和紙袋綴 13丁 23.2×16.2	原田対馬来歴	野紙 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・322	三社奉願誦階歌草稿		1					和紙袋綴 18丁 25.2×15.6	比木社 一宮社 立磐社	紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・323	大宮大明神縁記取調控帳	神主 永友大和知事	1			明治2	1869	和紙袋綴 4丁 24.6×16.5	大宮大明神は平田伊倉村水主矢野与惣衛門を祭る	謄写あり「縁記」ではなく「縁記」か 朱筆で大正六年とあり 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・324	水戸諸臣上疏		1	安政7.3	1860	安政7	1860	和紙袋綴 8丁 25.0×16.2	今般水戸殿家来松田御門外にて并伊掃郡頭殿を致害及候御届に罷出候節差出し候書付享し	庚申五月十日写(表紙右上) 頭部に朱で注書き切り紙挿入(英吉利船関係触れ書き 九月十五日) 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・325	官餘篇	小寺百漢	1	明治7〜27	1874〜1894	明治27浄書	1894	和紙袋綴 83丁 24.0×16.7	自作漢詩の浄写	一部朱筆渉む	R4-05
諸家/他・326	送水町大尉序 ほか	城勇雄	1			明治29	1896	和紙袋綴 11丁 24.7×17.6	・送水町大尉序・純南先生遺稿序・旧君三位公龍賜賚筆記・古香公事録(明治29) ・高城碑(明治26) ・正五位中島君碑陰記	城氏蔵版 野紙 漢文体 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・327	鐸峯横尾先生碑陰記 ほか	城勇雄	1					和紙袋綴 13丁 24.5×16.4	・鐸峯横尾先生碑陰記(未完)・高鍋總奉行鈴木君行状(明治20)・撰桃壽園主人行状懷舊・延命泉記(明治14)	横尾敬・鈴木翔房 漢文体 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・328	竝端問答 ほか	城勇雄	1					和紙袋綴 10丁 25.3×17.8	・竝端問答・読海防隠測(明治13)・対国会豫訪問(明治13)・鐸峯横尾先生碑陰記(明治12)・由村生名字説・權説(明治15)・上旧君使四位公書(明治16)・河野喜之助碑陰記(明治16)・舞鶴神廟記(明治16) ・故高鍋藩少参事致仕秋月君行状(明治10)・旧高鍋藩宗室秋月氏宝刀記(明治20)	漢文体 紙縫綴じ	R4-05
諸家/他・329	惡忍雑記	玉金舎主人(小寺百漢)	1			明治17	1884	和紙袋綴 19丁 24.5×16.0	耶蘇教之無道理・八十日間世界一周・男礼他書籍の抄書か?	小寺 朱印 文中朱筆注「以上昨夜以下今夕批圖於札號北三条西四丁目第二号官舎南窓被燈口時明治十七年一月八日也 百漢手記」	R4-05
諸家/他・330	草字彙 一	乾隆原本 八十二翁百亭書	1					和紙袋綴刊本 94丁 18.1×12.0	一部〜女部	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・330	草字彙 二		1					和紙袋綴刊本 62丁 18.1×12.0	子部〜死部	堤氏文庫 堤氏 朱印	R4-05
諸家/他・330	草字彙 三		1					和紙袋綴刊本 64丁 18.1×12.0	日部〜犬部	堤氏文庫 堤氏 朱印	R4-05
諸家/他・330	草字彙 四		1					和紙袋綴刊本 73丁 18.1×12.9	玉部〜色部	堤氏文庫 堤氏 朱印	R4-05
諸家/他・330	草字彙 五		1					和紙袋綴刊本 78丁 18.1×12.0	艸部〜里部	堤氏文庫 堤氏 朱印	R4-05
諸家/他・330	草字彙 六	山中市兵衛出版	1			明治13	1880	和紙袋綴刊本 45丁 18.1×12.9	金部〜禽部	堤氏文庫 堤氏 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 巻首	嵩山堂蔵版	1			明治28(例言)	1895	袋綴刊本 42丁 20.0×13.3	明初の詩人、名は啓、字は季迪 序・例言・像贊・年譜・目録	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 一	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 32丁 20.0×13.3	楽譜巻一 清 桐韻・金檀・星口輯注 日本伊予近藤元粹純叔評訂	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 二	嵩山堂蔵版	1			明治31再版	1898	袋綴刊本 24丁 20.0×13.3	楽譜巻二	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 三	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 26丁 20.0×13.3	五言古詩巻一	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 四	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 27丁 20.0×13.3	五言古詩巻二	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 五	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 23丁 20.0×13.3	五言古詩巻三	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 六	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 24丁 20.0×13.3	五言古詩巻四	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 七	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 25丁 20.0×13.3	五言古詩巻五	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 八	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 25丁 20.0×13.3	七言古詩巻一	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・331	高青邱全集 九	嵩山堂蔵版	1					袋綴刊本 27丁 20.0×13.3	七言古詩巻二	堤氏文庫 朱印	R4-05
諸家/他・332	蔵名山房雑著第一集 貳	岡千仞振衣作	1			明治14叙	1881	和紙袋綴刊本 65丁 20.1×12.6	北游詩神(北海道へ移住したときの漢詩) 涉史偶筆巻一(私史 織田氏紀 明治15緒言)	漢文体	R4-05
諸家/他・332	蔵名山房雑著第一集 四	岡千仞撰	1					和紙袋綴刊本 61丁 20.1×12.6	涉史偶筆巻二〜巻四(織田氏・豊臣氏)	漢文体	R4-05
諸家/他・332	蔵名山房雑著第一集 五	岡千仞撰	1			明治15後序	1882	和紙袋綴刊本 42丁 20.1×12.6	涉史偶筆巻五〜巻六(徳川氏)	漢文体	R4-05
諸家/他・332	蔵名山房雑著第一集 六	岡千仞撰	1			明治16序	1883	和紙袋綴刊本 61丁 20.1×12.6	涉史続筆巻一〜巻三(幕府徳川秀忠・家光・家門松平秀康)	漢文体	R4-05
諸家/他・332	蔵名山房雑著第一集 七	岡千仞撰	1					和紙袋綴刊本 52丁 20.1×12.6	涉史続筆巻四〜巻五(諸第并伊直孝・松平信綱他)	漢文体	R4-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
諸家/他・332	蔵名山房雑著第一集 八	岡千仞撰 小山朝弘後序	1			明治16後序	1883	和紙袋綴刊本 44丁 20.1×12.6	淳史続筆巻六～巻七(列藩前田利長他)	漢文体	R4-05
諸家/他・333	皇朝史略 二	水戸史臣青山延干著 男延光校	1	天智1～天安2	662～858			和紙袋綴刊本 66丁 18.5×12.7	巻三(天智天皇～称徳天皇)・巻四(光仁天皇～文徳天皇)	漢文体 虫損	R4-05
諸家/他・333	皇朝史略 五	水府史臣青山延干著 男延光校	1	建久9～文保2	1198～1319			和紙袋綴刊本 44丁 18.5×12.7	巻九(土御門天皇～後嵯峨天皇)・巻十(後深草天皇～花園天皇)	漢文体 虫損	R4-05
諸家/他・333	皇朝史略 六	水府史臣青山延干著 男延光校	1	徳治3～応永19	1308～1412	文政9跋	1826	和紙袋綴刊本 73丁 18.5×12.7	巻十一(後醍醐天皇)・巻十二(後村上天皇～称光天皇)	漢文体 虫損(巻十二痛大)	R4-05
諸家/他・334	統皇朝史略 一	水府史臣青山延干著 男延光校	1	応永19～寛正5	1308～1464	天保2序	1831	和紙袋綴刊本 29丁 18.5×12.7	巻一(称光天皇～後土御門天皇)	漢文体 虫損	R4-05
諸家/他・334	統皇朝史略 二	水府史臣青山延干著 男延光校	1	寛正5～弘治3	1464～1557			和紙袋綴刊本 52丁 18.5×12.7	巻二(土御門天皇～後柏原天皇)・巻三(後奈良天皇)	漢文体	R4-05
諸家/他・334	統皇朝史略 三	水府史臣青山延干著 男延光校	1	永禄1～天正14	1558～1586			和紙袋綴刊本 53丁 18.5×12.7	巻四(正親町天皇)	漢文体	R4-05
諸家/他・334	統皇朝史略 四	水府史臣青山延干著 男延光校	1	天正15～慶長5	1559～1600	明治11再版	1878	和紙袋綴刊本 35丁 18.5×12.7	巻五(後陽成天皇)	漢文体 虫損	R4-05
諸家/他・335	紫灘遺稿 巻下	垂井重明編輯	1			明治17	1884	和紙袋綴刊本 75丁 18.5×12.2	幕末尊攘派志士真木保臣(紫灘)の建白書・書簡・日記・詩文など 久留米藩	堤長発蔵と墨書	R4-05
諸家/他・336	直毘靈	本居宣長著	1					和紙袋綴刊本 37丁 18.3×13.0	国学の道(古道)に関する思想を論述、「古事記」にみえる直毘神の神霊により世の中の禍を清め除き「道」についての正しい認識に導こうとする	明倫堂蔵書印 朱印 変体かな混じり文 題箋なし 末尾に尾張名古屋東堂蔵版略目録あり	R4-05
諸家/他・337	唐宋聯珠詩格 上		1			大徳丁酉(永仁5)序	1297	和紙袋綴刊本 62丁 10.8×15.6	室の漢詩学習の書、詩家の一字一意を格に入れる	堤氏文庫 朱印 漢文体 内題精選唐宋千家聯珠詩格 虫損	R4-05
諸家/他・338	清美問答 全 (写)	小原大文軒著 鈴木由房(写)	1			寛政4序・跋(写)	1792	和紙袋綴 44丁 22.9×14.8	教訓 別白木翁物語 序文(備前・小原正路) 跋文(備前・三木貞正) 孝心物語・仁の苗物語・タタリ物語・仏の利生物語	高月鈴木文庫之印 朱印 カタカナ文	R4-05
諸家/他・339	婚姻略式		1			文政6選	1825	和紙袋綴 12丁 24.4×16.1	松岡先生依指揮文政乙酉之春撰 結納之事・婚姻之事(作法)	高月鈴木文庫之印 朱印	R4-05
諸家/他・340	湖海詩伝鈔	川島樸坪編集	1			明治12	1879	和紙袋綴刊本 33丁 24.3×14.3	王蘭泉の湖海詩伝鈔 漢詩	「盛化堂蔵」柱刻 秋月家蔵書印 朱印	R4-05
諸家/他・341	帯甲通	小寺信正 述	1			寛保2	1742	和紙袋綴刊本 39丁 22.8×16.3	鍾下地煉鉄吟味・函古への制儀伏仗の式・鍾をおとす吟味・鍾着用の順	□□ 朱印 虫損	R4-05
諸家/他・342	三體乃字文 尋常中学校習字科用教科書	長〇 書	1			明治26発行	1893	和紙袋綴刊本 66丁 25.0×15.4	明治31年教科書に採用?		R4-05
諸家/他・343	集千家註社工部詩集	明長洲許自昌 玄祐甫校	1					和紙袋綴刊本 115丁 26.1×15.6	集千家註社工部詩集巻十八～巻二十・社工部文集巻一～巻二 杜甫(712～770)詩集 工部員外郎	漢文体 文中に朱点	R4-05
諸家/他・344	春秋左傳註疏 巻八～十	晋杜氏註 唐孔穎達疏	1					和紙袋綴刊本 104丁 25.9×15.1	莊元年～莊三十二年	泰山珍玩 朱印 頭部に「息軒云」墨註 漢文体	R4-05
諸家/他・344	春秋左傳註疏 巻十一・十二	晋杜氏註 唐孔穎達疏	1					和紙袋綴刊本 55丁 25.9×15.1	閔元年～閔二年(巻十一)・僖元年～五年	泰山珍玩 朱印	R4-05
諸家/他・345	春秋左傳註疏 巻四十七・四十八	晋杜氏註 唐孔穎達疏	1					和紙袋綴刊本 60丁 25.0×15.6	昭四年～十九年	「斎蔵書」朱印 「汲古閣」柱刻	R4-06
諸家/他・346	古今百家伝 大日本帝國憲法俗解(憲法親父問)	やまと新聞社(東京)	1					刊本 46ページ 21.3×16.0	故文部大臣森有礼・景山英子・西野文太郎の伝 憲法の説明	堤氏蔵本と墨書 押し絵・振り仮名 虫損	R4-06
諸家/他・347	朝顔実記 熊澤善山 六～十	毎日新聞社(東京) 伊東陵湖講演 今村次郎速記	1			明治31	1898	刊本 70ページ 22.5×15.2		毎日新聞付録 談話冊子附録 振り仮名	R4-06
諸家/他・348	単語篇	伊藤桂洲 天香書屋蔵版	1			明治6	1873	和紙袋綴刊本 49丁 22.2×15.1	数・色・量・衡・貨・田尺・時令他ごとに漢字網羅 仮名付	六郷村 吉黒氏と墨書 教科書	R4-06
諸家/他・349	尋常小学読本 第二	辻敏之 西村正三郎	1			明治21	1888	和紙袋綴刊本 30丁 22.4×15.2		教育書専賣所普及舎 角欠 木野政口蔵本と墨書	R4-06
諸家/他・349	尋常小学読本 第七	辻敏之 西村正三郎	1			明治21	1888	和紙袋綴刊本 27丁 22.4×15.2		教育書専賣所普及舎 前欠	R4-06
諸家/他・350	高等小学修身書 巻之二	東久世通禧著 副島種臣閲	1			明治27	1894	和紙袋綴刊本 43丁 22.3×14.8		国光社蔵版 角欠	R4-06
諸家/他・351	康熙字典 序 凡例		1			康熙55序 道光7里刊	1716 1827	袋綴刊本 146丁 17.0×11.5	四万二千余字を部首別筆画順に配列、二支の名を付けた二集に分ける。四二巻 清の康熙55年に完成 総目・検字・等韻	かきはら 朱印	R4-06
諸家/他・351	康熙字典 午集上 五画		1					袋綴刊本 132丁 17.0×11.5		かきはら 朱印	R4-06
諸家/他・351	康熙字典 酉集上 七画		1					袋綴刊本 126丁 17.0×11.5		かきはら 朱印	R4-06
諸家/他・351	康熙字典 戌集上 八画		1					袋綴刊本 111丁 17.0×11.5		かきはら 朱印	R4-06
諸家/他・351	康熙字典 補遺		1					袋綴刊本 66丁 17.0×11.5		かきはら 朱印	R4-06
諸家/他・352	康熙字典		24					袋綴刊本 1-126丁・2-125丁・3-126丁・4-117丁・5-140丁・6-129丁・7-102丁・8-131丁・9-107丁・10-86丁・11-117丁・12-99丁・13-134丁・14-128丁・15-125丁(67-68脱)・16-115丁・17-126丁・18-97丁(乱丁)・19-111丁・20-126丁(重・落丁)・21-72丁・22-71丁・23-93丁・24-80丁 17.0×11.5	1(卯集上下)・2(卯集中)・3(辰集上下)・4(辰集中)・5(巳集上)・6(巳集中下)・7(午集上)・8(午集中)・9(午集下)・10(未集上)・11(申集上)・12(未集下)・13(未集中)・14(申集中下)・15(酉集上)・16(酉集中)・17(酉集下)・18(備考)・19(戌集上)・20(戌集中)・21(戌集下)・22(亥集上)・23(戌集中)・24(戌集下)	堤氏文庫 朱印 子・丑・寅集欠	R4-06
諸家/他・353	蟻通 忠度 楊貴妃 木脱 藤戸	山本長兵衛新板	1			貞享3	1686	和紙袋綴 50丁 23.0×16.9	臨本雖多無同依口章句誤今亦以親世左近太夫正本写之并加當流秘密令改板者也	写本 角欠	R4-06
諸家/他・354	家禮筆記	三宅尚斎	1			享保11序	1726	和紙袋綴 48丁 23.8×16.8		漢文体 虫損大 朱で句点返り点 写本	R4-06
武藤・001	御定書(写)	萱嶋景瑞(写)	1			寛保2文化10(写)	1743 1813	和紙袋綴 41丁 23.3×15.0	目安裏刊 ほか		R5-05
武藤・004	家禮五服手録	大塚	1			寛政		和紙袋綴 40丁 23.0×15.0		静按・・・の朱書あり	R5-05
武藤・005	神葬祭略		1					和紙袋綴 17丁 24.0×16.0			R5-05
武藤・006	旧高鍋藩史		1					和紙袋綴 5丁 24.8×17.0			R5-05
武藤・012	神道秘説		1	享保4	1719			和紙袋綴 13丁 26.0×19.0	金丸筑後守通寛から萱嶋怒賢殿		R4-06
武藤・013	玉水問話	東畦磯田光	1			寛政7	1795	和紙袋綴 6丁 23.5×16.3			R4-06
武藤・014	肘儀指南の歌		1	安永8	1779			和紙袋綴 15丁 30.0×21.8	石川傳左衛門から手塚重五郎殿		R4-06
武藤・015	巻わら射法		1	寛政8	1796			和紙袋綴 10丁 24.4×17.2	三好紋左衛門尉膳許 □々伯部口右衛門尉道堅 長岡宇右衛門采章から手塚三五兵衛殿		R4-06
武藤・016	弓道初学秘傳		1			元文3(写)		和紙袋綴 39丁 24.0×17.2			R4-06
武藤・017	家禮義講	大塚静氏 萱嶋諸口	1			天明8 寛政4	1788 1792	和紙袋綴 23丁 25.2×18.0			R4-06
武藤・018	禁中公事略 上 重訓略煩類纂上		1					和紙袋綴 38丁 25.0×16.0			R4-06
武藤・019	武射必要 巻一	寒川儀太夫辰清織書林 須原茂□□梓行	1			享保17	1732	和紙袋綴刊本 28丁 27.7×18.7			R4-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
武藤・019	武射必要 巻二	寒川儀太夫辰清 織書林 須原茂口口梓行	1			享保17	1732	和紙袋綴刊本 27丁 27.7×18.7			R4-06
武藤・019	武射必要 巻三	寒川儀太夫辰清 織書林 須原茂口口梓行	1			享保17	1732	和紙袋綴刊本 30丁 27.7×18.7			R4-06
武藤・019	武射必要 巻四	寒川儀太夫辰清 織書林 須原茂口口梓行	1			享保17	1732	和紙袋綴刊本 21丁 27.7×18.7			R4-06
武藤・020	国民軍名簿 川南村		1					和紙袋綴 120丁 28.3×21.4	574名の名簿		R5-05
武藤・021	弁園摘芳	東都書肆岱東閣梓 大和屋多兵衛	1			寛保2	1742	和紙袋綴刊本 63丁 27.0×17.8	漢文体		R4-06
武藤・022	靖敵遺言 巻一～四	京師二条通衣棚 風月往左衛門発行	1					和紙袋綴刊本 43丁 26.5×19.0	萱嶋景矯 綱斎先生此遺言ヲ編集ナサレタ意ハ……		R4-06
武藤・022	靖敵遺言 巻七～八	京師二条通衣棚 風月往左衛門発行	1					和紙袋綴刊本 36丁 26.5×19.0	漢文体		R4-06
武藤・023	朗説抄 闕疑抄 一		1					和紙袋綴刊本 33丁 28.0×19.2			R4-06
武藤・023	朗説抄 闕疑抄 二		1					和紙袋綴刊本 32丁 28.0×19.2			R4-06
武藤・023	朗説抄 闕疑抄 三		1					和紙袋綴刊本 34丁 28.0×19.2			R4-06
武藤・023	朗説抄 闕疑抄 四		1					和紙袋綴刊本 31丁 28.0×19.2			R4-06
武藤・023	朗説抄 闕疑抄 五		1					和紙袋綴刊本 37丁 28.0×19.2			R4-06
武藤・024	参河後風土記軍令巻 33・34・35・36巻		1					和紙袋綴 51丁 28.5×20.5	萱嶋諸方		R4-06
武藤・024	参河後風土記軍令巻 33・34・35・36巻		1					和紙袋綴 60丁 28.5×20.5			R4-06
武藤・025	易经 上		1					和紙袋綴刊本 34丁 27.0×19.2	萱嶋保次 漢文体		R4-06
武藤・025	易经 下		1					和紙袋綴刊本 56丁 27.0×19.2	萱嶋保次 寛政3年12月6日ヨリ読テ正月4日ニヨミトル也 漢文体		R4-06
武藤・026	周易経伝 巻15～18		1					和紙袋綴刊本 66丁 27.0×16.5	漢文体		R4-06
武藤・026	周易経伝 巻19～21		1					和紙袋綴刊本 54丁 27.0×16.5	漢文体		R4-06
武藤・026	周易経伝 巻22～24		1			寛永4(跋)	1627	和紙袋綴刊本 43丁 27.0×16.5	漢文体		R4-06
武藤・027	葦田家射御集成説約		1					和紙袋綴刊本 37丁 28.3×17.2	漢文体		R4-06
武藤・027	葦田家射御集成説約		1					和紙袋綴刊本 22丁 28.3×17.2	漢文体		R4-06
武藤・027	葦田家射御集成説約		1					和紙袋綴刊本 19丁 28.3×17.2	漢文体		R4-06
武藤・027	葦田家射御集成説約		1			寛永4(跋)	1627	和紙袋綴刊本 44丁 28.3×17.2	漢文体		R4-06
武藤・028	徐得元補注 蒙求		1					和紙袋綴刊本 71丁 26.0×18.3	漢文体		R4-06
武藤・029	倭板易经 易经本義	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 43丁 27.5×19.5	漢文体		R4-06
武藤・030	春秋胡氏伝		1					和紙袋綴刊本 119丁 28.0×19.5	漢文体		R4-06
武藤・030	春秋胡氏伝		1					和紙袋綴刊本 114丁 27.0×19.2	萱嶋保次 漢文体		R4-06
武藤・031	鉄槌 巻一		1					和紙袋綴刊本 37丁 27.0×19.0	萱嶋氏		R4-06
武藤・031	鉄槌 巻二		1					和紙袋綴刊本 36丁 27.0×19.0	萱嶋氏		R4-06
武藤・031	鉄槌 巻三		1					和紙袋綴刊本 27丁 27.0×19.0	萱嶋氏		R4-06
武藤・031	鉄槌 巻四	江戸通油所 山形屋開版	1			延宝7	1679	和紙袋綴刊本 30丁 27.0×19.0	萱嶋氏		R4-06
武藤・032	南木武経 巻一		1					和紙袋綴刊本 40丁 27.0×19.8	萱嶋氏		R4-06
武藤・032	南木武経 巻二・三		1					和紙袋綴刊本 36丁 27.0×19.8	萱嶋氏		R4-06
武藤・032	南木武経 巻四・五	油小路通五條下 ル町丁子屋田口仁口南刊行	1					和紙袋綴刊本 36丁 27.0×19.8	萱嶋氏		R4-06
武藤・033	中庸章句		1					和紙袋綴刊本 73丁 27.7×19.0	漢文体		R4-06
武藤・034	倭版四書中庸集略 上	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 57丁 28.0×19.5			R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之一	両花斎蔵版 大和田九左衛門板行	1			寛文2	1662	和紙袋綴刊本 29丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之二		1					和紙袋綴刊本 26丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之三		1		0			和紙袋綴刊本 21丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之五		1					和紙袋綴刊本 26丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之六		1					和紙袋綴刊本 24丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之七		1					和紙袋綴刊本 25丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 巻之八		1					和紙袋綴刊本 15丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・035	増補較正賀延李先生雁魚錦箋 付録		1					和紙袋綴刊本 13丁 26.3×18.5	萱嶋氏		R4-06
武藤・036	翁問答 巻一		1					和紙袋綴刊本 23丁 27.5×18.2	景壽		R4-06
武藤・036	翁問答 巻二		1					和紙袋綴刊本 40丁 27.5×18.2			R4-06
武藤・036	翁問答 巻三		1					和紙袋綴刊本 36丁 27.5×18.2			R4-06
武藤・036	翁問答 巻四		1					和紙袋綴刊本 24丁 27.5×18.2			R4-06
武藤・036	翁問答 巻五		1					和紙袋綴刊本 36丁 27.5×18.2			R4-06
武藤・037	垂加文集 巻之一・二	山崎敬義(間斎)	1			寛文8	1668	和紙袋綴刊本 53丁 28.0×18.8	明倫堂蔵書印 朱印		R4-06
武藤・037	垂加文集 巻三・四・五		1					和紙袋綴刊本 60丁 28.0×18.8	明倫堂蔵書印 朱印		R4-06
武藤・037	垂加文集 巻六・七	武陽芝明神前書林 山田屋三四郎行板	1			正徳4(跋)	1714	和紙袋綴刊本 40丁 28.0×18.8	明倫堂蔵書印 朱印 漢文体		R4-06
武藤・039	享静閣二集		1					和紙袋綴 15丁 22.2×16.3			R4-06
武藤・040	日本傳正統	萱嶋諸親	1					和紙袋綴 93丁 24.2×17.8	武門要鑑写し		R4-06
武藤・040	日本傳正統	萱嶋諸親	1					和紙袋綴 78丁 24.2×17.8	武門要鑑写し		R4-06
武藤・041	公方源義輝(上杉軍学)		1					和紙袋綴 13丁 26.3×19.7	漢文体		R4-06
武藤・042	改正兵録(写)	山口景徳 萱嶋景矯(写)	1			寛政4	1792	和紙袋綴 63丁 25.0×17.3	漢文体		R4-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
武藤・043	鈴録外書		1					和紙袋綴 95丁 21.2×14.5		途中で切れ	R4-06
武藤・044	軍配実鑑		1					和紙袋綴 20丁 23.5×16.0		漢文体	R4-06
武藤・045	当家御式法大概		1	宝永6	1709			和紙袋綴 31丁 29.5×21.7	佐久間頼母から萱嶋市之丞へ		R4-06
武藤・046	握奇講義 玉水先生		1					和紙袋綴 25丁 24.5×17.4			R4-06
武藤・047	兵法書		1	宝永6	1709			和紙袋綴 10丁 28.0×19.6	佐久間頼母入道景忠から萱嶋市之丞殿		R4-06
武藤・048	兵法筆記		1	宝永6	1709			和紙袋綴 24丁 28.0×19.6	佐久間頼母入道景忠から萱嶋市之丞殿		R4-06
武藤・049	京都府下人民告諭		1			明治1	1868	和紙袋綴 17丁 25.0×17.4			R4-06
武藤・050	倭板周易 上 繫口傳	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 32丁 27.5×19.5		漢文体	R4-06
武藤・051	孟子 卷三・四		1					和紙袋綴刊本 72丁 22.0×15.5		漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷一	山本長兵衛	1					和紙袋綴刊本 44丁 27.0×19.5		中元寺尋盈 萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷二		1					和紙袋綴刊本 21丁 27.0×19.5		中元寺尋盈 萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷三		1					和紙袋綴刊本 25丁 27.0×19.5		中元寺尋盈 萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷四		1					和紙袋綴刊本 29丁 27.0×19.5		中元寺尋盈 萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷五・六		1					和紙袋綴刊本 51丁 27.0×19.5		中元寺尋盈 萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷七・八		1					和紙袋綴刊本 30丁 27.0×19.5		萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・052	古文真宝後集 卷九		1			延宝8(跋)	1680	和紙袋綴刊本 32丁 27.0×19.5		萱嶋氏 漢文体	R4-06
武藤・053	増続大広益玉篇大全 卷七		1					和紙袋綴刊本 79丁 23.0×16.5			R4-06
武藤・053	増続大広益玉篇大全 卷八・九		1					和紙袋綴刊本 65丁 23.0×16.5			R4-06
武藤・053	増続大広益玉篇大全 卷十		1			元禄10 (跋)	1697	和紙袋綴刊本 61丁 23.0×16.5			R4-06
武藤・053	増続大広益玉篇大全 卷六		1					和紙袋綴刊本 56丁 23.0×16.5			R4-06
武藤・053	増続大広益玉篇大全 卷六		1					和紙袋綴刊本 65丁 23.0×16.5			R4-06
武藤・054	古文真実		1					和紙袋綴刊本 45丁 26.8×19.4		平原口竺 朱印	R4-06
武藤・055	武者物語 上	松田一乗入道 秀任	1					和紙袋綴刊本 32丁 27.5×19.0			R4-06
武藤・056	水かかみ	松會市郎兵衛	1			承応3(跋)	1654	和紙袋綴刊本 11丁 27.5×18.6			R4-06
武藤・057	竹園抄 筆録	二条通松屋町 無射吉辰口村 市口口刊行	1			寛永21	1644	和紙袋綴 33丁 26.6×17.0			R4-06
武藤・058	義府	広瀬求馬	1			嘉永2	1849	和紙袋綴刊本 29丁 23.0×15.2		漢文体	R4-06
武藤・059	大学章句		1					和紙袋綴刊本 30丁 22.2×15.8		漢文体	R4-06
武藤・060	四書便講 二		1					和紙袋綴刊本 50丁 26.0×18.2		漢文体	R4-06
武藤・061	四書童子訓 卷一		1					和紙袋綴 66丁 23.8×17.3		萱嶋保次	R4-06
武藤・062	武門要鑑抄 講義		1					和紙袋綴 89丁 24.7×17.0			R4-06
武藤・062	武門要鑑抄 講義		1			寛政10		和紙袋綴 94丁 25.0×17.0			R4-06
武藤・062	武門要鑑抄 講義	萱嶋諸新 識	1					和紙袋綴 81丁 24.0×17.3			R4-06
武藤・062	武門要鑑抄 講義		1					和紙袋綴 87丁 24.0×17.3		修復分冊	R4-06
武藤・063	歌集(写)		1			元禄3(写)	1690	和紙袋綴 68丁 22.5×15.0			R4-06
武藤・064	古学二千字文		1					和紙袋綴 17丁 25.0×16.4			R4-06
武藤・065	神徳略述煩	源李茲謹撰	1					和紙袋綴刊本 17丁 27.0×18.5		漢文体	R4-06
武藤・066	古道或問		1			明治3発行	1870	和紙袋綴刊本 29丁 25.5×18.5			R4-06
武藤・067	古語拾遺	大同三年齊部 宿口広成撰 大坂本屋河内 屋善兵衛	1			文久2	1862	和紙袋綴刊本 23丁 25.3×18.0		漢文体	R4-06
武藤・068	童蒙入学門		1					和紙袋綴刊本 11丁 26.8×18.5		漢文体	R4-06
武藤・069	倭板周易 易経本義	山崎嘉	1					和紙袋綴刊本 59丁 27.5×19.5		漢文体	R4-06
武藤・070	韻鏡	利兵衛開板	1			寛永21	1644	和紙袋綴刊本 56丁 20.8×16.0			R4-06
武藤・082	日本女鑑 卷一	風當朔朗編	1			明治26発行	1893	和紙袋綴刊本 51丁 22.5×14.5	明治26年文部省検定済小学校教科書 用		R4-06
武藤・082	日本女鑑 卷二	風當朔朗編	1			明治26発行	1893	和紙袋綴刊本 51丁 22.5×14.5			R4-06
武藤・083	高等小学読本 卷一		1			明治21発行	1888	和紙袋綴刊本 127ページ 22.0×15.0		「高一 武藤いその」の記名あり	R4-06
武藤・083	高等小学読本 卷二		1			明治21発行	1888	和紙袋綴刊本 116ページ 22.5×15.4		「河辺ヨシ」の記名あり	R4-06
武藤・084	日本歴史 中巻	前橋孝義 富山房蔵版	1			明治33発行	1900	和紙袋綴刊本 35丁 22.2×14.3		「武藤いその」の記名あり	R4-06
武藤・085	小学校用理科新篇 第一巻		1			明治27発行	1894	和紙袋綴刊本 59丁 22.7×14.7		「高一 武藤いその」の記名あり 糸替	R4-06
武藤・086	小学理科 卷二	学海指針社	1			明治33	1900	和紙袋綴刊本 32丁 22.5×14.8		「武藤いその」の記名あり 糸替	R4-06
武藤・122	江戸参勤日記抜		1	嘉永7年2月28日	1854			小横帳 和紙袋綴 49丁 12.4×16.3	嘉永7年2月～文久2年		R5-05
武藤・123	日記 堤			安政2年1月7日～同3年12月	1855			小横帳 和紙袋綴 268丁 12.2×15.5	公用日記 文久3年12月13日～同4年2月含む	修復し綴じ代がなく1冊に綴じれないので29に別ける	R5-05
武藤・124	日記(江戸)	武藤隣睦		文久2年4月7日～11月4日	1861			小横帳 和紙袋綴 38丁 12.5×16.3	公用日記		R5-05
武藤・125	日記(江戸) 如山	水筑弦太郎母 丸山	1	文久3年9月11日～	1863			小横帳 和紙袋綴 15丁 12.5×16.4			R5-05
武藤・126	日記		1	文久3年元日～	1863			小横帳 和紙袋綴 148丁(分冊) 12.5×16.4	公用日記	前部分虫損大 表紙欠	R5-05
武藤・127	江戸滞在日暦 如山	武藤東四郎	1	元治2年1月	1865			小横帳 和紙袋綴 71丁 12.5×16.2	武藤東四郎関係	後表紙に武藤東四郎	R5-05
武藤・128	京都滞在日記 如山	武藤東四郎	1	慶応4年3月21日	1868			小横帳 和紙袋綴 32丁 12.5×16.3			R5-05
武藤・129	越行兵隊箱 隊長鈴木来助		1	慶応4年6月21日	1868			小横帳 和紙袋綴 13丁 12.5×15.6	出軍名簿		R5-05
武藤・130	別府入湯日記 武藤			慶応4年8月24日～9月18日	1868			小横帳 和紙袋綴 10丁 12.5×16.2			R5-05
武藤・131	御奥様御姫様御下向日誌	武藤東四郎	1	1月22日～4月22日				小横帳 和紙袋綴 15丁 12.5×16.3			R5-05
武藤・132	入薩日記	武藤	1	明治2年5月	1869			小横帳 和紙袋綴 29丁 12.5×16.3	後部に明治10年1月27日からの日誌 薩州様勤使下向に付欽使者		R5-05
武藤・133	諸記(博覧会見物)	武藤	1	明治前期				小横帳 和紙袋綴 20丁 12.5×16.5	博物館見物		R5-05

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
補・001	四書存疑 卷一	林希元	1					和紙袋綴刊本 70丁 28.5×16.4	序 大学之道一節・知止而后序定節・物有本末節・古之欲明明德二節・自天子至於庶人二節他	明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R5-06
補・002	四書存疑 卷二	林希元	1					和紙袋綴刊本 44丁	中庸前 天命之謂性一節・道也者不可須臾離二節	明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R5-06
補・003	四書存疑 卷三	林希元	1					和紙袋綴刊本 50丁	中庸後 哀公問政子曰文武之政二節・天下之達道五ノ四節・知斯三者一節	明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R5-06
補・004	四書存疑 卷四	林希元	1					和紙袋綴刊本 58丁	論語 学而第一 子曰学而時習全・有子曰其為人也全・子曰巧言令色全	明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R5-06
補・006	四書存疑 卷六	林希元	1					和紙袋綴刊本 74丁	論語 先進第十一・子曰先進於禮樂全	明倫堂蔵書印 朱印 題箋あり 綴じ紐切れ	R5-06
補・007	四書存疑 卷七	林希元	1					和紙袋綴刊本 71丁	論語 衛霊公第十五	明倫堂蔵書印 朱印	R5-06
補・009	四書存疑 卷九	林希元	1					和紙袋綴刊本 47丁	孟子 公孫	明倫堂蔵書印 朱印 余病開并大全及蒙引講述考之以加朱句 宝永二年夏五月九日 竹塙	R5-06
補・010	四書存疑 卷十	林希元	1					和紙袋綴刊本 34丁	孟子 滕文公	明倫堂蔵書印 朱印 此冊典大全蒙引講述同一校而加朱了 宝永二年夏□月□日 左 之有甫	R5-06
補・011	四書存疑 卷十一	林希元	1					和紙袋綴刊本 49丁	孟子 離婁章	明倫堂蔵書印 朱印 宝永二年冬十月九日 一校加朱句 竹塙	R5-06
補・012	四書存疑 卷十二・十三	林希元	1					和紙袋綴刊本 35丁	孟子 萬章 告子章	明倫堂蔵書印 朱印 余大全蒙引講述并考以抹朱了 宝永三年六月廿七日 竹塙	R5-06
補・014	四書存疑 卷十四	林希元	1					和紙袋綴刊本 54丁	孟子 盡心章	明倫堂蔵書印 朱印 孟子存疑六冊談大全之次第并蒙引講述考之以抹加朱句四部都三十二策始了 宝永二年乙酉四月終於三年丙戌九月老年病間之所勤也 竹塙藤直方六十歳	R5-06
補・015	礼記 乾		2					和紙袋綴刊本 124丁 25.3×17.7		明倫堂蔵書印 朱印 松梅軒蔵 柱刻 題箋あり 白文	R5-06
補・016	礼記 乾坤		2			安永8再刻	1779	和紙袋綴刊本 124丁・ 139丁 25.3×17.8		明倫堂蔵書印 朱印 松梅軒蔵 柱刻 綴じ紐切れ 送返書込み 白文	R5-06
補・017	易経		2					和紙袋綴刊本 83丁 25.3×17.9		明倫堂蔵書印 朱印 松梅軒蔵 柱刻 青・紺表紙の内青に送返書込み 白文	R5-06
補・018	詩経		2					和紙袋綴刊本 131丁 25.3×17.8		明倫堂蔵書印 朱印 松梅軒蔵 柱刻 白文 青・紺表紙の内青に送返書込み	R5-06
補・019	書経		1					和紙袋綴刊本 83丁 25.1×17.8		明倫堂蔵書印 朱印 松梅軒蔵 柱刻 白文 題箋あり	R5-06
補・020	春秋		1		前722～前481			和紙袋綴刊本 84丁	孔子が魯国の歴史記録について筆削を加えて著わしたといわれる中国五経の一つ	明倫堂蔵書印 朱印 松梅軒蔵 柱刻 白文 題箋あり	R5-06
補・021	神代紀草牙 上	栗田土満	1			文化7序		和紙袋綴刊本 55丁 24.9×17.8	日本書記注釈書	財津蔵書 朱印 白文にかな付、後ろに解説付 高鍋図書館蔵書朱印	R5-06
補・022	神代紀草牙 中	栗田土満	1					和紙袋綴刊本 51丁			R5-06
補・023	神代紀草牙 下	栗田土満	1					和紙袋綴刊本 76丁		財津蔵書 朱印	R5-06
補・024	神代正語常磐草 上	細田富延	1			文化12(序)文政10版	1815(序)	和紙袋綴刊本 56丁 26.4×18.3	古事記注釈 天地のはじめ～天の岩戸のくだり	明倫堂蔵書印 虫損 前表紙破損	R5-06
補・025	神代正語常磐草 中	細田富延	1					和紙袋綴刊本 39丁	古事記注釈 須佐之男命たしなみの段～大年神羽山戸神の御子たちのくだり	明倫堂蔵書印	R5-06
補・026	神代正語常磐草 下	細田富延	1					和紙袋綴刊本 60丁	国むけ御はかりの段～鵜葺草葺不合命の御子たちのくだり	明倫堂蔵書印 虫損 綴じ紐切れ	R5-06
補・027	神代正語 上	本居宣長	1			寛政1序		和紙袋綴刊本 45丁25.3 ×17.7	漢文体をかな書まじりにする 雨土のはじめのくだり～天の石屋戸のくだり	明倫堂蔵書印 虫損	R5-06
補・028	神代正語 中	本居宣長	1					和紙袋綴刊本 29丁	須佐之男命たしなみの段～大年神羽山戸神の御子たちのくだり	明倫堂蔵書印 虫損	R5-06
補・029	神代正語 下	本居宣長	1					和紙袋綴刊本 50丁	国むけおはかりの段～鵜葺草葺不合命の御子たちのくだり	明倫堂蔵書印 虫損	R5-06
補・030	玉鉾百首	本居宣長詠	1			天明7		和紙袋綴刊本 17丁 25.7×17.8	歌集 日本の成立や惟神(かむながら)の道を百首の和歌で表したものを	堤氏文庫 朱印 虫損	R5-06
補・031	玉鉾百首解 上	本居大平	1					和紙袋綴刊本 43丁 25.6×17.8	注釈書 出雲儒儀傳・紀伊国玉津島杜司橘朝臣房雄序文 本居大平は宣長の養子	綴じ紐切ればらけている	R5-06
補・032	玉鉾百首解 下	本居大平	1					和紙袋綴刊本 35丁	注釈書		R5-06
補・033	訂正古訓古事記 上	本居宣長訓 長瀬真幸校	1			明治3		和紙袋綴刊本 79丁 26.7×18.8	寛政十一年御免・享和三年発行・明治三年刻	財津蔵書 朱印 漢字かなつき 表紙系切れ	R5-06
補・034	訂正古訓古事記 中	本居宣長訓 長瀬真幸校	1					和紙袋綴刊本 84丁		財津蔵書 朱印	R5-06
補・035	訂正古訓古事記 下	本居宣長訓 長瀬真幸校	1					和紙袋綴刊本 56丁		財津蔵書 朱印	R5-06
補・036	万葉和歌集 校異 一		1					和紙袋綴刊本 34丁 26.4×18.9	飛鳥・奈良時代の歌集。20巻 舒明天皇時代から淳仁天皇の天平宝字3年(759)まで、約130年間の長歌・短歌・旋頭歌・仏正石歌など4500首余を収録	文化2版(橋経亮・山田以文校)?	R5-06
補・037	万葉和歌集 校異 二		1					和紙袋綴刊本 45丁		文化2版(橋経亮・山田以文校)?	R5-06
補・038	諸士傳秘録	芥橋散人著	1			安永4(序)	1775(序)	和紙袋綴 写本 61丁 22.0×16.6	近頃見聞したる諸家の臣下のよしあしを書きとめる、家老・用人	明倫堂蔵書印 朱印	R5-06
補・039	諸士傳秘録		1					和紙袋綴 58丁	留守居・大目付・平士	明倫堂蔵書印 朱印	R5-06
補・040	祝詞正訓	平田鑑胤	1			明治2		和紙袋綴刊本 56丁 26.7×18.5		高月鈴木文庫□印 朱印	R5-06
補・041	祝詞正訓	平田鑑胤	1					和紙袋綴刊本 53丁		明倫堂蔵書印 朱印	R5-06
補・042	出雲国造神壽後釋	本居宣長著 出雲国造俊秀序	1			寛政5序	1793	和紙袋綴刊本 86丁 26.0×18.1	出雲国奴神賀詞(出雲国造が新任の際上京、朝廷にて天皇の大御世を祝して奏聞する寿詞)の注釈書	序1～4、本文1,2・24・46脱 表紙裏に「大正十四年八月移元明倫堂蔵書高鍋小学校内行調査時集此書散乱者綴為冊子紛失紙不為少口可惜	R5-06
補・043	古語拾遺	大坂本屋 河内屋喜兵衛蔵 模	1			文化4求板 文久2精選		和紙袋綴刊本 23丁 25.2×17.8	齋部氏より奏進された悲訴状で、奈良時代以降中臣氏と対立していた齋部氏に伝えられた古伝承の記録、齋部広成の遺述、国生みと神々の誕生から始まる、	財津蔵書 朱印 高鍋図書館蔵書 虫損 漢文 送返、一部かなつき	R5-06
補・044	論語白文		1					和紙袋綴刊 57丁 22.0 ×15.0		明倫堂蔵書印 朱印 白文	R5-06
補・045	玉鉾百首	本居宣長著	1					和紙袋綴刊本 19丁 23.5×15.9	直日堂(なおひのみたま)も収録	白文	R5-06
補・046	孟子白文		1					和紙袋綴刊本		明倫堂蔵書印	R5-06
補・047	直見堂 全	本居宣長著	1					和紙袋綴刊本 36丁 18.0×12.7	国学の道(古道)に関する思想を論述した書。古事記に見える直見神の神聖により世の中二あるさまたまの禍、すなわち各種の誤った学説を清め除いて「道」についての正しい認識に導く意図の書。		R5-06
補・048	論語正文俚語鈔	毛利貞斎著	1					和紙袋綴刊本 52丁 22.0×15.9		明倫堂蔵書印 朱印 「椎木小学」と墨書 巻2	R5-06
補・049	康熙字典 序 総目	日本翻刻 浪華 都賀庭鐘	1			安永7(序)	1778	和紙袋綴刊本 92丁 26.0×18.5	中国、清の康熙55年(1716)に完成した字書。4万2千余字を部首別、筆画順に配列、十二支の名をつけた十二集にわけ、42巻、張玉書以下30人の学者が5年間を費やした。	修復済み	R5-06
補・050	康熙字典 子集上 一画・二画		1					和紙袋綴刊本 37丁		明倫堂蔵書印 朱印 修復済み	R5-06
補・051	康熙字典 子集上 二画		1					和紙袋綴刊本 71丁			R5-06
補・052	康熙字典 子集下 二画		1					和紙袋綴刊本 109丁			R5-06
補・053	康熙字典 丑集上 三画		1					和紙袋綴刊本 115丁		明倫堂蔵書印 朱印 虫損 一部開離	R5-06
補・054	康熙字典 丑集上 三画		1					和紙袋綴刊本 51丁		修復済み	R5-06
補・055	康熙字典 丑集下 三画		1					和紙袋綴刊本 70丁		虫損	R5-06
補・056	康熙字典 寅集上 三画		1					和紙袋綴刊本 69丁		修復済み	R5-06
補・057	康熙字典 寅集上 三画		1					和紙袋綴刊本 76丁		虫損	R5-06
補・058	康熙字典 丑集下 三画		1					和紙袋綴刊本 78丁		虫損	R5-06
補・059	康熙字典 卯集上 四画		1					和紙袋綴刊本 78丁		明倫堂蔵書印 朱印 修復済み	R5-06
補・060	康熙字典 卯集上 四画		1					和紙袋綴刊本 124丁		虫損	R5-06

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
補・061	康熙字典 卯集下 四画		1					和紙袋綴刊本 42丁		修復済	R5-06
補・062	康熙字典 辰集上 四画		1					和紙袋綴刊本 43丁		虫損	R5-06
補・063	康熙字典 辰集中 四画		1					和紙袋綴刊本 126丁		虫損	R5-06
補・064	康熙字典 辰集下 四画		1					和紙袋綴刊本 82丁		虫損	R5-06
補・065	康熙字典 巳集上 四画		1					和紙袋綴刊本 140丁		修復済	R6-02
補・066	康熙字典 巳集中 四画		1					和紙袋綴刊本 72丁		虫損	R6-02
補・067	康熙字典 巳集下 四画		1					和紙袋綴刊本 57丁		修復済	R6-02
補・068	康熙字典 午集上 五画		1					和紙袋綴刊本 102丁		修復済	R6-02
補・069	康熙字典 午集中 五画		1					和紙袋綴刊本 131丁		修復済	R6-02
補・070	康熙字典 午集下 五画		1					和紙袋綴刊本 108丁		修復済	R6-02
補・071	康熙字典 未集上 六画		1					和紙袋綴刊本 85丁		修復済	R6-02
補・072	康熙字典 未集中 六画		1					和紙袋綴刊本 137丁		明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R6-02
補・073	康熙字典 未集下 六画		1					和紙袋綴刊本 99丁		虫損	R6-02
補・074	康熙字典 申集上 六画		1					和紙袋綴刊本 127丁		虫損	R6-02
補・075	康熙字典 申集中 六画		1					和紙袋綴刊本 75丁		虫損	R6-02
補・076	康熙字典 申集下 六画		1					和紙袋綴刊本 53丁			R6-02
補・077	康熙字典 酉集上 七画		1					和紙袋綴刊本 126丁		修復済	R6-02
補・078	康熙字典 酉集中 七画		1					和紙袋綴刊本 116丁		修復済	R6-02
補・079	康熙字典 酉集下 七画		1					和紙袋綴刊本 126丁		虫損	R6-02
補・080	康熙字典 戌集上 八画		1					和紙袋綴刊本 111丁		虫損	R6-02
補・081	康熙字典 戌集中 八・九画		1					和紙袋綴刊本 123丁		明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R6-02
補・082	康熙字典 戌集下 九画		1					和紙袋綴刊本 71丁		虫損	R6-02
補・083	康熙字典 亥集上 十画		1					和紙袋綴刊本 71丁		明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R6-02
補・084	康熙字典 亥集中 十一画		1					和紙袋綴刊本 93丁		虫損	R6-02
補・085	康熙字典 亥集下 十一画至十七画		1			安永9発行		和紙袋綴刊本 98丁		虫損	R6-02
補・086	康熙字典 備考		1					和紙袋綴刊本 85丁		明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R6-02
補・087	康熙字典 補遺		1					和紙袋綴刊本 55丁		明倫堂蔵書印 朱印 虫損	R6-02
補・088	康熙字典 等韻		1					和紙袋綴刊本 52丁		修復済	R6-02
補・089	康熙字典 琢屑 索引		1					和紙袋綴刊本 75丁		虫損	R6-02
補・094	高等小学讀本一・三	文部省編集局、大日本図書發	2		0	明治21年出版		和紙袋綴 刊本 127頁(1)・105頁(3)		裏表紙に「後小路村倉掛」「倉掛」ヨリ十三銭にてカイト」 作文はがき2枚挿入	R6-02
補・095	小学日本地理 1巻2巻	金港堂書籍編集発行	2		0	明治29年		和紙袋綴 刊本 29丁・50丁		永友宗行	R6-02
補・096	小学国語讀本巻七・巻八	學海指針社編集集英堂発行	2		0	明治33年		和紙袋綴 刊本 56丁・62丁		永友宗行	R6-02
補・097	日本小歴史初歩 上巻	天野為之編、富山房発行	1		0	明治27年		和紙袋綴刊本 36丁		永友宗春、宗行	R6-02
補・098	高等小学修身書第一巻・第三巻 巻二	教育學館編集、大日本図書発行	3		0	明治25年		和紙袋綴刊本 21丁・22丁・23丁・	教育勅語、孝道、友愛、遵法、義勇	高等科第參学年永友宗行 年令十貳才	R6-02
補・099	尋常小学修身書 一巻・三巻	教育學館編集、大日本図書発行	2		0	明治26年		和紙袋綴刊本 38頁・70頁	孝道、友愛、信実、恭儉、博愛、知徳	永友宗行	R6-02
補・103	尋常小学読本巻一、巻二	文部省	2		0	明治20年		和紙袋綴刊本 46丁・45丁		巻二表紙欠、巻一表紙に津江彦松 永友アヤ所有	R6-02
若山・023	鹿児島征討日記	西村兼文	13			明治10発行	1877	和紙袋綴刊本 各12丁21.0×14.5		蔵六書房 朱印 若山口口書 朱印 全16巻のうち7巻10巻12巻欠	R5-06
若山・080	説煞日課 前	日講		寛文6～貞享4	1666～1687	文久4(写)	1864(写)	和紙袋綴 127丁24.0×16.0	日蓮宗不受布施派の日講(にちこう)上人が幕府によって法難に遭い、佐土原藩島津飛騨守預けとなり、寛文6年から死去する元禄12年までの佐土原での流謫の日記(写)である。天保3年に中村晴種が写したものを文久4年3月にさらに転写されている。2巻(前・後)仕立になったのは文久4年の写しでなされたもののようである。	「この書は門外に出しません 蔵六汪人」の書き込みあり 若山口口書 朱印 傷み多し	R5-06
若山・081	説煞日課 後	日講		貞享5～元禄12	1688～1699	文久4	1864	和紙袋綴 109丁24.0×16.0	日蓮宗不受布施派の日講(にちこう)上人が幕府によって法難に遭い、佐土原藩島津飛騨守預けとなり、寛文6年から死去する元禄12年までの佐土原での流謫の日記(写)である。天保3年に中村晴種が写したものを文久4年3月にさらに転写されている。2巻(前・後)仕立になったのは文久4年の写しでなされたもののようである。	「この書は門外に出しません 蔵六汪人」の書き込みあり 若山口口書 朱印 傷み多し	R5-06
若山・113	読書余滴 睡余漫稿	安井息軒	1			明治33	1900	和紙袋綴刊本 58丁23.2×15.6		漢文体	R6-02
若山・118	日本元記 陵の巻	法元右太	1			不詳		和紙袋綴 38丁25.0×16.5	古墳の図面 都島神社宝物古器物古文書図(M23) 神社明細取調書(M11) 神社明細帳(M23)		R6-02
若山・135	日向雑記		1			不詳		和紙袋綴 92丁24.5×16.0	資料所収 内容は多岐にわたる ・日向風土記 ・日向三山陵実地證明志 ・三國神社考 他		R6-02
若山・136	日向雑記		1			不詳		和紙袋綴 45丁26.0×19.5	資料所収 ・日本総国風土記日向国	宮崎県野紙 傷み多し	R6-02
若山・144	日向地史(写) 巻一、巻二、巻三	平部嶋南矢吹 傳(写)	1			明治17大正5(写)	18841916(写)	和紙袋綴 88丁28.0×20.0		蔵六書房 朱印	R6-02
若山・145	日向地史(写) 巻四、巻五、巻六	平部嶋南矢吹 傳(写)	1			明治17大正5(写)	18841916(写)	和紙袋綴 92丁28.0×20.0		蔵六書房 朱印	R6-02
若山・152	日向纂記 巻一～巻五	平部嶋南	1			不詳		和紙袋綴 249丁23.5×16.5		六郷荘野紙 傷み多し	R5-06
若山・153	日向纂記 巻六～巻十	平部嶋南	1			不詳		和紙袋綴 206丁23.5×16.5		六郷荘野紙 傷み多し	R5-06
若山・154	日向纂記 巻十一～巻十五	平部嶋南	1			不詳		和紙袋綴 249丁23.5×16.5		六郷荘野紙 傷み多し	R5-06
若山・155	日向纂記 巻十六～巻二十一	平部嶋南	1			不詳		和紙袋綴 250丁23.5×16.5		六郷荘野紙 傷み多し	R5-06
若山・160	文明開化 二 (広告編)	廊姓外骨		明治1～明治10	1868～1877	不詳		和紙袋綴刊本 68ページ24.0×16.0	明治元年以来の新聞広告にのった広告を選抜蒐集したもの	全91ページだが68ページまでしかない	R5-06
若山・164	北潜日抄(写)	安井息軒	1			不詳		和紙袋綴 77丁24.0×16.2	江戸生活の記録	「この本は門外に出しません 蔵六汪人」の朱筆あり 裏紙使用	R6-02
若山・165	地方風習調査		1			明治35	1902	和紙袋綴 143丁24.0×16.5	・本城村崎田地方(井黒民衛) ・南部珂都東郷村(柳瀬藤平) ・油津町 ・南部珂都南郷村 ・南部珂都細田村 ・吾田村 ・飯肥町	本城村役場野紙	R5-06
若山・169	聖郷美々津	黒木 究	1			昭和14発行	1939	和紙袋綴刊本 8丁23.6×16.0			R6-02
若山・174	宮崎県統計目録	宮崎県	1			明治27発行	1894	和紙袋綴刊本 398ページ23.5×16.0			R6-02
若山・197	宮崎の童話・俗謡・寓話その他の調査	若山甲蔵	1			大正7	1579	和紙袋綴 317丁28.0×19.0	日州教育会の委員として編集 大正3年9月発行の口語集(文芸委員会編集)の宮崎県部分はこの稿本より抜抄	宮崎縣野紙	R5-06
若山・210	練陣 備う定ル心得ノ事	不詳	1			不詳		和紙袋綴刊本 31丁24.5×17.0		傷み多し	R6-02

資料番号	文書名	著者名等	冊数	記載年	記載年西暦	成立年	立年西	形態	備考1	備考2	DVDNo.
若山・211	和漢研譜 卷之二	不詳	1			不詳		和紙袋綴刊本 51丁 26.0×18.0	硯の絵図		R6-02
若山・222	三字経	鹿兒島藩蔵版	1			明治3改題		和紙袋綴刊本 23丁 24.8×18.0	三字の教え(人之初 性本善 ほか)	痛み多し	R5-06
若山・224	小学外編	山崎闇斎	1			不詳		和紙袋綴刊本 72丁 25.0×18.4		平原 篠原氏蔵書の書き込みあり	R5-06
若山・225	小学内編	山崎闇斎	1			不詳		和紙袋綴刊本 70丁 25.0×18.4		平原 篠原氏蔵書の書き込みあり	R5-06
若山・238	素問入式運氣論	葉劉温	1			元禄7	1694	和紙袋綴刊本 78丁 24.5×18.0		痛み多し	R5-06
若山・253	美社神字解 上下合巻	笹古金作	1			昭和11発行	1936	和紙袋綴刊本 27.0×18.6	落合直澄先生解説の神代文字古記録 美社神字(ハングル文字に似た文字と 片仮名漢字の解)		R6-02
若山・260	西国巡行見聞録	安井息軒 安井徳夫(写)	2			安政7	1860	和紙袋綴 22丁 24.5×17.0	高鍋、美々津、佐伯、竹田 ほか (※別名「観風抄」)	宮崎県史料編近世4 所収(全文)	R5-06
若山・262	文房図賛続	羅先登	1			寛政6	1794	和紙袋綴刊本 31丁 26.5×18.0		痛み多し	R5-06
若山・264	墨談続編 卷二		1			不詳		和紙袋綴刊本 45丁 22.5×15.0	西園雅集図記、十六羅漢図、広千字文 ほか	蔵六 朱印	R6-02
若山・303	詩語碎金	泉要編	1			安永5	1776	和紙袋綴刊本 58丁 21.0×14.6	春部、夏部、秋部、冬部、雑部 漢詩		R5-06
若山・303	管子集註序		1					和紙袋綴 5丁 23.0×16.5			R5-06
若山・303	僧胤康伝	安井息軒	1					和紙袋綴 3丁 24.5×17.5			R5-06
若山・321	鹿兒島征討前記 第1号～第15号	井沢菊太郎	15			明治10発行	1877	和紙袋綴刊本 各7丁 18.0×11.0			R6-02
若山・322	西南戦争実略 原本・写本各1冊	加藤淳一	2			明治12	1879	和紙袋綴 88丁 23.0×16.5		痛み多し 原本と写しとあるが、1冊は痛みがひどく判読不能	R5-06
若山・324	風習調査 児湯郡之部	不詳	1			不詳		和紙袋綴 23.5×16.0		色々な紙まじり	R5-06
大泉・202	日豊本線開通記	大泉篤範	1			昭和50	1975	和紙袋綴じ 20丁 24.5×16.8			R6-02
大泉・203	比木大明神記	大泉篤範(写)	1			昭和47	1972	和紙袋綴じ 12丁 26.0×18.0	・日州児湯郡高鍋比木大明神本縁 宝暦5甲州山梨郡山王社神主信濃守 従五位下源朝臣光章 天保3長友宗義 写 ・比木神社とお里廻り ・神門御幸		R6-02
大泉・222	諸家系図	大泉篤範編	1			不詳		レポート用紙113枚 18.0×25.5	中興系譜写し		R6-02
石川・170	社倉大意	大塚	1					和紙袋綴 52丁 23.7× 15.6		大塚朱印	R6-02
石川・179	舞鶴神社記	城勇雄撰	1					和紙袋綴 12丁 24.8× 16.0		宮崎県管下第四大区 野紙	R6-02